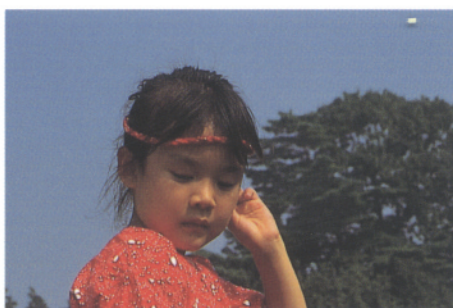


みつけよう心のふるさと ひろげよう心のふれあい



ふるさと区民まつりの20年

20th
SUMMER
SETAGAYA



ご挨拶

世田谷区長 大場 啓二



「お母さんのふるさは山梨ね。わたしのふるさは世田谷だね。」

区民まつりの会場で聞いた会話です。まさに、「我が意を得たり」です。これが本当の世田谷を愛する心につながっていくんだなと思います、大変心強く感じたところです。

昭和五十三年に馬事公苑を会場にして、第一回「ふるさと区民まつり」が開催されてから、早いもので二十年が過ぎました。私が昭和五十年に世田谷区長に当選した時、肝に銘じたのは、「区民本位の区政」「区民とふれあいのある区政」「区の主役は区民」ということでした。そして、世田谷に住む誰もが、いつまでもふるさと思えるようなところに世田谷をしたいと考え、区民のふれあいの場として、思い切って決めたのが「まつり」でした。「まつり」ならば、みんなが参加でき、誰もが気楽にかかわり合いを持てる。親子のふれあいも、「まつり」への参加をきっかけに強

まるのではないか。そうしたふれあいは、区民と区政の風通しをよくして、主役である区民がまちづくりに登場する道につながる。そう考えたわけです。

今では「ふるさと区民まつり」は、物産展や郷土芸能などに、全国から三十もの自治体に参加する一大イベントに成長しました。大勢の区民の皆さんが参加されることはもちろん、郷土の物産展を楽しみに、毎年遠くから来場される方々も沢山いらっしゃいます。これも、長年ご尽力いただいた実行委員をはじめとする関係者の方々、全国から出展される自治体の皆さん、そして、毎年会場をお貸し下さるJRA馬事公苑のお陰です。

家庭や地域のあり方があらためて問われている現在、二十回を契機に、「ふるさと区民まつり」が区民の出会いの場として、親子のふれあいの場として、新たな飛躍をとげることを期待いたします。

ふるさと区民まつり二十回に想う

世田谷区民まつり実行委員長 秋山 光男



早いもので、ふるさと区民まつりも、平成九年に二十回目を迎えることができました。

毎年八月上旬の、暑さまつ盛りの中での開催。試行錯誤の連続で、メイン会場の舞台をどこに作るか、目玉のイベントは？ いや、広い会場で大勢の皆様楽しんで頂けるよう、前夜祭を除いては、同時多発型ゲリラのような方法が良いのではないか等の議論の末、なんとか現在のスタイルになりました。

雷雨にみまわれたり、季節外れの赤トンボの群の中でのおまつり。様々な光景が目に見えます。

企画委員の時には、如何に多くの皆様が来場され、楽しんで頂くかに気を遣いましたが、実行委員長を仰せつかった途端に、楽しんで頂くのは二の次で、おまつりが、無事に終るのを祈るのみでした。

立場が異なると、こんなふうになるのか等と、苦笑したものでした。

殆んど、事故らしい事故もなく、二十回を数えることは、支えてくださった皆様の献身的な御協力なくしては出来なかったことで、深い感謝の念で、いっぱいです。

ふるさと区民まつりが、地方市町村との交流を深め、益々賑やかで、楽しいまつりになり、もっと、もっと、世田谷の郷土意識を高めていただけたらと思います。

「ふるさととは世田谷ですと胸をはり」
こんな言葉を、素敵だと思いませんか。



祝辞

JRA馬事公苑前苑長 田谷 与一

二十周年の節目にあたり、一言お祝い申し上げます。

人には心安らぐ景色というものがあるそうです。それぞれの人に、それぞれの思い出があり、過去を振り返るとき、決まって思い出す景色があつて、人の気持ちを柔らせてくれるそうです。

日本人の多くに共通するイメージは、以下のような景色だそうです。

遠くに里山が見えて、その下に農家があり、家と家との間には小川が流れ、手前一面に水田が広がっている状況。

しかし、今の子供たち、特に都会の子供たちについては、前記のようなイメージが湧くものでしょうか。

多分、大場区長をはじめとする区民の方々にも、そのような心配があつて、「ふるさと区民まつり」を創設されたのではないかと私は想像しています。

「武蔵野の自然林を有する馬事公苑」を舞台とするまつりが、果たして東京の子供たちに一生の思い出として記憶に残ってくれるものでしょうか。

しかしながら、そうした懸念も、年とともに「ふるさと区民まつり」に集まる人が多くなるのを見るにつけ、夏の懐かしい景色として、特に若人の心に強い印象を醸していくれているものと、私は思っています。

馬のいる公苑 馬事公苑の歴史

開設の発端と玉川村用賀地区

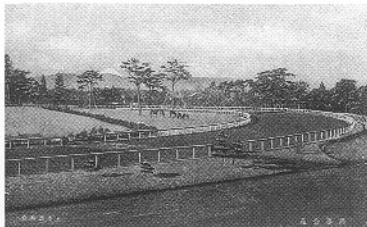
馬事公苑誕生の発端は昭和初期、日本中央競馬会の前身帝国競馬協会時代に遡る。当時日本には馬事振興、競馬騎手養成などを行う総合馬事施設がなく、その設立を望む声に関係者の間で高まっていた。協会総会で設立が決議され計画が動き始めた時に、玉川村の耕地整理計画の話が伝わってきた。

当時の玉川村用賀地区は、田んぼに用水設備がなく水の確保が深刻な地域で、農地の宅地転換をはかるために道路整備を計画していた。耕地整理組合は整備費用捻出に、地区最北端の雑木林の土地5万坪を用意して帝国競馬協会と交渉に臨み、昭和9年に誘致が実現した。この時住民はこの土地と道路用地に充てるため、所有地の2割を村に供出したという。

馬事公苑の前身

昭和11年、五輪東京開催が決まり、五輪馬術競技に向け既得の用地の東隣りに1万5千坪を追加取得し、「馬事会館」建設計画を進めたが、五輪が中止。馬事会館建設委員会は解散を余儀なくされてしまった。

この間に帝国競馬協会は日本競馬会に改組、日本競馬会は「馬事公苑設置」の趣意書を再びまとめ、関係者長年の努力が実り、昭和15年9月に開苑、馬事の普及と騎手の養成を業務の柱として運営が開始された。名称は「苑」が動物のいる庭も意味するので、「馬事公苑」と決定したそう。しかしながら戦局の急迫で、馬事公苑も戦時体制の渦に巻き込まれ、名称も「修練場」と改称され、



昔の馬事公苑内の様子(日本競馬会の頃、写真提供:三田達三さん)



中央通りからグラスアリーナの景観

それが終戦後まで続くことになる。

昭和29年に馬事公苑の名称復活

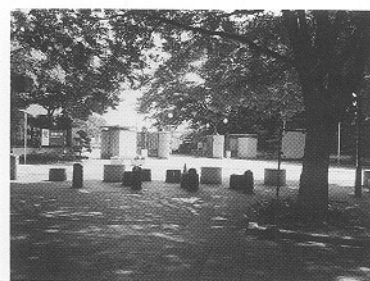
戦争が終わると、進駐軍の将兵たちが「修練場」を訪れ、彼らの乗馬希望に応えることが最初の仕事となり、公苑本来の業務復活にはまだ年月が必要だった。昭和23年競馬催行が国へ移管して日本競馬会は解散し、「修練場」は「農林省畜産局競馬部東京競馬事務所」に再び名称変更。29年日本中央競馬会設立に伴い付属機関「馬事公苑」の名称が復活、学生馬術選手権大会と学生馬術講習会開催、五輪参加選手候補予選会開催など、本来の業務が戻ってきた。

第18回東京五輪では馬場馬術競技会場になったことはつとに有名だ。この時、新たに隣接地を取得して覆馬場建設を始め馬術関連施設大改造を行い、18万5千余㎡敷地の中に今日の景観が完成された。

馬術のメッカ「馬事公苑」

昭和54年以降、騎手の養成業務が他所の施設に移管され、馬事公苑の業務は馬事の普及が主となり、①馬事普及と馬術振興、子供たちや一般の人たちへ乗馬普及のため各種イベント開催、馬術競技会の開催・援助、②馬事や競馬開催に必要な指導者・技術者養成、馬事関連団体の指導者養成、各種講習会の実施、③各方面のニーズにあった馬の供給として、訓練用馬の調教、普及行事に供する乗馬・馬車の馬やポニーの調教などがその内容である。

この成果を公開する場が、毎年開



並木通りから公苑正門を望む

催されるイベント。全国のトップレベルの人馬が競う障害飛越競技「ホースショー」がゴールデンウィークに、秋には日本各地の伝統馬事芸能を披露する「愛馬の日」、また月に一度の「馬に親しむ日」では、乗馬・馬車の試乗会やポニーの演技が開かれている。

苑内はほかに、数多くの花、200種を越す樹木がお花畑、武蔵野自然林、サクラ広場、ヒマワリ広場、ウメ広場、日本庭園、菖蒲園を構成し、40種類を越す野鳥も集まる四季を彩る自然の宝庫となり、区民・都民の憩いの場として広く親しまれている。

●会場をご提供くださる馬事公苑歴代苑長のお名前(区民まつり1回から平成10年まで、敬称略、数字は歴順)

- | | |
|----|-------|
| 22 | 更井 正忠 |
| 23 | 川又 幸 |
| 24 | 井沢欣之助 |
| 25 | 飯田 稔 |
| 26 | 岡村 幸男 |
| 27 | 但馬 直秀 |
| 28 | 平野 弘三 |
| 29 | 千葉 幹夫 |
| 30 | 藤家 義人 |
| 31 | 種田 英司 |
| 32 | 柴田 裕 |
| 33 | 田谷 与一 |
| 34 | 赤塚 洋文 |

CONTENTS

祝詞		せたがや・おん・まい・まいんど	34
大場啓二(世田谷区長)	1	ふるさと in セタがや	45
秋山光男(世田谷区民まつり実行委員長)	2	絵画・文学に描かれた世田谷	56
田谷与一(馬事公苑前苑長)	3	ふるさと区民まつりの20年 子どもたちに伝える“心”	58
馬のいる公苑 馬事公苑の歴史	4	世田谷区民まつり企画委員長・三田達三	
ふるさと区民まつりの20年 ポスターに見るその歩み	6	歴史と回顧(第1回から19回)	58
「せたがやう丸」の名付け親		黒子のつぶやき	68
経堂在住 島田清治さん・栄子さんに聞く	8	協賛を頂いた方々	69
みつげよう心のふるさと ひろげよう心のふれあい		第20回 実行委員会委員・企画委員会委員／実施概要	71
20th. ふるさと区民まつり	10	編集後記	72
前夜祭	11		
第一日	12		
第二日	15		
手づくりだからふれあいいっぱい ふるさと区民まつりスナップ	18		
ワンダーランド・イン・フェスティバル	21		
企画委員会・実行委員会の区民まつり	25		
座談会 みつげよう心のふるさと ひろげよう心のふれあい	26		
大場啓二(世田谷区長)			
富永一朗(漫画家)			
秋山光男(区民まつり実行委員長)			
永山和夫(進行・世田谷区総務課長)			
成人の日インタビュー 新成人に聞く“ふるさと世田谷”	32		



会場の準備
(8月1日、並木通り)

上空から見た馬事公苑(写真提供：馬事公苑)



ポスターに見るその歩み



第一回から第二十回までの広報ポスターのすべてをここに紹介しよう。素朴な、また精緻なイラストや絵画をデザインしたもの、前年のおまつりの活気を伝える写真をデザインしたもの、さらには最新のコンピュータ・グラフィックスを駆使して表現したものなど、バリエーションはさまざまだが、どれもがそれぞれの時代を反映し、思い出の記憶を呼び起こす貴重な記録になっている。

僕が「せたがや丸」。出生の話は8頁を読んでくれ。ところで今までのポスターが並んでいるけど、初めて見るものばかりだな。おっ、1回目の顔の絵は世田谷区の形だぞ。当時は4つの地域だったんだ、なるほど。おみこしの写真だって迫力だ。大声だして、笑いあって、思いつき汗を流して、やっぱりおまつりは夏が一番だ。

せたがや ふるさと区民まつり



子供映画大会・盆おどり・郷土芸能・ミニSL汽車ホッポ・小動物園・みこし
ファミリー撮影会・子供の自慢・出店・阿波おどり・馬にしたしむ広場
8/4(土)5(日) 馬事公苑
3pm~9pm 10am~9pm
東急・小田急バス最大前下車徒歩2分(世田谷通り)
新玉川駅・南武線下車徒歩10分
主催 世田谷区民まつり実行委員会・世田谷区

第2回、昭和54年(1979)

サマー世田谷'78 ふるさと区民まつり

テーマ
みつけよう心のふるさと

8月5日(土) PM. 2:00~PM.9:00
8月6日(日) AM.10:00~PM.9:00
(土の場合8月12, 13日)
馬事公苑(上野賀2-1-1)



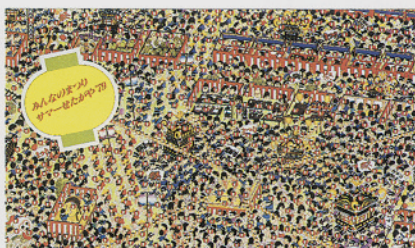
主催 世田谷区民まつり実行委員会
後援 世田谷区

第1回、昭和53年(1978)



民謡民舞・盆おどり・のど大会(町会・地区・学区大会・阿波おどり・光の園とコンクール・ふるさと歌謡)
ミニSL汽車ホッポ・小動物園・東武線特設会場・馬に親しむ広場・子どもコーナー・出店……ほか
8/2(土)3(日) 馬事公苑
PM1:00~PM5:00 AM10:00~PM5:00
東急・小田急バス最大前下車徒歩2分(世田谷通り)
新玉川駅・南武線下車徒歩10分
主催 世田谷区民まつり実行委員会・世田谷区

第3回、昭和55年(1980)



子供映画大会・盆おどり・郷土芸能・ミニSL汽車ホッポ・小動物園・みこし
ファミリー撮影会・子供の自慢・出店・阿波おどり・馬にしたしむ広場
8/4(土)5(日) 馬事公苑
3pm~9pm 10am~9pm
東急・小田急バス最大前下車徒歩2分(世田谷通り)
新玉川駅・南武線下車徒歩10分
主催 世田谷区民まつり実行委員会・世田谷区

第2回、昭和54年(1979)



子供花火大会
郷土芸能
古典玩具
植木市
緑台特撰 阿波
八丈太鼓
ミニSL汽車ホッポ
盆おどり
リサイクルコーナー
出店
区政のひろば
(区長との対話)
…区民まつり実行委員会
…世田谷区

第1回、昭和53年(1978)



第5回、昭和57年(1982)



第4回、昭和56年(1981)



第1回、昭和53年(1978)



第8回、昭和60年(1985)



第7回、昭和59年(1984)



第6回、昭和58年(1983)



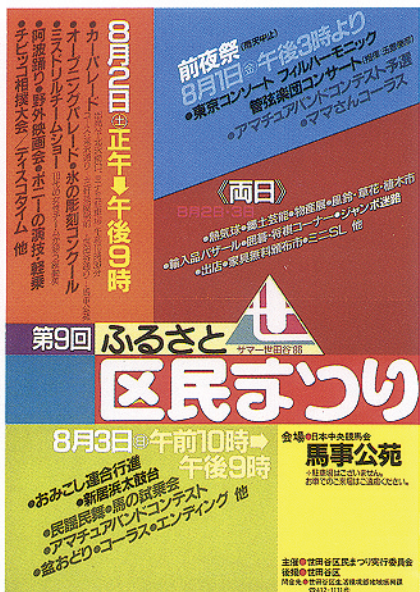
第8回、昭和60年(1985) / マーク制定



第8回、昭和60年(1985)



第6回、昭和58年(1983)



第9回、昭和61年(1986)



今もただ、昔もみんな元気があった。おつ、区民まつりのマークもあるぞ。話に聞いていた新居浜の太鼓台も迫り満点だ。もっと早く生まれていれば、僕もみこしに乗れたかも。



第9回、昭和61年(1986) / 新居浜太鼓台出演



第9回、昭和61年(1986)



第7回、昭和59年(1984)

第11回 ふるさと区民まつり

●会場 JRA 馬事公苑
●とき 8/5(金) 前夜祭 午後2時～午後9時
6(土) 午前10時～午後9時
7(日) 午前10時～午後9時

※駐車場はありません。
お車でのご来場はご遠慮ください。



主催：世田谷区民まつり実行委員会
協賛：世田谷区
問合せ先：世田谷区生涯学習課生涯学習課課長 電話 412-1111

第11回、昭和63年(1988)



島田さん、僕らしい、いい名前です。
とても気に入っています。気分は
もうサイコー。ビールもうまいっ
ていう感じがな。



命名式で秋山実行委員長(右)から表彰される島田さんご夫妻(8月2日)

「せたがやうま丸」の名付け親

経堂在住 島田清治さん・栄子さんに聞く

20回を記念して、親しみやすいキャラクターをと、企画委員会が密にかつ熱心に検討してきたのがこのマスコット。区民まつりにふさわしい名前を広報誌で公募した結果、決定した名前が「せたがやうま丸」。島田さんは、経堂商店街として第1回から区民まつりに参加されている。愛称は奥様と一緒に考えたが、奥様の案は残念ながら落選、島田さんが晴れて名付け親に選ばれた。

島田さん ママと競り合ったわけじゃないんだけどそれは嬉しかったですよ。
栄子さん えーっ、パパのおー？ なんていって。今考えるとパパの「うま丸」のほうがあったなと思いますよ。
島田さん ですから実感はありましたね、嬉しかったですね。

命名式には一緒に登壇されていますね。
島田さん 私たちは経堂商店街の売店に出ていたもんだから、一緒に来る？って誘ったんです。そうしたら事務局の方たちが、じゃあ一緒に舞台に登ってくださいよ、といってくれて。命名証は私、副賞はママというように分担して頂いたわけです。

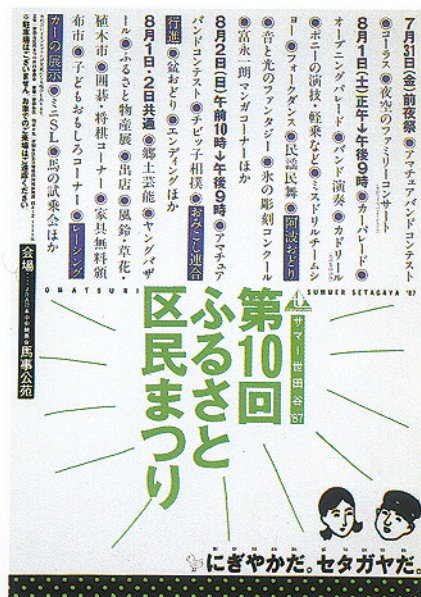
楽しいお話を有り難うございました。



にぎやかだ。セタガヤだ。
第10回、昭和62年(1987)



第11回、昭和63年(1988)



第10回、昭和62年(1987)



こんなに目立つところにでっかく飾ってもらって、僕はとてもうれしい。これからは区民まつりといえば「うま丸」だ。みなさんよろしく。

マスコットの絵から最初感じたことは？
島田さん そんなにピンとこなかったなあ。
栄子さん なんか漫画みたいな絵でした。
この名前を思いついた理由は？
島田さん うま丸の名付け親は私ですけど、きっかけは娘なんです。小さいときによく娘を連れて馬事公苑に馬を見に行っていたんですよ。たまたまママが区のお知らせを見て、パパも考えたらって。馬事公苑に連れて行っていた娘も大きくなって孫も二人できまして、また区民まつりも二十年ということで、今まで二十年を丸く円満に過ごしてきたということで、単純に思いついたんです。ママも応募しましたけど落選で、私の「うま丸」が入選したってわけです。

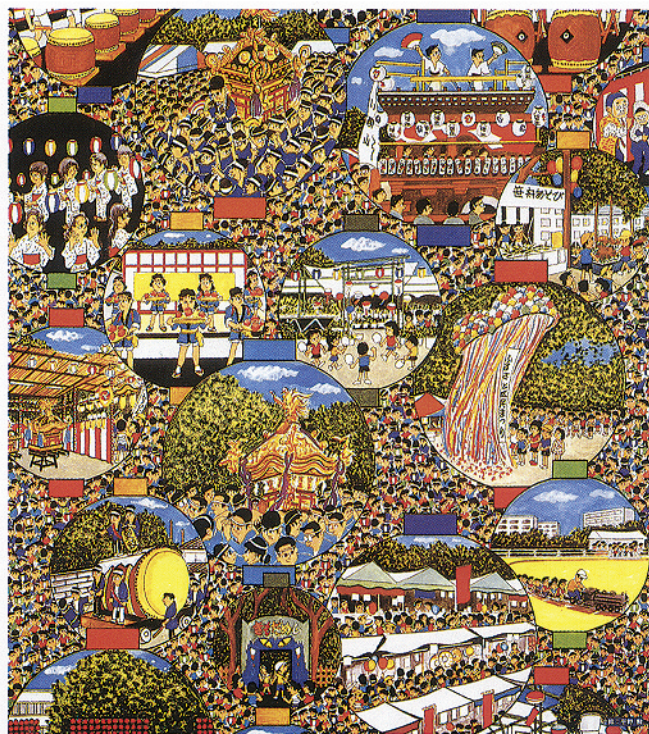
栄子さん 「うま丸」？ そんな名前なんて、私がそばで聞いていたの(笑い)。
ちなみに奥様のつけた名前は？
栄子さん 私は馬事公苑に因んで「バツジ」って名付けたんですけど。
決定の通知がきたときはどうでした？
島田さん ママと競り合ったわけじゃないんだけどそれは嬉しかったですよ。



第17回、平成6年(1994)



第18回、平成7年(1995)



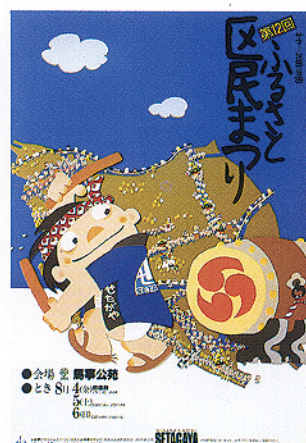
第16回ふるさと区民まつり

前夜祭 7月30日金・7月31日土・8月1日日
午後4時→午後9時 午前10時→午後9時 午前10時→午後9時

会場 JRA馬事公苑

主 催：世田谷区民まつり実行委員会 後 援：世田谷区、世田谷区教育委員会、JRA馬事公苑 問い合わせ：世田谷区地域振興青少年課 5432-1111

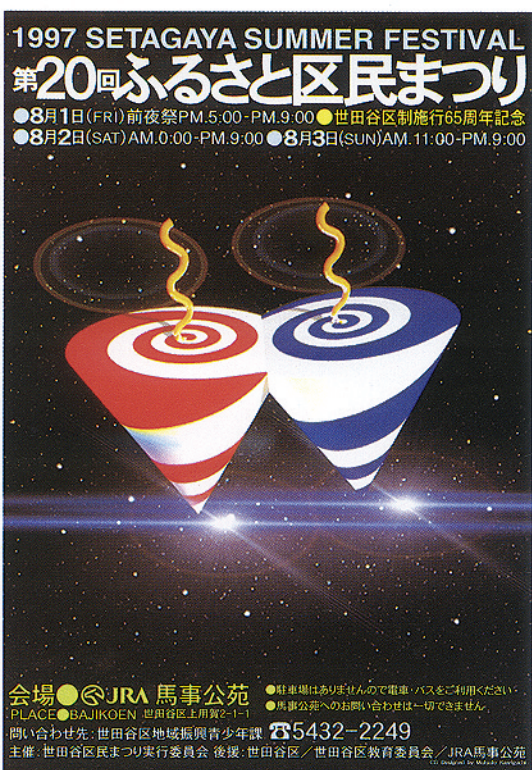
第16回、平成5年(1993)



第12回、平成1年(1989)



第13回、平成2年(1990)



第20回、平成9年(1997)



第19回、平成8年(1996)



第14回、平成3年(1991)



第15回、平成4年(1992)

そういえば第20回のポスターは、生まれたばかりの僕だけどちょっと記憶に残っているぞ。次からは僕が主役でもっといろんなグッズも出るから、待っていてね。これからは区民まつりと僕をどうぞよろしく可愛がってほしいもんだな。





世田谷で生まれて二十歳を迎えた「ふるさと区民まつり」。世田谷に共に暮らす人々の連帯感や郷土への愛着心を高めることを願って、一人一人が手づくりで育ててきた真夏の風物詩。

お年寄りも子どもも、親子・家族同志も、日本人も外国人も、ここに集う誰もが温かい「ふれあい」を伝えあうことを願って、第二十四回恒例夏の八月一日、前夜祭で幕を開け、二日、三日とそれぞれ楽しい工夫を凝らしたイベント満載で行われた。

上／グラスアリーナで思い思いにくつろぐ来場者
右下(上から)／子どもコーナーのふわふわトランポリン会場、植木・風鈴市、阿波おどり、キリコ灯籠の巡行
下／おみこしの上で指揮をとる子ども

20th

ふるさと区民まつり

みつけよう心のふるさと
ひろげよう心のふれあい





若杉ともや & The Hurricanes



Fats & Deep



Wish

8 / 1 (金) 前夜祭プログラム

- 17:00 大切な思いを伝えたい
Setagaya Spirit Live '97
Wish (フォーク)、屋良朝信 (フォーク)、
Fats & Deep (ロック)、若杉ともや &
The Hurricanes (フォーク)
- 19:00 ブラジル音楽 (ラテン・サルサ)
FRANCIS SILVA & ORQUESTRA
ZONA SUL
(フランシスシルヴァ & オーケストラ・
ゾナスウル)
- 20:00 世田谷ジャズ・イン
THE CRESCENT JAZZ ORCHESTRA
(ザ・クレセント・ジャズ・オーケストラ)
- 21:00 終演

※前夜祭のステージイベント所管が、今回から文化課から地域振興青少年課に変更。

前夜祭
天気/晴
来場者数/1万7千人

8月1日(金)

前夜祭はメインステージを舞台に、アマチュアバンドによる三つのジャンルの音楽プログラムが組まれた。来場者は広いグラサアリーナに座り、夏の夜の蒸し暑さも忘れて、出演クループの熱演、快演を楽しんでいた。



FRANCIS SILVA & ORQUESTRA ZONA SUL





実行委員会、交流自治体代表の行進

上／飾りみこしの組み立て（用賀神社若獅子会）
下／メインステージの演技（ダックス）



オープニングパレード先頭を行く横断幕



グラスアリーナに入場するパレード行進のグループ



区民参加のビッグイベント「人間トランプゲーム」。4回戦まで戦われ、上位3名が入賞

尾花沢悠美会（山形県尾花沢市）の民謡。平成5年尾花沢市大字菰袋村おこしの一環で誕生。老人ホーム慰問や花笠音頭・花笠おどり全国大会への出場など、市民との交流を大切に活動する会の皆さん（写真提供：加藤朋美さん）

櫻林御鷹太鼓愛好会（秋田県増田町）の和太鼓演奏。愛好会は増田町町制施行100周年の平成7年に町の活性化を目的として誕生。町の花と木と鳥の「櫻・林檎・鷹」から命名され、鷹（若者）がふるさとに帰ってくるようにとの願いが込められている



おまつりには毎回新しいアイデアが盛り込まれる。二十回はオープニングセレモニーにファンファーレ演奏が加わった。グラスアリーナにはやぐらが復活、演歌歌手も出演して盆踊りの輪が広がり、続いてくいちやー・えいさー、輪島キリコ、阿波おどり、サンバカーニバルと、出演者全員が来場者と一緒に、夏夜の夜が燃えた。青空球児・好見の即妙な話術のリードで、あつというまの熱気の三時間だった。

また並木通りの名物・山口ちようちん飾りが、今回から区民の手で再現されることになった。新たな感激の場面がたくさん創造され、企画委員の満足な顔が想像できよう。

8月2日(土)

天気／晴
来場者数／15万1千人

第一日

実行委員会を代表して大場区長の挨拶



秋山実行委員長（左）開会宣言とファンファーレを指揮する安島洋一さん





やぐらの上で太鼓をたたく砧太鼓同好会の会員



サタデーナイト・フィーバーの一番手盆おどり。青空球児・好児の司会、プロ歌手も出演してダンスの競宴のスタート

8/2(土)メインステージ(グラスアリーナ)プログラム

- 12:20 マーチングフェスティバル
 オープニングパレード
 横断幕(ボーイスカウトとガールスカウト)、東京農業大学全学応援団チアリーダー部ファイティングラディッシュ、東京農業大学全学応援団吹奏楽部、ふるさと区民まつり実行委員会・交流自治体、東京消防庁音楽隊、玉川消防少年団、松蔭中学校バトン部、区立喜多見小学校金管バンドクラブ、ガールスカウト世田谷地区協議会、佼成学園女子中・高等学校バトン部、世田谷区民吹奏楽団、ボーイスカウト東京連盟世田谷地区
 主催者挨拶・開会宣言・区民まつりマスコット命名式
 大場啓二世田谷区長、真鍋欣之世田谷区議会議長、田谷与一馬事公苑苑長
 世田谷区議会各派幹事長紹介、自治体首長・議長・ミス等紹介
 副実行委員長・実行委員等紹介
 ファンファーレ演奏(指揮・安島洋一)
 秋山光男実行委員長開会宣言
 区民まつりマスコット命名式
- 13:15 マーチングフェスティバル(ステージ演奏・演技)
 東京消防庁音楽隊(指揮・田崎勝正隊長)、松蔭学園中学校バトン部、区立喜多見小学校金管バンドクラブ、東京農業大学第一高等学校吹奏楽部、佼成学園女子中学校バトン部、都立千歳丘高等学校美稲吹奏楽団、東京農業大学全学応援団チアリーダー部・吹奏楽部、世田谷区民吹奏楽団
- 15:35 人間トランプゲーム(企画委員会主催)
- 16:45 メキシコ民族舞踊
 ダックス
- 17:10 和太鼓演奏
 秋田県増田町・櫻林御鷹太鼓愛好会
- 17:40 民謡
 山形県尾花沢市・尾花沢悠美会
- 18:00 盆踊り(司会: 青空球児・好児)
 歌: さくらと一郎
- 19:10 くいちゃー・えいさー(司会: 青空球児・好児)
- 19:30 輪島キリコ(石川県輪島市、司会: 青空球児・好児)
- 19:45 阿波おどり(司会: 青空球児・好児)
 経堂むらさき連、三茶連、下北沢ひふみ連、世田谷区役所さき草連
- 20:15 サンバカーニバル(司会: 青空球児・好児)
 エスコラ・ジ・サンバ・クルセイロ・ド・スウル
- 21:00 終演

※ 8/2, 3 両日共通イベントは21頁以下を参照。



平良市の皆さんの「くいちゃー・えいさー」



沖縄宮古島のおまつり「くいちゃー・えいさー」



おなじみ阿波おどり、四連が踊り競う



石川県輪島のおまつり「キリコ燈籠」

1日目のハイライト、サンバで会場は興奮のるつば(下はメンバーとトークをする青空球児・好児)





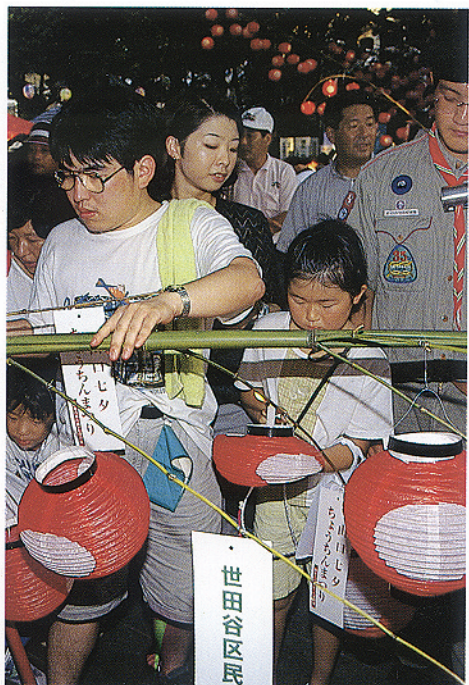
山口ちょうちんの飾りつけの様子



並木ステージで人気の富永一朗さんのまんが教室



松茸太鼓保存会（新潟県松代町）の太鼓演奏。上杉謙信が関東出陣に際し松茸神社に必勝祈願の太鼓を打ち鳴らしたという伝承をもつ松茸太鼓は、地域の園児から高校生の男児が代々伝統を受け継いでいる（写真提供：松代町役場）



並木通りを幻想的に彩る山口ちょうちんの火入れ



（財）世田谷ふれあい公社フラダンス同好会の皆さんの演技（写真提供：同公社）

観光物産PR

並木ステージでは両日にわたって参加自治体のPRコーナーが設けられ、各地の名所や名物が紹介された



栃木県烏山町



各地の観光PRを熱心に聞く来場者



茨城県大子町



秋田県増田町

8/2日（土）並木通りステージ プログラム

12:00	オープニングパレード、スタート（グラスアリーナへ）
12:20	太鼓演奏 新潟県松代町・松茸太鼓保存会
13:00	サバク世田谷チャリティーバザー
14:05	道の絵表彰式
14:20	富永一朗まんが教室
15:05	和太鼓演奏 秋田県増田町・櫻林御鷹太鼓愛好会
15:20	岩手県宮古市観光物産クイズ
15:40	観光物産PR
16:45	くまもとin世田谷（熊本市）
17:00	山口ちょうちん祭りが世田谷にやってくる！ 提灯の火入れ：秋山実行委員長、川瀬世田谷区助役、 大塚世田谷区助役、ミス世田谷2名
18:00	観光物産PR
18:50	くいちゃー・えいさー（沖縄民謡）、スタート（グラスアリーナへ）
19:00	フラダンス （財）世田谷ふれあい公社フラダンス同好会
19:20	阿波おどり、スタート（グラスアリーナへ）
20:00	観光物産PR
21:00	終演



みんなで踊ろう世界のフォークダンス (世田谷区フォークダンス協会)



弦巻騎道スポーツ少年団の軽乗演技 (J R A馬事公苑協力)



ポニーの演技 (J R A馬事公苑協力)



社会福祉団体みのり会まといクラブの演技

輪島キリコ太鼓 (石川県輪島市)。輪島市に750年前から伝わる伝統芸能。雨乞い祈願の行事で、今は道中や海上の安全、商売繁昌、豊作を祈願して8月の夏祭り神事として行われている



新たな感激は、まだまだ尽きない。二日目、三日目の夜空を幻想的に彩ったのが、今回初参加の石川県輪島市の「キリコ」。県外不出の伝統的なおまつりだが、実行委員会の記念行事として出場してくださった。輪島市の「好意で飾りキリコ」五基に火が灯され、輪島のおまつりが世田谷に再現された。

恒例のおみこし連合行進も、グラスアリーナで迎える太鼓のグループと一体になって、威勢のよさと華やかさを醸した。

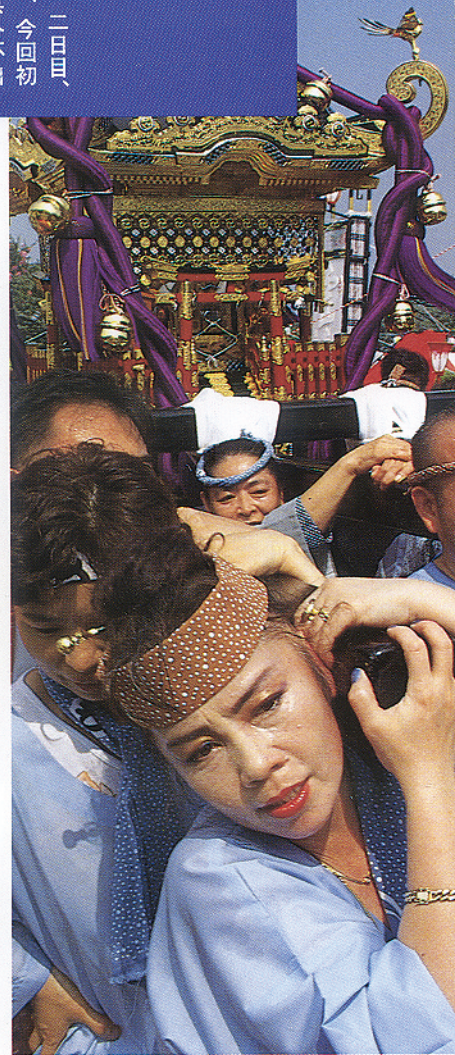
おまつりフィナーレは尾崎紀世彦コンサート。例年最も注目されるイベントだが、期待に違わぬ歌唱力と声量に、訪れた人たちは最後まで熱唱を堪能していた。

8月3日 (日)

天気/晴
来場者数/21万3千人

第二日

上/ボーイスカウトによる高張ちようちん行進下/一本締め。右から大場区長、秋山実行委員長、大木春夫世田谷区みこし連合協議会会長



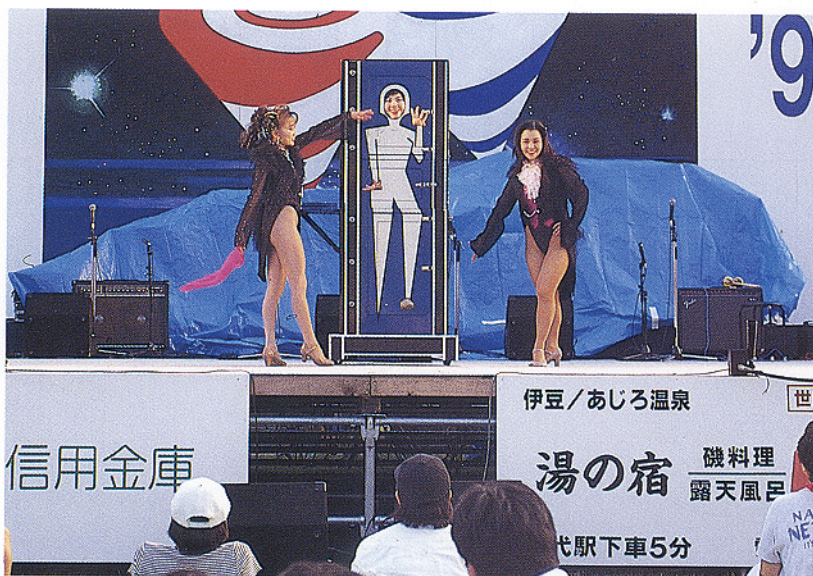
おまつりのハイライト、おみこし連合行進



おみこし連合衆の入場を迎える迎え太鼓 (山崎小学校山崎太鼓の皆さん、写真提供: 沢田節子さん)



岩手県宮古市提供の観光物産〇×クイズは、宮古市に関する問題に答えるゲーム。勝ち残り18名からチャンピオンが決定、宮古市から賞品が贈られた



東京商工会議所世田谷支部提供の「ミストフェリーズのマジックショー」



HAWAIIAN HULA SMILE でハワイアンダンスを踊るナプア・ハワイアンズ&ザ・ローズの皆さん

輪島のキリコ燈籠を引いて歩く家族



上ノ風の神太鼓(沖縄県平良市)。第2回から参加の平良市だが風の神太鼓は初の島外出演。園児から小中学生が多く、家族で入会、成績が下がると練習禁止という厳しさ下ノくまもとin世田谷(熊本市)。熊本夏の祭「火の国まつり」も20周年。地元で先立って、おどり隊が「火の国まつり」のテーマとサンパおもてやんなどを披露した

8/3(日)メインステージ(グラスアリーナ)プログラム

- 11:00 みんなで踊ろう世界のフォークダンス
世田谷区フォークダンス協会
- 11:30 みんなで歌おう さわやかコーラス
小P連ふれあいコーラス
- 12:00 ボニーの演技・軽乗演技
JRA馬事公苑、弦巻騎道スポーツ少年団
- 12:25 世田谷みのり会まといクラブ
- 14:00 おみこし連合行進と太鼓の響演
太鼓の響演(迎え太鼓)
区立山崎小学校、砧太鼓同好会、大蔵てんぐ太鼓
おみこし連合行進
高張り提灯:ボーイスカウト
山車:八幡山青年会
太鼓:宇山昭和会、稲荷森稲荷神社横根睦会、船橋
神明神社睦会、上祖師谷神明社奉賛会、喜多
見御太鼓愛好会
子供神輿:玉川交通少年団
神輿:上馬宮元奨和會、深沢神社神輿睦会(男・女)、
岡本睦会(男・女)、用賀神社若獅子会、代田
睦会、船橋神明神社睦会、喜翔睦、北領睦、
祖師谷神明社、稲荷森稲荷神社横根睦会、
八幡山青年会、桜祭典委員会
感謝状贈呈式、一本締め(大会長、各団体毎)
- 15:40 協賛金引き渡し式
松原組会長・松原俊男氏、大場区長、秋山実行委員長
- 15:50 ふるさと紹介Part1
キリコ太鼓(石川県輪島市)、エイサー(沖縄県平良
市風の神太鼓)、くまもとin世田谷(熊本市)
- 16:55 ふるさと紹介Part2
観光物産〇×クイズ(岩手県宮古市)
- 17:35 ミストフェリーズのマジックショー
提供:東京商工会議所世田谷支部
- 18:30 HAWAIIAN HULA SMILE
ナプア・ハワイアンズ&ザ・ローズ
- 19:00 ふるさと紹介Part3
輪島キリコ(石川県輪島市)
- 19:30 閉会セレモニー
挨拶:秋山実行委員長、大場区長
ふるさと区民まつりシンボル旗降納
- 19:40 尾崎紀世彦コンサート
- 21:00 終演



東京成城ライオンズクラブのチャリティーオークション



国際ソロプチミスト東京一桜のチャリティーオークション



風鼓の会による和太鼓の演奏



閉会のセレモニー

皆さまのご支援・ご協力で無事終了しました。ありがとうございました。
 次回の再会を心よりお待ちしております。



舞台上で熱唱する尾崎紀世彦



ふるさと区民まつりシンボル旗の降納

第20回ふるさと区民まつりのしめくくり、尾崎紀世彦コンサート舞台の様子

8/3 (日) 並木通りステージ プログラム

11:00	チャリティーオークション 東京成城ライオンズクラブ
12:10	チャリティーオークション 国際ソロプチミスト東京一桜
13:10	観光物産PR
13:35	和太鼓演奏 風鼓の会
13:50	キリコ太鼓 (石川県輪島市)
14:00	おみこし連合、スタート (グラスアリーナへ)
14:25	エイサー (沖縄県平良市)
14:30	筑波山ガマの油売り口上 (茨城県新治村)
14:50	くまもと in 世田谷 (熊本市)
16:00	観光物産PR
16:40	筑波山ガマの油売り口上 (茨城県新治村)
17:00	山口ちゃん祭り が世田谷にやってくる！ 提灯の火入れ: 秋山実行委員長、大場区長、川瀬助役、大塚助役、ミス世田谷
17:40	観光物産PR
18:10	筑波山ガマの油売り口上 (茨城県新治村)
18:30	観光物産PR
20:30	山口ちゃん配付
21:00	終演





飾りキリコを組み立てる輪島市の皆さん
(砂馬場、8月2日)



おはやし舞台で郷土芸能を披露する皆さん
(中央通り、8月2日)



飾り付けられた山口ちょうちんの下ではほえむミス世田谷
の3人(並木通り、8月2日)

顔
顔
顔……フェスタ世田谷'97

手づくりだからふれあいいっぱい

ふるさと区民まつりスナツプ



植木・風鈴市で鉢植えを手にほえむ女性
(中央通り、8月2日)



郷土芸能せたがやばやし出演の合間の一時。
おはやし保存会の子どもたち
(中央通り、8月2日)



'98夏に開局予定のFM世田谷が中央通りで先
行オン・エア。中学生の皆さんが出演
(中央通り、8月2日)



ストリート・ミュージシャン
(中央通り、8月2日)



砂金採り体験にチャレンジする子どもたち
(並木通り、8月2日)



商店会の出店の輪投げ遊びに熱中する子どもたち（中央通り、8月2日）



子どもを肩車する若いおとうさんのシャツに汗がにじむ真夏の夜のフェスタ（ボーイ・ガールスカウト本部前、8月2日）



見よう見まねで日本の盆おどりに興ずる外国人の子どもたち（グラスアリーナ、8月2日）



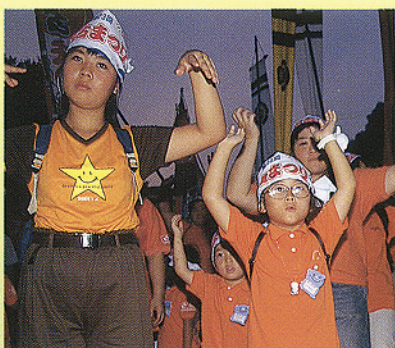
ゴミパトロール隊からゴミの分別を教わる女の子（中央通り、8月2日）



沖縄民謡くいちや・えいさーに踊り興ずるミス宮古島の3人（グラスアリーナ、8月2日）



盆おどりの輪の中にゆかた姿の子どもたちも（グラスアリーナ、8月2日）



くいちや・えいさーを踊る子どもたち（グラスアリーナ、8月2日）



腕に光るブレスレッドをつけてもらう女の子と両親（中央通り、8月2日）



区民まつりの定番イベント、サンバカーニバルでのサンバ・ダンサー（グラスアリーナ、8月2日）



大人たちの列にまじって、小さな男の子もくいちや・えいさーに参加（グラスアリーナ、8月2日）



ヨーヨーつりの収穫を手にしたゆかた姿の親子（中央通り、8月2日）



商店会の出店の輪投げ遊びに熱中する子どもたち（中央通り、8月2日）



子どもを肩車する若いおとうさんのシャツに汗がにじむ真夏の夜のフェスタ（ボーイ・ガールスカウト本部前、8月2日）



見よう見まねで日本の盆おどりに興ずる外国人の子どもたち（グラスアリーナ、8月2日）



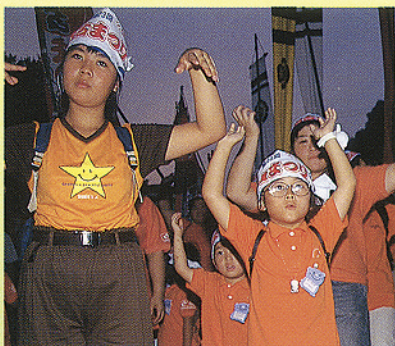
ゴミパトロール隊からゴミの分別を教わる女の子（中央通り、8月2日）



沖縄民謡くいちャー・えいさーに踊り興ずるミス宮古島の3人（グラスアリーナ、8月2日）



盆おどりの輪の中にゆかた姿の子どもたちも（グラスアリーナ、8月2日）



くいちャー・えいさーを踊る子どもたち（グラスアリーナ、8月2日）



腕に光るブレスレッドをつけてもらう女の子と両親（中央通り、8月2日）



区民まつりの定番イベント、サンバカーニバルでのサンバ・ダンサー（グラスアリーナ、8月2日）



大人たちの列にまじって、小さな男の子もくいちャー・えいさーに参加（グラスアリーナ、8月2日）



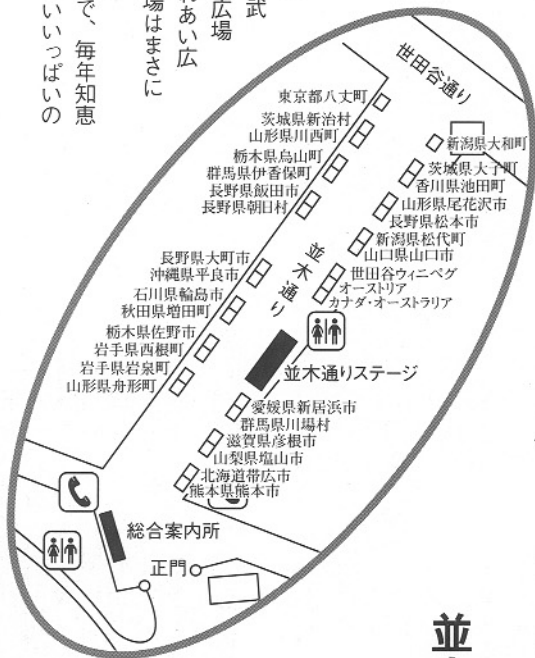
ヨーヨーつりの収穫を手にしたゆかた姿の親子（中央通り、8月2日）

ワンダーランド イン フェスティバル

これまでに紹介したメインステージ(ガラスアリーナ)、並木通りステージでのイベント以外に、広い会場のあちこちにも、さまざまな楽しいコーナーが設けられている。

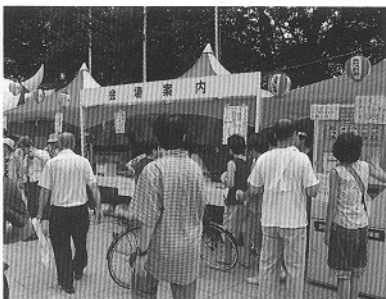
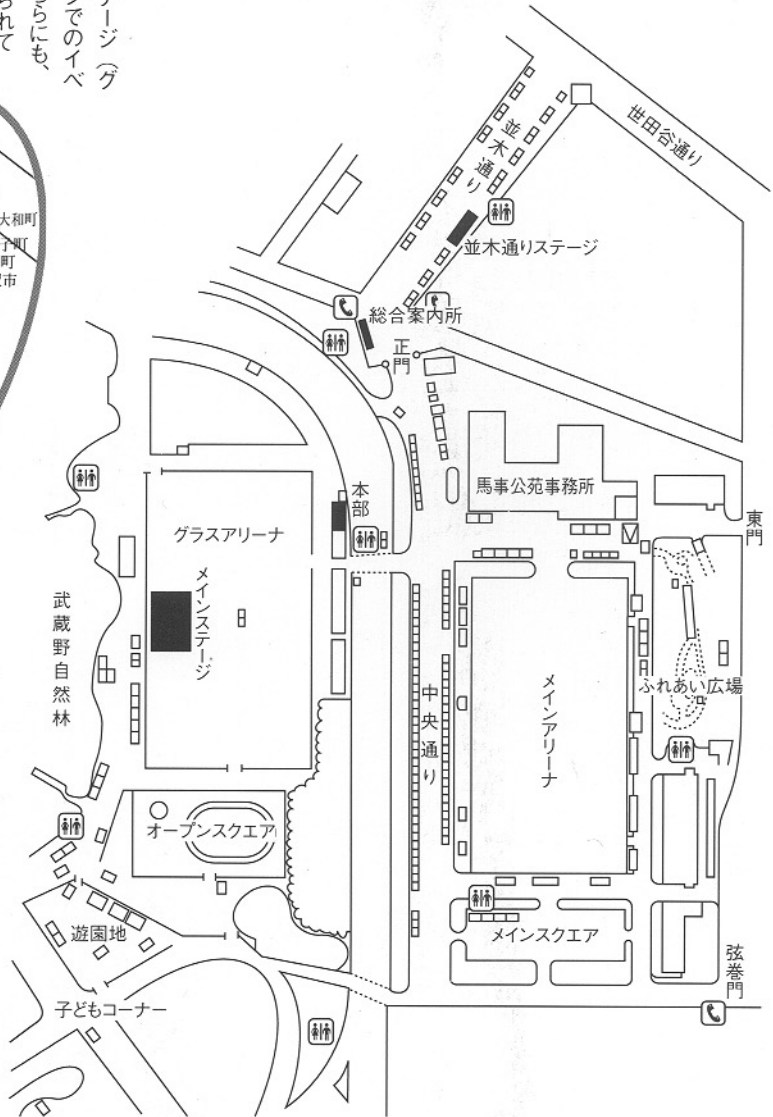
並木通りは交流自治体のふるさと物産展の他に、国際交流のコーナー。中央通りには、商店街出店コーナー・福祉団体コーナー・暮らしの情報コーナーの他に演芸ホールが。メインスクエアでは囲碁・将棋コーナー。ガラスアリーナから武蔵野自然林、オープンスクエア、ヒマワリ広場には親子で楽しめる子どもコーナー。ふれあい広場には区の花「さざ草」の展示……。会場はまさにおまつりのワンダーランド。

それぞれのコーナーも実行委員会の部会で、毎年知恵を絞って新しいアイデアを考え、ふれあいっばいの手づくりのおまつりを演出している。

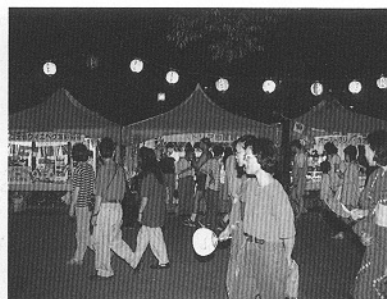


並木通り

世田谷通りから入った一画が「けやき広場」。ケヤキ並木が公苑正門まで続く。おまつりのときには「並木通り」の名称が付けられ、通りの両側には交流自治体の物産展の出店コーナーが並び、ふるさとの香りを来場者を迎える(二十回の出展自治体の紹介は45頁を参照)。物産展の間には世田谷区が姉妹都市協定を結んでいる都市のブースも設けられ、まさに交流の通りになっている。土・日両日の夕刻になると、もうすっかりお馴染みになった山口市の七夕行事の「山口ちょうちん」に火がともされ、夜の並木通りは幻想の世界に一変する。



公苑正門
おまつりの総合案内所



並木通り
国際交流コーナー



並木通り
山口ちょうちんのアーケード

中央通り・メインスクエア

正門脇では、おまつりムードを演出する飾り山車や飾りみこしがある。おはやし舞台では世田谷の郷土芸能が演じられ「村まつり」の雰囲気。新登場のうま丸が微笑む実行委員会のグッズコーナーも賑わう。ヤキンバなど食べ物を販売する商店街(商店街出店部会)や、手作り製品・日用品などのバザーもある福祉団体(福祉団体出店部会)、楽しいゲームや公共サービスの情報提供・相談に当たる公共団体等(暮らしの情報部会)や区政PRコーナーが並び、メインスクエア周辺では演芸ホールと囲碁・将棋コーナー、中央通りは縁日と市と繁華街が渾然とし、まさにおまつりの熱気に溢れるエリアだ。



おはやし舞台(郷土芸能せたがやばやし)
土曜は安宅囃子保存会と大蔵石井戸囃子保存会が、日曜には烏山芸能保存会と廻沢囃子保存会が出演した。



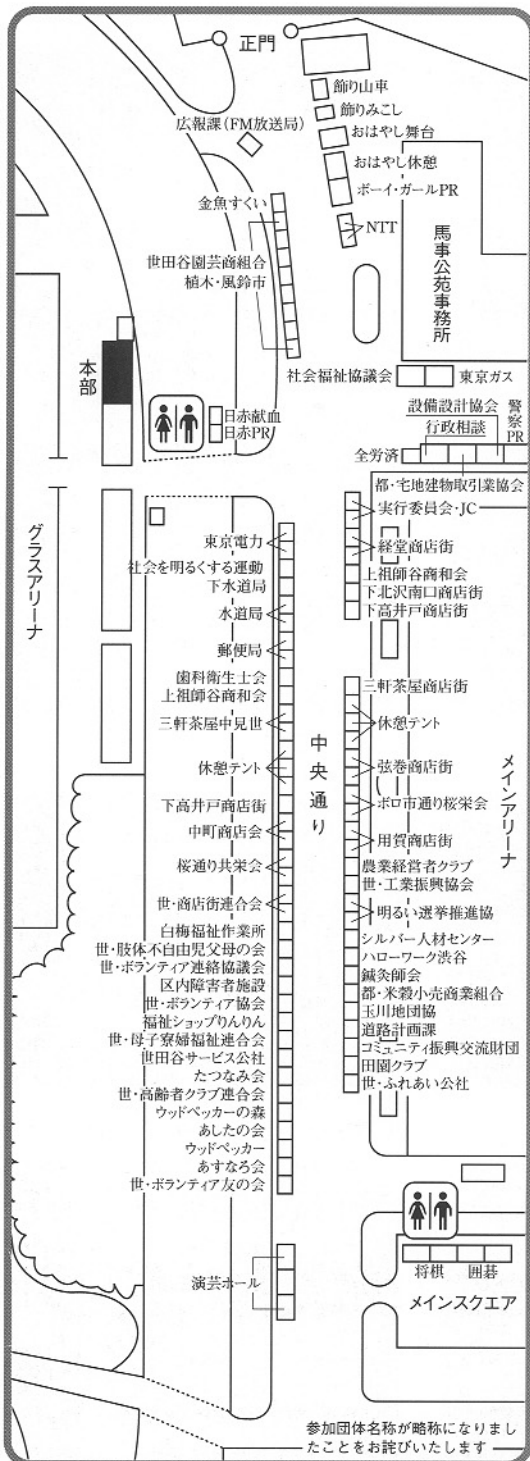
中央通り(暮らしの情報部会)
NTT世田谷支店の似顔絵コーナー



中央通り(暮らしの情報部会)
世田谷区赤十字奉仕団の献血コーナー



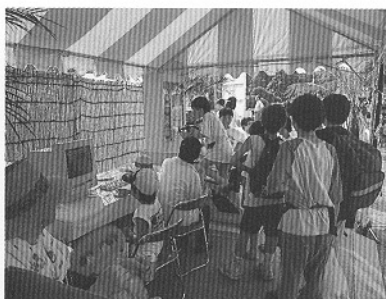
中央通り(暮らしの情報部会)
金魚すくい



参加団体名称が略称になりました
たことをお詫びいたします



中央通りの賑わいの様子



中央通り(暮らしの情報部会)
東京電力(株)世田谷支社のゲームコーナー



中央通り(実行委員会グッズコーナー)
今回から「せたがやうま丸」グッズが新登場



中央通り(商店街部会)
世田谷区商店街連合会のゲームコーナー



中央通り(商店街部会)
ヤキトリとビールがあればもう最高



中央通り(商店街部会)
おまつりの人気メニューNo.1はヤキソバ



中央通り(福祉団体部会)
白梅福祉作業所・松原福祉作業所の売店



大勢の人波に溢れる中央通り



中央通り(暮らしの情報部会)
(財)世田谷区シルバー人材センターの売店



中央通り(福祉団体部会)
福祉ショップりんりんの日用雑貨の売店



中央通り(福祉団体部会)
世田谷区内障害者施設の展示・即売コーナー



中央通り
区政PRコーナー



中央通り(区政PRコーナー)
道路整備部も「道路クイズ」でPR



中央通り(福祉団体部会)
(財)世田谷ふれあい公社は福祉のまちづくりPR



メインスクエア(囲碁・将棋コーナー)
島朗プロ他による将棋の指導・解説

囲碁・将棋コーナー
アマチュア棋士に好評の囲碁・将棋
コーナーは土・日の両日午後一時よ
りプロ棋士による指導・解説が行わ
れ、毎回実力派有名棋士の指導が受
けられるという人気のコーナー。

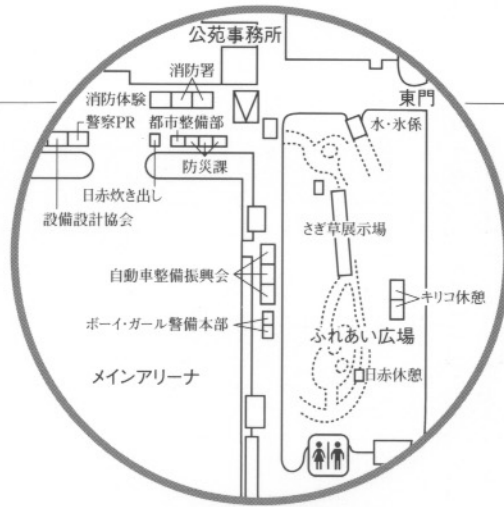
ふるさと区民まつり版「笑点」の演
芸ホールは前夜祭も開演、3日間に
わたって駒沢大学落語くらぶ・国士
館大学落語研究会・東京農業大学落
語研究会による「世田谷三大学落語
研究会合同寄席」の他に、劇団
「Coat・箱屋」の演劇が開催された。



中央通り(演芸ホール)
地元三大学落語研究会員による落語の競演



ふれあい広場周辺通路(暮らしの情報部会)
自動車整備振興会のマスコット



ふれあい広場周辺
公苑事務所前からふれあい広場周辺では、暮らしの情報コーナーと世田谷区の花「さぎ草」の展示コーナー。ここでは区民の自慢の逸品によるさぎ草展(講習会も開催)が行われた。またメインアリーナでは馬事公苑協力による「馬・馬車の試乗会」も土・日の午後に開催された。



メインアリーナ
馬事公苑ならではの馬と親しむ乗馬体験



ふれあい広場
可憐な花が見事に咲き誇るさぎ草展



馬事公苑事務所前(暮らしの情報部会)
防災課も輪投げゲームで防災PR



ガラスアリーナ
児童館が創案、人気のローラーコースター



オープンスクエア
第1回から続いているミニSL



遊園地(ひょうたん池の脇)
作法を教えられ神妙なお点前の子どもお茶席



メインステージ裏の林でのきもだめし
恐い林を無事ぬけるとお楽しみが待っている



手づくりいろいろ
親子で楽しく造花づくり



オープンスクエア
ふわふわトランポリンも子どもたちに大人気

企画委員会 実行委員会の 区民まつり



毎年の企画を議論するのが企画委員会。イベント（広報（会場）販売）協賛（ふるさと交流）の各担当が出席、担当者から検討議案が提示されて企画骨子の議論が深められ、実行委員会において承認されることになる。第二十回の準備の足跡を議案中心に振り返ってみよう。

●平成九年二月六日／企画委員会 次回開催計画概要提案。〈全体問題〉企画委員会へ前夜祭移管、前年限りの山口ちようちん飾り継続依頼等案件報告。〈イベント〉観客を飽きさせないようパレードは土曜オーブニングに、出場団体全員でファンファール・ステージ演奏等プログラム構成や時間帯変更。ステージ以外の利用改善、参加促す演出案。歌手付き盆踊り、樽設置。企画委イベント実施するか。

〈広報〉二十回目にあふさわしいボスターの訴求内容・表現検討。チラシ等広報物の配付方法。〈会場〉二十回にふさわしい会場づくり、子どもコーナー等のゾーニング、テント出店位置検討。ゴミ回収改善等来場者ケアの充実。〈販売〉交流と親睦の場として販売テント継続。もつと区民まつりをPRできる商品の検討、名物商品企画開発急務。〈協賛〉協賛金減少対策。〈交流〉ふるさと交流会・同交歓会実施方法と位置付け。会場キャロットタワー最上階に。参加自治体へ二十回のアピール検討。物産展のO-157対策強化と徹底、防災対策徹底。

●平成九年三月四日／企画委員会 〈イベント〉各曜日に特色あるプログラム提案、フィナーレコンサート歌手入選、盆踊りに民謡歌手呼び土曜催行、盆踊りサンバのプログラムにはプロ司会依頼。企画委イベント実施、

●平成九年四月九日／企画委員会 〈イベント〉フィナーレコンサート歌手は尾崎紀世彦に決定。土曜十五・十八時のプログラムの検討。前夜祭コンサートは特色あるプログラムの検討。〈広報〉統一テーマと国際化・高齢化・情報化社会を表現するボスターデザイン案決定。チラシ裏面構成内容検討、富永一朗さんにイラスト依頼、制作部数・配付・揭示案承認。〈会場〉ゴミ減量徹底でゴミパトロール隊巡回・監視検討。〈販売〉目玉商品用キャラクター企画案アンケート五案から決定した「馬」の図案をシンボルマスケットにも使用。〈協賛〉協賛目標額と予算検討。ボールペン広告昨年の六割に本数減少。〈交流〉希望自治体にはキャロットタワーの劇場見学、進行方法後

昨年の反省等意見求む。〈広報〉二十回のコンセプト必要、原点に戻り統一テーマで。ボスターデザイン独創性活かしデザイナーに依頼中。〈会場〉工事予定の公苑使用可能。メインステージ位置はイベント内容や樽設置等内容に合わせる。ゴミ処理は分別ルールで分別の徹底、区内出店者の持ち帰り徹底。〈販売〉目玉グッズ開発全員で。〈協賛〉協賛向上へ宣伝効果高いグッズ新規開発、広告協賛の申込書（新規作成）協賛企画書に同封送付。〈交流〉交流会は昨年の通りで実施。物産展販売品・火気使用を把握し保健所指導に即応する体制。

日提案。

●平成九年五月十六日／企画委員会 〈イベント〉プログラム枠組みや演出固まる。前夜祭・土・日プログラム未決定部分検討。〈広報〉プログラム制作協賛中止で予算検討。キャラクター使用含め内容構成・配付先と方法・部数検討。ボスター修正案承認。〈会場〉会場レイアウト・装飾検討中（六月企画委に提出）。ゴミ分別PRで案内表示とゴミ箱設置、物産店に分別ゴミ箱配付。〈販売〉企画委全体で馬



ゴミパトロールをする企画委員

のキャラクター周知徹底化。名称募集は広報紙で、名称発表イベント化検討、キャラクターの大きなビニール人形制作依頼検討、販売品にキャラクター入れる、元れ筋除く従来商品中止。商品在庫数確認。〈交流〉交流会会場キャロットタワー二十六階レストランに。山口ちようちん飾り山口市の指導を受け企画委が「区民の手で再現」する意気込みで実施。

●平成九年五月三十日／実行委員会 第十九回区民まつり会計・会計監査報告、第二十回開催計画・企画委員会の進捗状況（会場配置・イベントスケジュール・広報計画他）・協賛状況・出店要領報告。

●平成九年六月十一日／企画委員会 〈イベント〉企画委ゲーム内容検討、イベントプログラム状況報告。〈広報〉プログラム構成と編集案決定、ゴミ減量のお願い掲載。金・土にプログラム回収、リサイクル利用の推進。〈会場〉進捗状況確認。〈販売〉マスケット名称応募要領・決定方法・表彰内容提案、命名式をまつり当日行、販売品決定、新規仕入れ商品の提案。〈協賛〉協賛状況の報告。〈交流〉交流会の進め方・タイムスケジュール・役割分担決定。山口ちようちん飾り企画委取り組み・段取り確認。

●平成九年七月十四日／実行委員会 企画委員会（広報・会場配置・イベント・ふるさと交流会）、警備救護委員会警備救護計画報告、出店関係部会参加状況、催し物関係部会参加状況各報告。

●平成十年七月二十五日／企画委員会 イベント・広報・会場・販売・協賛・交流各部会から実施詳細・タイムスケジュール・人員配置・分担等最終報告、確認。

●平成十年八月一日 会場準備。前夜祭。

座談会

みつげよう心のふるさと ひろげよう心のふれあい



オープニングのくす玉割り (第15回)



大場啓二区長



富永一朗さん



秋山光男実行委員長



永山和夫総務課長

.....

事務局 本日はお忙しいところをご出席いただき、有り難うございます。区民まつりも昨年二十回を迎えたのを記念して、記念誌をつくろうという気運が出てきました。そこで編集委員会をつくり、三田さんに委員長をお願いしたわけですが、検討していく中で、二十年を振り返る座談会をお願いしたいということになり、今日はお三方にご出席をお願いいたしました。司会の総務課長の永山さんは以前区民まつりに関わっていますので、適任だろうと思います。また、オブザーバーとして企画委員長の三田さんと企画委員の芹澤さんにも臨席していただいています。ではよろしくお願いいたします。

●●●プロローグ

富永 他の区ではこういう二十周年にもなる催しがあるんですか？
大場 町田が一年か二年早く始めたんですけど、続かなかったようです。だからうちだけ馬事公苑があったからできたんですよ。

富永 物産が年々増えてますな。歓迎するって言うところも来たがるでしょうな。

大場 そうですね、まだまだ増えますよ。みんな来て見るとちも出させて欲しい、って言われるから。

三田 地方出身の方が、自分のふるさとの物産展が出ていると、懐かしくてリピーターとなって来てくださるみたいですね。

大場 今や北海道から沖縄まで、みんな来ていますからね。

●●●おまつりに関わったところ

永山 そろそろ本題に入りたいと思います。

昭和五十三年に第一回が始まり、昨年二十回を迎えました。節目の年なので記念誌をつくろうということで、今日は漫画家の富永一朗先生と、二十回まで実行委員長を務められた秋山光男さん、それから仕掛け人の大場区長の三人の鼎談ということでございます。私は進行役を務めますので、思いつくままにお話しただけだと思います。最初に区長、本（手づくりまちづくり）にも書いてある「お

まつり仕掛け人」ということで、まつりを始めた動機をお話したいだと思います。

大場 私が選挙に当選してから、世田谷にシンボルになるようなものはないだろうか、といつも考えてきたわけです。一番単純に考えたのは村まつりだったんですね。おまつりの時の子どものはしゃぐ心、親もおまつりの着物を着たり、髪を結ったりしているのを見ていて、非常に華やいだ雰囲気を感じるわけでした、そういうものがまずあったほうがいいだろうと。大勢集まる場所もなくてはいけなし、そうかといってお宮さんというわけにもいかないし、いろいろ相談していたら、馬事公苑に更井さんという苑長さんがいらっしやって、宝塚に会場を貸しておまつりをやっているとあるから見てこいと言っていた。関係の者を見にやったら、あれはいけるぞというので芝馬場を貸してもらって、そこで始めようということになったんです。更井さんに始めるきっかけとしてご指導いただいたのが一つ。もう一つは福祉は大切だけど、おまつりも必要だと考えたこと。地方自治体は福祉だけやっていけばいいという話では困るし、実際に住んでいるすべての人たちにも、何か還元しないと行政として申し訳ないだろうということで、みんなで楽しめる多摩川の花火や梅まつり、このおまつりだのを始めたわけですよ。村の神社にはお神輿があるから、お宮さんの代わりにお神輿を並べて景氣を付けたらどうだろうと。それに地元の人たちも結びつきをしてくれて、大場信邦さんに実行委員長をお願いして引き受

けてもらったんですがね。私らなんかは「区長はおまつり区長だ」なんて言われてしまってます……（笑い）。

富永 「お祭り区長」つていい言葉じゃないですか。明るい、ということだから。暗い区長だったからおまつりは明るくならないもの。
大場 そんなのが始まりですね。「我が世田谷が私のふるさと」と思ってもらえればいいし、それがまた世田谷を愛する心にもつながってくるんじゃないかと思って。大学の研究生なんかを集めて、どうしたら面白くなるだろうかとずいぶん検討していただいて積み上げていったんです。ところで富永先生との最初の関わりはなんでしたっけ？



やぐらの上から挨拶をする大場区長（第4回）

富永 梅まつりですよ。谷内六郎さんが梅まつりの三回目が終わって亡くなって、それである日突然電話で梅まつりの漫画コーナーをやってくれて。漫画の仕事がいっぱいだから断ったら、あんたがいいからって、じゃあいいですよ、ということなんです。ごく簡単、電話一本で。

永山 それがきっかけですか、富永先生は世



マンガコーナーでの富永さん（第12回）

田谷区にいつ来られたんですか？

富永 昭和五十年。それまでは永福町、杉並に十六年いましたが何にもないのか、行事に声が掛かったことが一度もない（笑い）。

永山 最初に区民まつりに関わったときの印象はどんなものだったんでしょうか？

富永 あのころ「氷の彫刻コンクール」の審査をやっていて、で審査を終わってから「マンガコーナー」をやったというのであそこをやったの。氷なんかがある通りだから狭いんですよ、五十人も集まらなかったですな。

永山 秋山実行委員長の関わりはいつごろから、どういうふうに？

秋山 当時地域振興の大鳥さんの時代かしら。おまつりに実行委員会はあっても官の主導でやっているような形で、本来のおまつりは民が自主的にやって、官が少しあとでお手伝いをするのが望ましいので、これを機会に企画委員会をつくりたいと。で、企画のアイディアを出してくる人を探したから、皆さんで相談してくれということになって。何か訳の分からないうちに、まあ年を取っていたからかしら、いきなりなっちゃった。

大場 初めは実行委員会だけだった。ただ実行委員会は高齢の方が多いから、本当に考えて実行していく若手の企画委員がいないと、ということでお願したんですよ。

永山 初めは企画委員長で、実行委員長になったきっかけは何だったんですか？

秋山 企画委員として携わっていて、初代実行委員長の大場信邦さんの次が河野一郎さんですが、河野さんが健康を害されたときにピンチヒッターで出るといわれて。企画委員長と実行委員長では立場が異なるから、違うんじゃないのと言ったんですけども。そんなふうに行き委員長の代打で実行委員会に出たら、実行委員長代理という形で実行委員長をさせられて、河野一郎さんが引退されたら慣れているからいいじゃないかというので。

永山 当時から今日二十回を迎えて、ずいぶんと変化を感じていますか。

大場 まつり自身はやっぱ定着したっていう感じですよ、非常に落ちついてきて、準備も慣れてきている。それからよその市町村の協力、出店、これもますます盛んになってきて、三十団体もがそこで競っているものですからね、大変結構なことだと思っし……。初めは、来てもらうのにどこかないかという話だったんですよ。だからたとえばうちの職員に、おまえのふるさとから出てもええとかね……そんなことお願いしてたんだもの。

秋山 ああ、八丈島。

永山 あとは、豆記者の交流で宮古島の平良市とか……。最初はそんなところぐらいだっ



おみこしをビニールで覆って
雨の中のおみこし行進（第3回）



オブザーバー（写真右から）
三田達三（区民まつり企画委員長）
芹澤良明（区民まつり企画委員）

たですね。ところで私が携わったころも、特徴がないっていろいろ言われてきましたけど、今じゃあ物産展が非常な特色になってきたっていう感じがするんですけど。

富永 やっぱり食べ物ですよ、食べ物豊富じゃないと盛り上がりません。珍しい物を食べるとか、買って帰るとかしたいの。

大場 家を買って帰りたいっていうところあるんですよ。まして自分のふるさとが店に出れば買って帰って家族に見せたいんですよ、だからよく売れるんだろうと思うけど。ただ大きな西瓜なんて持って帰るのが大変だと思うけど、結構売れるんですよ。

富永 一つ思ったのは、物産が多くて面白いけども、グッズが少ないですなあ。観光地でいろいろあるけど、食べ物とグッズですよ。一番売れるのはねえ、全国ずうっと回ってみると、やっぱりテレフォンカード。大して儲からないんですけど欲しがるから一番売れる。

大場 そうですね。初めは売れるものがなくて、馬事公苑から蹄鉄の古くなったのをもらって、あれを金色かなんかに染めて売ったんですよ（笑い）。

秋山 あのころハイセイコーっていう馬がいたでしょう、どれもみんなハイセイコーの蹄鉄だって言って。これは前足ですか後ろ足ですかって聞かれて、前の右とか、後ろの左とか適当なことを言ったもんですよ。あれも大分売れ残っちゃったみたいでしたね。

大場 そんなことでもやらないと、なかなか店がつかないから。

永山 そうなると富永先生に一肌脱いでいただくことも必要かもしれませんね。

富永 私でよけりゃあ。ただ私のグッズばかりじゃ……。昨日テレビ見てたら、どこかの商店街でエプロンブームなのね、町全部エプロンしてると。だから意外といいんじゃないですか？ ほかが関係しているところで売っているものはエプロン、タオル、ハンカチ、Tシャツ、テレフォンカード、絵はがき、あとはキーホルダー。

●●●●ふるさと世田谷ですと胸をはり

秋山 ところで物産展出店をきっかけに、東京の郷土の会とか世田谷の郷土の会というのをつくった地方もありますね。最初私は区長さんからこんなお話を伺ったんです。世田谷生まれや世田谷育ちだけじゃなくて、よそから越して来た人たちが大勢いるんだ、この人たちが全員田舎にこだわっているわけじゃないけど、世田谷をふるさとと思ってくれればいいんだ。「ふるさと世田谷ですと胸をはり」というようなことに貢献しようじゃないか。



開会宣言をする秋山実行委員長(第20回)

いか、「ふるさととはどこですか？、世田谷です」っていうような形で進めてほしいと。ところで始まったところと現在の平成九年の二十回目と、世田谷生まれとよそから来た方との比率は変わってきているんですか。

永山 区民まつりに当てはまるかどうか分かりませんが、区民意識調査という中で「定住性」を調査しているんです。それによると長期の居住者、世田谷に二十年以上住んでいる人が、昭和五十年当時では三五・一%、ところが平成六年になると五五・七%と二〇ポイント以上も増えていて、世田谷にずっとお住みになる方が増えているんです。それから世田谷区に住みたいというのも、全国の地域で必ず五指に入るといこともあって。そういう意味じゃあ短期に、まあ三年未満で越してしまふ人は七、八%。この七、八%の人が出入りをしているという感じなんです。だからほとんどは世田谷に長く住むということなんでしょう。

富永 それは東京じゃあ一番住みたいところでしょう。文化が高いというところがあって全国回っていて、お住まいはどこですかって聞かれて、世田谷って答えると、すごいんですね、こうですもの。

大場 子どもたちのふれあい、親子のふれあい、隣近所のふれあいができるような、そういうまつりにしようと思ってきたわけですが、やっぱりうれいと思うことがありますよね。よその県から来た人が子どもの靴かなんか落としてしまったって、探して連絡するとよく取っておいてくれたって大変喜んでくれたとか、



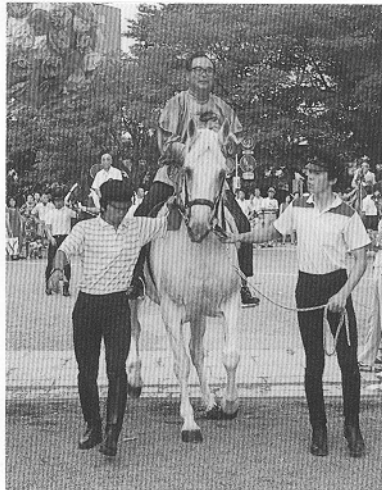
青空に浮かぶたこ(第4回)



水の彫刻コンクール(第4回)



マンガ本コーナー(第6回)



区長騎馬で正門から入場(第5回)



「お母さんのふるさととは山梨県ね、私のふるさと世田谷だね」と言って親子が対話をして喜んでいふのを見ると、これが世田谷を本当に愛する心につながっていくんだと思つてね、非常に心強く感じちゃって、自分たちも喜んでいたんですけどもね。そういう気持ちでどこかにあって、初めて世田谷っていいとこだ、ということになっていくんじゃないかと思ふんですけどね。

永山 そうですね、そういう意味じゃあまつの統一テーマというか、キャッチフレーズに区長のねらいが端的に表れているような気がしますよね。「みつけよう心のふるさと」はふるさと意識を持つと、もう一つ「ひろげよう心のふれあい」は地域コミュニティの話だと思ひますが、最初は「おまつり区長」なんて言われて、あまり理解されてなかったと思ふんですけど、最近はそのうちにもなつて、地域コミュニティの大切さが理解されてきたようですね。

大場 「みつけよう心のふるさと」とか「ひろげよう心のふれあい」、これは後でつくつたんで、初めはそんなものもなくて。

秋山 この統一テーマも素敵で、意味も素晴らしいんだけど、舞台の上で挨拶のときに舌噛みそうに長いんですよ、何かしゃべりにくい言葉だなと思ひますよ(笑)。ふるさととは前にいくんだつたか後ろにいくんだつたか、心はどっちだったかなと……。

富永 ポイントがないようなのがよかったですよね。どこでもいいからという、それがいいんですよ。それにやっぱり会場の広さがある

からよかった。

大場 このまつりで一つ成功しているのは、各商店街の人たちにお店をお願いして、香具師という人たちを初めから入れなかったこと、それが定着した一つの要因だと思ひますよ。初めは儲かりもしないのにこんなことを、なんて文句も言われたけど、今では喜んでやつてくれて、安くて美味しくてみんなが喜びそうなものを売ってくれているし。初めはふるさとコーナーでも出るとこがないから、カナダの姉妹都市のあれ出してほしいとか無理いつてつくつてもらったもんなんですよ。今になるともう出るとこがいっぱいになつてきて……。

富永 出店にいわゆる業者が入っていないつていうのはいいですよ。そういうのが徹底して、店に素朴感があるから。

永山 商店の人みんな区民でつくつているおまつりつていうのはね、まさに手づくりのおまつりつていう感じがすからねえ。場所さえあれば、物産展はまだ増えますけど、場所がもう一杯ですからねえ。

大場 ええ、だんだん増えてきて、商店街のほうも増えてきているし。

永山 二十回ということとは、その年に生まれた人が成人式を迎えるわけですから、かなりの定着を示しているという感じがしますね。ところで富永先生、ふるさととはどちらですか、お帰りになることはあるんですか？

富永 大分です。向こうには美術館があるし、漫画募集なんかもやつていて、毎年審査や表彰には帰るんですけど、あんまりふるさとで

……あつちで死のうとは思つてないですよ。昔からふるさとつていうのは歓迎半分やつかみ半分でね、やつかみが半分あるからかえつて面白くない部分もある、だからぼくはどこでもいい。今ぼくの漫画館がほうぼうに九ヶ所あるから、八十過ぎたらぐるぐる回つてどこで落ちるか(笑)。でも居心地がいいから世田谷以外に動く気がない。区も大事にしてくれて、区長の在職中は微力は尽くしますと約束もしているから。

永山 区長のふるさととは？

大場 私は生まれたのが山形……十三ぐらいのときかな、小学校卒業して東京に連れてこられた。東京に住んでた兄貴が召集で取られて、誰もいなくなるから来いといわれて。どつちかというと思ひ出はふるさとにあるけど、ほとんど東京で育つたという感じがすからねえ。

富永 山形の、区長の生まれた町(舟形町)に行つたことがあるんですよ、講演で。ここが区長が学んだ小学校ですよつて言われて、見に行きましたよ。だからやっぱり縁があるんだなあって思つてね。

秋山 私なんかは世田谷で生まれて育つて、墓に入るのも世田谷ですけど。だからふるさととは思ひますね。でもね、ふるさととは遠きにありて思ふもの、というのがなかなかいい言葉でしてね、そばにいと分らないことがいっぱいあるんですよ。少し遠くになるとか時間を置いてみて、初めて分かると思ふんですよ。何が何だか分らないうちに人生終わっちゃういそうですね。

大場 私はふるさとにいたのは短いけど、ただとても多感なときだったですよ、だからいろんな印象がものすごくあって、東京にいるよりもずっとたくさんの方のものをふるさとに見つけているわけですよ。そういう意味でも、遠きにおいて思うのかもしれないですよ。そこにいたらきつとよさも分らないかもしれないし、そうかといって一回どこかに引越して行って、ふるさとを遠きにおいて思うわけにもいかないし(笑い)。

●●●自治体間にひろがる交流

永山 どうなんでしょう、もう二十年経って区民まつりの評価は。区長お思いの通りですか？

大場 そうですね、私が発想したころの考えに非常に近くなってきた、ということですね。お宮さんでやるおまつりはお宮さんに行つて押んで、それでおまつりに来たような気がするわけですけど、それがいいから、八幡山の山車だとかを飾っておくことで賑わいは当然出てきているし。ただ本当にやってみたかったのは、世田谷中のお神輿が集まつて世田谷通りを行進するようなのなんだけど、これはどうも交通事情との関係でそうはいかないけど、そんなのはこれから課題として残っていくんじゃないかな。

永山 二十回で馬事公苑の改修であわや使えないっていうことがありましたね、なかなか代わる場所がないですからねえ……。

秋山 そうですね、世田谷のあっちこち探し



参加自治体のみなさんと歓談する大場区長(左、第20回のふるさと交流会会場で)

ましたけどもね。ただ、馬事公苑さんにもルールがいろいろありまして、ペットを連れ込んではいけないとか、球技はいけないとか、まあご遠慮願いたいということなんですけどね、花火は音がでるので、これも動物がいるからと。もちろんお願いしている立場ですから、遠慮しなけりやならないんですが、いろんなことが、制約とかそういうのが結構ありましてね。ボロ市みたいに朝九時になったら一斉に花火をドカン、ドカンと打ち上げれば、今日なんだろうと。ああいうことは馬事公苑の近くではできないもんですからね、よその人に知らしむべきことができないっていうことがありますねえ。

永山 自治体の物産展がずいぶんはやってきてはいますけど、交流のほうではどうですか、いろいろシンポジウムやったりしてきていますけれども。

大場 ええ、やりましたよね。前に町長や市長に集まつてもらって話し合いをしたんですよ、夜。面白い案がいろいろ出てくるんだけど、それが国際交流じゃないけど、各都市交流の大使館をつくれみたいな話しも出て。

秋山 世田谷の烏山と栃木県の烏山、沖縄県の宮古島と岩手県の宮古市、これなんかはたまたま名前が共通だったからなんでしょうけど、それなりの交流が始まっているみたいですね。長野県だと大町、松本、飯田の三つ、疎開の関係があるでしょうけどもね。

永山 世田谷区と他の地方都市との交流についてうんじゃなくて、いつてみれば世田谷区が仲人して、自治体間同志の交流が始まっているんですね。

大場 防災協力協定ができているところもあるんですよ。世田谷も帯広と協力しようという話があり、何かあったらジャガイモをと(笑い)。

富永 帯広とはどういう関係だったんですか、深い関係があったんですか？

大場 北海道からだれか出店してもらえないだろうかって、初めは。それでじゃあ帯広あたりはどうだっていうんで、職員がNHKの帯広支局を紹介してもらって。ところで世田谷村ってどこだったけ？

永山 江別市に世田谷村があるんですよ、世田谷から疎開して行ったんです。

大場 終戦のときですから、昭和二十年ぐらにに開拓民で世田谷区から二、三十人行ったんじゃないですかねえ。向こうで終戦になって、開拓して居ついた人もいたわけですよ。まだ存命の人もいるし節目だから来て挨拶してほしいというので、うかがって表彰したら喜んでくださってね、おばあちゃん泣くわけですよ、こんなにしてもらえるのは有り難いって。そこにも行ってみたらと職員に話し



栃木県烏山町山あげ祭(第11回)



雄壮な新居浜太鼓台(第9回)
代官屋敷からパレード(第10回)



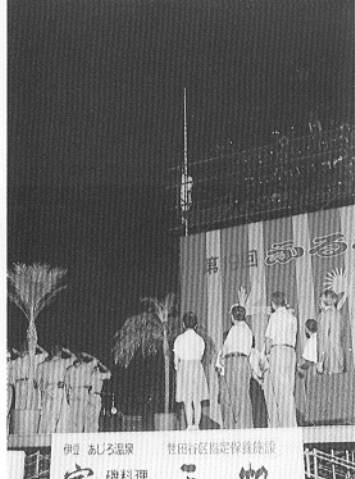
ふるさとなかよし交流会 (第14回)



雲仙災害救援募金 (第14回)



区民まつり旗の降納 (第19回)



ただけだ……。

秋山 あと小豆島の池田町、池田町サミットやってますねえ。

大場 池田町、よくきてくださるよねえ。あんな遠くから。

永山 そういうふうには自治体をいろんな繋がりやで広げていけば、全国全部繋がっちゃういますよ。

大場 そういう輪で広がっていけば、親近感が早く出るよね。ただ訪問してお辞儀して帰ってくるのと違うから。

永山 このあとは皆さんにも加わっていただいてフリー・セッションでいきましょう。

●●●エピソード

永山 以前に全国の地方紙を貰って来て、会場自由にお取りくださいって配ったら、あんなのふるさとだ、今どうなってるんだっていつ、ずいぶん持っていましたね。

事務局 去年、輪島のキリコが初めて県外に出たというんで、地元新聞も大々的に載せてくれたんですけど、そういうのも出せば喜ばれるでしょうね。

富永 アイディアとしては最高ですね、それは喜ぶな、俺の町が出てないかって、そういうものですよ。

三田 まつりの中身もごった煮だけど、世田谷をふるさと思う気持ちと、地方のふるさともあるでしょうから、いろんなふるさとが凝縮されれば面白い。交流自治体だけでもお願いしてもいいんじゃないですかね。

永山 区民まつりも、あまり大都市じゃなくて、地方の都市が集まっているっていうのもいいですね。

秋山 そうですね、村とか町・市の費用を大分使われていると思うけれども、採算は難しいなと思うものが一杯あって気の毒だし、それから向こうがこちらに来てくれてる情熱を、同じようにお返しすることができないです。このジレンマっていうのは、本当に申し訳ないと思うんですけども。

大場 山口市のちようちゃんでも本当にそうだよな。あれが点いていないとまつりみたいじゃなくなっちゃうよ(笑い)。本当に素晴らしいよなあ。

秋山 自分たちで火を点けるんですよ、あれはいいですね。

富永 山口から最初に持ってきたんですか？ 見ている余裕がないな、昼間だから。

大場 初め五年間だけ提供しますって言うって、提供してくださったんですよ。今回から山口



山口ちようちゃんの火入れの様子 (第19回)

の人の指導で、こっちでやっただけですけどね。あれ何個ぐらいあるんだろう？

永山 三千個ですね。

大場 三千個、それをケヤキの木にみんなくつつけるから、提灯のトンネルができるわけですよ。

三田 三千個飾りますけど、他に三千個ぐらいスベアを持ってきてくれるんです。

芹澤 六千個ですね。竹は何本ですか？ 竹に提灯くくりつけるんですよ。

事務局 竹は八十本ですね。

三田 ケヤキ並木は、赤い小さな提灯が三千個点きますからきれいですよ。蠟燭を点けるから時々上から、燃えたのが落ちてきたりするんですがね(笑い)。

富永 お盆とか七夕の行事に飾るんでしょうかね。

三田 七夕のおまつりのようですよ。毎年八月の六、七日と日にち決まっていますね、ずうっと町中やるようですねえ。私はまだ見たことないんですよ。

秋山 アーケードの中でやるって言うたね。アーケードの中だから雨の心配はないと。

三田 世田谷でやるときは雨の影響、風の影響があるもんですからね。

永山 地元で飾るときは三十万個ですね。

秋山 すごいもんだなあ。

永山 皆さん思い出が多くて話しが止めどなく続いてしましますが、そろそろ時間ですので、このへんでお開きにしたいと思います。どうも有り難うございました。



瀧澤美奈さん
(世田谷2丁目)

区民まつりは、小さいころからやっているものなので、この前行ったときも特別の印象は感じなかったんです。でも世田谷は、交通の便がいし住みやすい。生まれてからずっと同じところに住んでいるので、近所の人とも交流があつて、安心して暮らせる町、っていう感じ。他のところで生活したこともないし、また考えたこともないので、外国になんてことではなければ、世田谷にこれからは住んでいたい。



佐藤洋充さん
(池尻3丁目)

区民まつりがあることは、町内会に貼つてあるポスターとかで、やっていることは何となく知っていたんだけど……。世田谷の印象ですか？ 世田谷は23区のなかでもデカイという印象かな。でも、今までに特別に感情が入るような出来事もなかったんで、思入れのような気持ちはあんまり感じていないんです。



山岸由佳さん
(池尻4丁目)

周辺はなんでもあるから住みやすいところ。楽しいし、これからは住んでいたいところ、です。



田中美和子さん
(三軒1丁目)

世田谷にはあまりなじみを感じないかな。中学から私立に行つたので、世田谷区外のお友だちが多くて、地元意識とかふるさとという意識は、あんまり感じていないんです。ふるさと、といわれても、本当のところは二十年ぐらいいじやまだわからないですよ。でも便利で、住みやすい町。



小池 考さん
(下馬2丁目)

僕にとつて世田谷はいい町、落ちつく場所という感じ。中学時代は、何も考えずに遊んでいられたから、楽しい思い出がいっぱいある。畑が多いと言われるけれど、畑が多いほうがいいよ。道が狭くても緑の多いほうがいい。



松山友紀さん
(池尻4丁目)

世田谷はにぎやか。住みやすい。いろんなものがあり、栄えている都会だから、僕にとつてはふるさとというよりは住むための場所、っていう感じがする。お祭りの縁日とか学校時代が楽しかった。池尻は三軒茶屋に比べて、ファーストフードやコンビニも少ない。特にうちのまわりがとり残されたように何もなくて、不便でいやだったけれど、最近増えてきたので便利になってよかった。これから世田谷に住んでいたい。



安藤 生さん
(桜上町)

今まで四回ぐらい引越

したけど、全部この周辺。今アメリカにいくけど、地方から来ている日本人に向こうで会つと、東京の人っぽくないってよく言われている。東京というか、世田谷の人っていう感じがな。地方から出てきた人は一人暮らしもできるけど、私も友だちも小さいときからずっとここにいて、当たり前だから、ふるさとという感じはみんなないんじゃないかな。アメリカから帰って来て、電車乗り換えて玉電に乗ると、ウォー世田谷！ っと思うもの。友達がチンチン電車なんて言えば、「世田谷人をなめ



五十嵐智貴さん
(経堂3丁目)

やっぱり生まれたところ

だから、世田谷はふるさとって感じがします。今までに人生の一大イベントも無かつたし、うれしかったことも、つらかったこともなく、ほのほのと暮らしている。世田谷はこれからは住んでいたいところ。いま大学が北海道だけど、北海道と比べると、やっぱり住み慣れた町のほうがいいですよ。今日はこんな雪になってしまつて、北海道ではあたりまえでも、東京の雪はこまりますよね。でもきつとふるさとの楽しい思い出の一つになるんでしょうね。



稲本龍彦さん
(赤堤4丁目)

小さいころ、馬に乗った警

察官が松丘幼稚園の回りにきたので、それによく乗せてもらつていたけど、あれが区民まつりだったんですかね。小学二年の時に弦巻から赤堤に引っ越してきて、僕の住んでいるところはすごく静かで、住むには最適。ほかに代官屋敷の螢を見にいったりとかポロ市とか、そういう伝統的なことを続けているのは、僕としてもいいと思います。新宿や渋谷から帰ってきて電



高崎晴子さん
(赤堤3丁目)

感じます。子

ども時代の楽しい思い出も結構たくさんあります。世田谷は住みやすく、住宅街としてもいい場所です。環境がいいから、いい町。多摩や関東近県と比べても、東京の中心地に出やすい場所にあるながら、住むには緑が多いとか、道路などもきれいに整備されているし、騒音も少ないし、秩序が保たれているって感じがしています。将来的にも世田谷に住みたいと思います(世田谷に住んでいる長男と一緒になつちやうのが手つとり早いでしょうかね)。



三崎大洋さん
(粕谷4丁目)

生まれは上

幡山に引っ越して、粕谷にまた引っ越して一年ぐらいい。八幡山で子どものころよく遊んだところは蘆花公園。粕谷は静かいい町だ

●成人の日インタビュー

新成人に聞く

“ふるさと世田谷”

平成九年度の新成人たちは、ちようど区民まつりが始まった年の生まれ。彼らが、生まれ育った「ふるさと世田谷」をどう感じているのか、大雪に見舞われたこの日、成人式の祝賀会場でその思いを聞いてみた（話してください）。た全頁に掲載できませんでしたがお断りします。

と思うけど、家の状況が悪くなつて引越してきたから、子供のころはあんまりいい思いがあるとはいえないな。小さいころの楽しい思い出もあんまりないので、それはこれから期待、です。世田谷のよさっていつても、よくわかんないけど、馴染みがあるっていうところかな。これからは住んでいたいと聞かれれば、それはそうですよ。

宇田川裕子さん
(等々力3丁目)
等々力溪谷の近くに
通って、子どものころは溪谷は普通であつたので、何とも思わなかったけど、大きくなって雑誌などの記事を読んで、東京でこんなに緑があるのは珍しいんだと、最近実感するようになってきました。ふるさとという意識はないんです。ただふるさとがどういうものかわかりませんが、生まれてからずっといるから、世田谷にいてだけでホッとしています。他の町に比べて、ゴミゴミしていないし、かといって殺風景で寂しくもないし、住みやすいところなので、できるならずっといたい町。この間近所の人に着付けをしてもらって、



宇田川裕子さん
(等々力3丁目)
等々力溪谷の近くに

記念写真を撮ったんですよ。



大津洋明さん
(南島山1丁目)
鳥山に住んでいてイッ

スよ、自然も多いし、のどかです。ふるさとっていう感じだな。世田谷のイメージ？ うーん、なんだろうな、むずかしいですね。学校も区内だったし、バイト先もそうだし、まだ世田谷を出て暮らしたこともないんだから。将来のことはわからないけど、世田谷にずっと住んでいたいと思いますよ、やっぱり。



細川 元さん
(箱谷2丁目)
高校が馬事公苑の隣だったから、区民まつりのことは学校帰りに、やっているのはみて知っていたけど、一度も行ったことがないな。音もバシバシ聞こえてきた。箱谷の住み心地は非常にいいですよ、都心に近いわりに緑が多いから。老人だけじゃないですよ、僕らだってやっぱり緑が多いほうがいいに決まっています。中学時代の修学旅行のことなど、楽しい思い出が結構たくさんあつて、

今日の式典にも中学時代の友だちときていますけど、ずっと付き合っている感じがいますよ。



斉藤賢一さん
(八王子市南大沢)
高校一年のときに八王子

に越して、友だちとの別れがさびしかった。世田谷と比べて、八王子では友だちがでなくなつて、本当にベッドタウンっていう感じ。やっぱり友だちのいる世田谷のほうが楽しいし、懐かしいですよ。ニュータウンだからお店もすぐに閉まっちゃうので、比べれば世田谷に住みやすさでは一番。ふるさとって聞かれれば、一番の青春のときに育ち楽しい思い出がいっぱいの世田谷です。八王子で友だちができなかったのは、高校が私立で地域外にあつたから。でも、これからは八王子に住み続ければ、思い出もできて、ふるさとと思えるようになるんだろうな。



成田一美さん
(八幡山3丁目)
ふるさと世田谷？ うー

ん、なんだろう……。文化なんだよね、きれいなんだよ。木が一杯で、豊かで、それがイチ押し。あと、蘆花恒春園がいいよね、緑が一杯で。中学校のとき体育の授業でマラソンをよく走ったの。回

私ももう結婚してんだよ、子どももいるんだよ、親子で世田谷生まれなの。北島山から南島山へ引越して、それから旦那の家に移って来たんだ。地元はやっぱり離れたくないな。旦那が転勤で移らなければしょうがないけど、でも多分ないと思うから、これからはずっと世田谷に住んでるんじゃないかな。



中江晶子さん
(弦巻1丁目)
弦巻は近くに大きな建物

もありなくて、落ちついていて便利でいい町だと思います。生まれてずっと住んでいるので、近所のおじさん・おばさんとも交流があつて楽しい。今度深沢に引越すけど、近くに駒沢公園があつて、そこも気に入っています。小さいときは、近所に公園がいっぱいあつて、そこでよく遊んでいましたけど、最近減っちゃって小さい子どもの遊び場所がなくなつて、可哀相。中学から私立に行つたから、学校のお友だちのほうがいい。でも、小学校時代の友だちとは時々会っています。小さいときも今も楽しいんだから、ずっと世田谷に住んでいたい。



亀井暁枝さん
(奥沢4丁目)
奥沢は、渋谷や横浜に

くのに中間地点だからとても便利で、楽しいところです。世田谷の印象は、なんか昔ながらっていう感じ。あんまり現代っぽくないし、この区民会館もそうだけど、なんにもしていない感じがするから、昔のものが残っているように思えます。親は近所とはお付き合いがあるけど、私も中学から私立だったので、地元という感じがあんまりないんです。今日一緒に来た中江さんとは、別の小学校だけど、同じ世田谷区でたまたま中学・高校が一緒だったんですよ。



長谷川千夏さん
(代沢2丁目)
ずっと世田

るのでふるさとって言うイメージにはピンとこないですね。交通の便が良くて住みやすいです。ただ区内の移動が不便ですけどね。でも大好きですよ、本当に。世田谷と言っても私の住んでいる所は私の大好きなおまつりも盛んですし近所付き合いや、商店街の人たちとの関係はとっても下町なんです。私の家から駅まで歩いて五分ぐらいいなですが、最低三人にはあさつしますよ。それと、中学時代から続いている友だちもたくさんいるので、こんな良い街からは離れたくないですね。小・中・高・大と区内の学校に通っていたので青春の思い出の場所はいつも世田谷です。

せたがや:おん

20
まい
.....
まいんど



オープニングパレードで入場する実行委員と
参加自治体の代表の皆さん（8月2日）

20周年の記念のおまつりとあって、例年より多数の世田谷区内の団体が参加して賑やかにイベントを盛り上げた。メインステージ、並木通りステージを中心に土曜・日曜の区内参加団体のプロフィールを紹介する。最後を飾るのは、初日のオープニングパレードとステージ演奏に特別出演してくださった東京消防庁吹奏楽団。

私たち松蔭学園バトン部は、中学生はバトン演技、高校生はチアリーダーイングを活動内容としています。今回は中学生のみの参加ですが、常にクラブのモットーである *Be a Smile* を胸に練習に励み演技するようになっています。

今回の曲はこれまでの私たちバトン部の使っていた曲とは少々雰囲気の違いになりました。「ミスター・ベースマン」で有名になったジョニー・シンバルの歌「はくのマッシュマロちゃん」です。



松蔭中学校バトン部

■八月二日 グラスアリーナ・メインステージ

オープニング
パレード
ステージ演奏

今年のメンバーは六年生が二人しかいなく、四、五年生が多い編成になっています。ですから五年生も六年生といっしょに、新しく入った四年生に教えながらここまでできました。管楽器は音を出すまでがとても大変ですが、ある程度音が出せるといろいろな曲を吹くことができて、とても楽しいです。毎朝学校が始まる前の三十分と夏休みをかけて練習してきました。

元気のいい二曲をステージで演奏します。



区立喜多見小学校
金管バンドクラブ

(写真提供：長沼映子さん)

東京農業大学第一高等学校 吹奏楽部



創立から今日まで、音楽を通して人の和を拡げることが目標に活動が続けています。

以前はマーチングを活動の中心にしていたのですが、楽器や音楽のトレーニングとドリルのトレーニングを両立させるのが難しく、現在はステージ演奏だけにしほって活動しています。

練習時間が短く、スパルタ式のトレーニングもしませんので、技術的には見劣りのするバンドですが、音楽的な質の高い曲をじっくり練習することで、音楽する楽しさを味わいたいと思っています。

佼成学園女子中学校バトン部

私たち佼成学園女子校バトン部は、今年（平成九年）で創部三年目。上下関係の厳しくない部なので、人数が少ないながらも和気あいあいとした活動を行っています。

今までメインで活躍していた高校三年生が引退したため、メンバーのほとんどが中学三年生になってしまいました。彼女たちも受験生なのですが、がんばって部活を盛りあげてくれます。今の悩みは新入部員が少ないことですが、その分みんなで頑張っていきたいと思っています。

学校以外のイベントなどで発表する機会がほとんどありませんので、このフェスティバルには期待と、それから大変な緊張を感じています。



(写真提供：勝俣康子さん)

都立千歳丘高等学校 美稲吹奏楽団

昔は八十人もいたブラスバンドでしたが、今はたったの十五人になってしまいました。ですが、OB・OGのご指導もあり、なんとか曲らしくすることができました。

まだまだ未熟な吹奏楽団ですがお聞きください。

東京農業大学全学応援団 吹奏楽部

私たち全学応援団吹奏楽部は、学内の諸行事や野球、アメリカカンファットボールなどの応援活動のほか、夏の全日本吹奏楽コンクール、冬の定期演奏会といった音楽活動も行っています。

今後も、多方面にわたる演奏活動を目指としています。

東京農業大学全学応援団 チアリーダー部

私たち全学応援団チアリーダー部は野球、ボクシング、相撲、アメリカカンファットボールなど運動部の試合の応援を中心に活動しています。その他、区民まつりを含め地域のイベントに参加、演技披露したり、年三回行われるチアリーディング選手権大会で日頃の練習成果を確かめたり、

農大最大の行事、収穫祭の企画、ステージにも参加し幅広い活動を行っています。チアスピリットを大切に、いつも笑顔で元気にとんだりはねたりしています。

この区民まつりは少人数参加ですが、持ち前の愛校心と笑顔とはじけるパワーで楽しんでもらえる演技ができたらいなと思っています。



東京農業大学全学応援団 リーダー部

我々は全学生のリーダーとして各運動部の応援はもとより、大学諸行事への積極的参加、真のリーダーシップの探求・実践をし、母校農大の発展のため努力精進しています。

九月からは東都大学野球秋季リーグ戦が始まります。また十月からは、

十一月一日から三日に行われる収穫祭の宣伝活動を都内各所で行っています。

世田谷区民吹奏楽団



世田谷区民吹奏楽団は、区内在住または、在勤・在学する吹奏楽の愛好者を中心に平成二年に結成されました。区民まつりなど区内の各種行事への出演を通じて、地域社会の音楽文化発展に貢献すべく活動しています。平成五年夏には、沖縄県宮古島の「宮古まつり」に参加、地元高校生と合同演奏やパレードを行い市民レベルの交流を深めることができました。

音楽監督に佐藤菊夫先生、常任指揮者に安島洋一先生をお迎えし、

日々技術の向上につとめています。今後は、季節のスポーツなども取り入れて親睦を深め、チームワーク・音楽技術ともに日本一、いや世界へと羽ばたく「ウインドオーケストラ」を目指しています。

玉川消防少年団

玉川消防少年団は昭和五十二年に発団、今年（平成九年）は二十年の節目の年を迎えようとしています。

消防の仕事や火災予防を学び、また団員が心を一つにして団体行動ができるよう規律訓練を行っています。それ以外にも、キャンプなどの野外活動、出初式や防火パレードへの参加、一人暮らしのお年寄りを訪問したりと、幅広い活動を行っています。



ガールスカウト世田谷地区協議会

私たちガールスカウト世田谷地区では、各団独自の活動として、キャンプやロープワークなどを行い、奉仕活動として老人ホーム訪問、障害者との交流を、また地区行事への参加などと幅広い活動を通して、地域の人たちとのふれあいを大切に行っています。

日本ボーイスカウト東京連盟 世田谷地区

たくましくって、かしくって、心やさしい人間に育ってほしいという、お父さんやお母さんの願いに応えた元気な子供たちの集まりです。自然の中のびのび遊び、生き生き学ぶ、素晴らしい体験を通して人間形成で一番大切なものを育んでいます。



ボーイスカウト運動は、いまでは二百十七の国と地域に二千五百万人以上が参加する世界最大の社会教育運動で、その意義は広く認められています。

本で行進するスカウトは、区内の二十四ヶ団より選抜されたビーバースカウトとカブスカウト達です。

■八月二日 メインステージ／グラスアリーナ

ダックス

（メキシコ民族舞踊）

結成十五年あまりになり区民まつりも七回目の参加になります。世田谷を中心に月二回の練習を行い、ポーランド、メキシコ、ハンガリー

などの民族舞踊を踊っています。

今年は夏らしくメキシコのダンスをお見せしたいと思います。踊りも衣裳もその国のアカデミックな舞踊団のものを真似るようにしています。今回の踊りも直接講習会に参加しておぼえた曲や、テレビで放映されるメキシコ国立舞踊団の振付をアレン



ジしたものです。衣裳もラテン独特の派手な配色をつくるのに大変苦心します。少しでも「メキシコらしさ」を感じていただけたらとても嬉しく思います。

エスココーラ・ジ・サンバ・クルゼイロ・ド・スウル (サンバ・カーニバル)

結成十三年目を迎えたサンバチームです。楽しみながらサンバとブラジルの文化を勉強しようと集まったグループで、今年（平成九年）は三茶フェスティバルや雑居まつりにも出演します。また浅草サンバカーニバルは十三回の出場歴があります。今年では会場内をたくさんパレードして、皆さんといっしょにサンバを楽しめることを皆で考えました。本場ブラジルのカーニバルでは毎



年ちがつたテーマで歌ったり踊ったりします。クルゼイロの今年のテーマはインディオです。

経堂むらさき連 (阿波おどり)

経堂商店街に流れを作ろうと、最初は盆おどりに始まり、今から二十五年ぐらい前に、地域の人たちやお客さん、さらに子どもたちとのふれあいがもつと深まるようにと、下北沢ひふみ連さんなどの手ほどきを受けて阿波おどりを始めました。練習で踊りの婦人部が着ていた着物がたまたま紫色だったので、むらさき連と名付けたのです。今では子どもたちの夏休みの思い出作りに、夏休みに入ったらすぐに経堂祭りを開催し踊っています。地元ですので区民



まつりには百名ほどが毎回参加し、夏休みの思い出にしています。

世田谷区役所さぎ草連 (阿波おどり)

さぎ草連は昭和五十三年、区民まつりに阿波おどりをやるというので職員の有志が集まって連を立ちあげ、初回から参加しています。名前は区の花「さぎ草」にちなんでつけられました。どうしたら区民の参加を得られるかを考えないといけないのですが、阿波おどりは盆おどりとちがってやっているとところが少ないので踊りにくいのでしょうか。なかなかうまくいきません。それでも、福祉作業所の人たちも区民まつりに参加するのを楽しみにしているので、これからも続けて参加します。



三茶連 (阿波おどり)



連の結成から二十年になります。さき草連さんに教えて頂き、区民まつりには初回からの参加です。メンバーは小・中学生が四五十名、大人が二十名ぐらい、区民まつりには子どもたち中心で参加しています。子どもたちも毎年出演することを楽しみにしており、四月から練習に熱が入って本番を迎えます。親御さんの理解と協力も頂き、子どもたちは夏休みの予定を阿波おどりの練習や出演スケジュールに合わせて励んでいます。子どもたちもふれあいを通じて成長し、引っ込み思案の子が踊りを通して積極的になっていく姿を見るのは、やはりうれしいものです。

下北沢ひふみ連

(阿波おどり)

下北沢一番街七区の一・三区が集まってできた連なので、数を数えるときの「ひーふーみー」から取って名付けました。地域の商店街の活動の一環として、子どもたちにも一番街の夏のお祭りと思ってもらいたい

■八月二日 並木通りステージ

世田谷信用金庫

(チャリティーバザー)

私たちのチャリティーバザーは、



と、周辺地域の子どもたちに熱心に教え、百名以上も集まります。踊りの上手なひふみ連と、まだその域に達しないひふみっこ連からなり、区民まつりにはひふみっこ連中心の参加です。私たちの連は統制のとれた踊りを目指し、組踊りに取り組んでいます。毎年四月から区民まつりや下北沢のお祭りに向けて練習に励み、一所懸命練習したご褒美に高円寺に参加してシーズンを終えます。

当金庫の取引先から不用品を寄贈していただき、それを会場のお客さまにお買い上げいただいています。売上金は世田谷区を通じて施設などへ寄贈しています。

助世田谷ふれあい公社 フラダンス同好会 (フラダンス)

平成五年秋、当公社の協力会員の中でフラダンスが好きな人が集まり同好会を結成しました。週一回の練習ですが、今では表現力が豊かになり、情感溢れるダンスを披露します。区民まつりを始め、ふれあい公社の交流会、地域でのイベントなどに参加し、活躍しています。

さらに日頃は協力会員として、高齢の方、障害をお持ちの方のお宅で家事援助、介護などの活動も行っている同好会です。

■八月三日 グラスアリーナ・メインステージ

世田谷区フォークダンス協会

(みんなで踊ろう世界のフォークダンス)

昭和三十一年にうぶ声をあげた世田谷区フォークダンス協会は昨年(平成八年)四十周年を迎え、区の総合運動場体育館で練習発表会とフォークダンスパーティーを盛大に行いました。

当協会は六支部と十八賛助会員団で活動しており、区民まつり、区民スポーツまつりには毎年多数参加して楽しんでおり、また教育委員会主催の講習会を年二回開催しています。



(写真提供：世田谷ふれあい公社)

よくきかれる「もう十年早く知
りたかった」という方々がいらつし
やるからには、機会あるごとにPRに
心掛け、健康のために楽しく踊り続
けます。

小P連ふれあいコーラス

(みんなで歌おう、さわやかコーラス)

小P連ふれあいコーラスは、区内
六十四校の小学校からお母さん達が
参加しています。今回の参加は若林
花見堂、代沢、松丘、桜、世田谷、
船橋、塚戸、山野、深沢、用賀、玉
川、奥沢、尾山台、京西、太子堂、
桜町、以上十七校のお母さんです。

小P連の募集に応じて六月に集ま
り、二ヶ月間練習しました。区民ま
つりが終わると、一応解散、今日が
お別れです。



区立山崎小学校 (太鼓の響演)



山崎太鼓は山形県舟形町の長沢小
学校との交流学習からうまれました。
交流学習というのは、長沢小児童と
山崎小児童が、お互いの家庭にホー
ムステイをして交流を深めます。長
沢小の三好太鼓の一部(四本打)を
教わり、山崎流にアレンジしてく
りました。今年で六代(毎年五年生
が交流学習で長沢の生徒から手ほど
きを受け、六年生になってから受け
継ぐ)になります。区民まつりも五
回目の出演になります。

六年生が全員打てること、みんな
が大好きなこと、がよいと思います。
和太鼓に金管楽器の組合わせもおも
しろいと思いますが……いかがで
しょうか。

砧太鼓同好会 (太鼓の響演)



(写真提供：三戸部清さん)

砧太鼓同好会は平成十年で創立十
周年を迎えます。この節目として、
みんなで外国演奏が出来るように積
立てを始めることにします。

今年全員で世田谷太鼓の曲を主
体に、あとの曲は出陣、平和の曲(祭
り)、勝鬨、祈りの曲を演奏したい
と思います。今回はドイツから日本
の建築設計の勉強に来日しているア
ンドレアス・シュレップホルストさ
んも子どもたちと一緒に出演します。
アンドレアスさんは区の紹介で私たち
のところにやって来て、堪能な日本語
で誰よりも早く正確に、難しい太鼓
の曲もマスターしてしまいました。
そんなわけで、子どもたちと一緒に
海外演奏が出来ればと願っています。

大蔵てんぐ太鼓 (太鼓の響演)



大蔵てんぐ太鼓が生まれて十八年、
区民まつり出演は今回で十三回目
です。名前は太鼓区長が名付親で、世
田谷の天狗の伝承と子どもたちが天
空にはばたくように元気で育つよう
に、という意味からようです。

太鼓もなく、練習場もなく、車も
なく、衣装もなく、苦勞の時もあ
りました。特にお母さんたちには夜
遅くまで全員のタスキを縫っても
らったり、半纏のすそ上げをしても
らったり、道具の調達に遠方の専門
店に行ってもらったりしました。子
どもたちのお母さんのお力でこま
できました。区民まつりの舞台で叩
くことで、今までの苦勞は忘れま
す。子どもたちも同じ気持ちです。

八幡山青年会

(おみこし連合行進、山車とみこし)

八幡山青年会は昭和四十九年に発足しました。以来、会員相互の親睦と八幡山町内はもとより、近隣地域の人々とのコミュニケーションをはかるために色々な行事を行っていますが、中でも古紙回収のリサイクル活動は、青年会発足当初より現在も続けられ、その資金は山車・神輿の製作や町会行事の協力などに役立っています。

毎年九月には八幡社大祭が行われ、八幡山町内を山車・神輿が巡行してお祭りのクライマックスを迎えます。現在の山車は昭和五十三年に故・鈴木文次郎棟梁の精魂込めた奉仕により完成しました。



宇山昭和会

(おみこし連合行進、太鼓)



馬事公苑から西へ一km先の桜丘四丁目から、太鼓を直接引いてやってきました。先週(区民まつりの前の週)の三日間にわたって「納涼大盆踊大会」を開催して、延べ五千人の参加者があり、大盛況のうちに終了しました。そのあとの区民まつり参加で、本日は子供と大人六十名で参加しています。「ふるさと区民まつり」次の三十回を目指して、ますます発展するように、祈念いたします。

稲荷森稲荷神社横根睦会

(おみこし連合行進、太鼓とみこし)

当会会員と神輿・太鼓は、千歳船

橋の稲荷森神社より参加しています。当社は府中の大國魂神社三の宮講の流れをくむ神社で、府中にあやかって平成二年に直径六尺、重さ二トンの大太鼓を作りました。区内はもとより都内でも最大の太鼓で、十月第一土・日曜の祭りには、五十人以上の子どもたちが引いて町内を練り歩きます。神輿ももとは鳥越神社の町内神輿で、大正時代の浅草宮本神輿店の作といわれています。本年も大太鼓と神輿で盛りあげます。



船橋神明神社睦会

(おみこし連合行進、太鼓とみこし)

船橋神明神社の太鼓が区民まつりに参加するのは四年目となり、響き渡る音は力強く、そして日本の伝統文化を感じさせます。

船橋神明神社の御神輿は、町の皆



さまに守られて今年(平成九年)で四十四年の歴史を誇り、今でも光り輝く立派な御神輿です。

今から十三年前に発足した船橋睦会は、町を愛し、御神輿を愛し、汗にまみれて担ぐこの区民まつりで、その勇姿を披露できることを喜びとしています。

上祖師谷神明社奉賛会

(おみこし連合行進、太鼓)

第十回区民まつりから参加、今年で十一回目の出場です。荒井奉賛会長を頭に、若手組織「東西会」で太鼓を引っぱっています。町の行事、自治会、消防団、青年部と年中顔をつきあわしている仲良し集団です。今年も精一杯、馬事公苑の空に太鼓の音を響かせます。



喜多見御太鼓愛好会
(おみこし連合行進、太鼓)



玉川交通少年団は、少年の健全育成と交通事故のない明るい社会人づくりを目的としており、特に交通安全一をしっかりと身につけ「やさしさ」と思いやりの心を持った人間づくりにめざしています。団活動は鼓笛隊を編成し、交通安全PRパレード、高齢者ホームの訪問演奏、等々力ホテルまつり、砧公園動物フェスティバル、区および地域諸団体の各種行事応援、団員相互の親睦をはかるた

玉川交通少年団

(おみこし連合行進、子どもみこし)

喜多見の太鼓は区民まつりに最初から出ている太鼓で、大きさが四尺ほどと一番たきやすい高さで、音色も最もよく、世田谷区内でもかなり古い自慢のできる太鼓です。

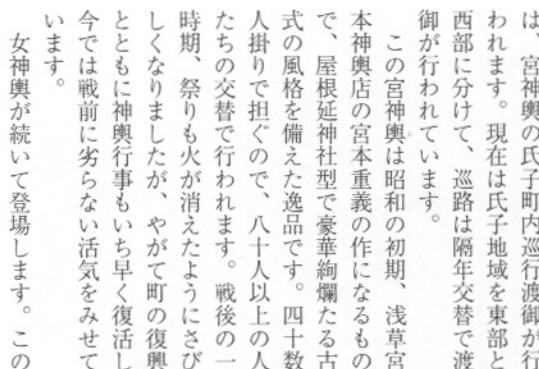


上馬宮元奨和會

(おみこし連合行進、みこし)

世田谷上馬にある駒留八幡神社を氏神様とする四睦会の一つで、おみこし連合行進には初回より参加しています。会の特長としては女性が多く、また二世代で担いでいる人も多くいます。

め餅つき大会、クリスマス会、いも掘り会、野外研修ハイキング会等を行っています。また団発足以来(約二十四年間)団員およびOB団員も含めて、現在まで一件の交通事故もなく、優秀少年団として東京都知事賞を受賞しています。お神輿連合行進には毎年参加し、団員の夏休みのよい思い出になると参加児童父母より大変喜んで頂いています。



深沢神社神輿睦会

(おみこし連合行進、みこし)

毎年十月十日の深沢神社例大祭には、宮神輿の氏子町内巡行渡御が行われます。現在は氏子地域を東部と西部に分けて、巡路は隔年交替で渡御が行われています。

この宮神輿は昭和の初期、浅草宮本神輿店の宮本重義の作になるもので、屋根延神社型で豪華絢爛たる古式の風格を備えた逸品です。四十数人掛りで担ぐので、八十人以上の人たちの交替で行われます。戦後の一時期、祭りも火が消えたようにさびしくなりましたが、やがて町の復興とともに神輿行事もいち早く復活し、今では戦前に劣らない活気をみせています。

女神輿が続いて登場します。この

小型の神輿も昭和七年宮本の製作によるもので、深沢不動前一円の氏子有志により渡御巡行されたものです。往時子供たちも担いだこともありましたが、平成になって女性有志が出動するようになり、生気とパワーが満ちあふれ、今では深沢の女神輿として名物となっています。

岡本睦会

(おみこし連合行進、みこし)

この神輿は千葉・行徳の浅子周慶作で、昭和三十二年に作製されたものです。なりは小振りですが、屋根は白木造りで大変手のこんだ神輿です。氏子連も誇りを持って参加しています。

続いては、区内で唯一の女神輿です。



見てください、あふれる女性パワー。熟練した担ぎ手の面々、躍動するその姿、これぞ岡本の女性の本領発揮というところです。区民まつりにも毎回出場しています。初めのうちは樽神輿を担いでいましたが、今では本神輿と変わり、意気盛んです。でも若い女性の方の参加が少なく、ちよびり悩んでいます。では又来年……。

用賀神社若獅子会

(おみこし連合行進、みこし)

用賀神社は区民まつり会場の地元の神社であると同時に、馬事公苑も用賀神社の氏子になりますので、馬事公苑の職員の方々も神輿を担いでくださいます。用賀神社の祭礼は十月十日の体育の日です。この時季に



は自然に体が動くのか、人が多すぎるくらい集まるのですが、区民まつりとなると、暑いからといってなかなか集まらないのです。なんといつても担ぎ手を集めるのに苦労しています。

代田睦会

(おみこし連合行進、みこし)

第二回目からフル出場の町会です。過去二・三回あった台風の中でも出場しています。もちろん本祭でも、昨年、一昨年と続けて台風にみまわれましたが、睦会・町会の力で神輿の巡行を行いました。

これだけの神輿好きは、代田の町会の伝統だと聞いています。梅原会長を中心にこれからも町会のために頑張ります。



喜翔睦

(おみこし連合行進、みこし)

喜翔睦は、昭和六十年頃より神輿好きが集まり、最初は自分達で手造りの神輿を作り、六年ほど前に新たに神輿を買い求め、今日に至っています。最初は少人数の会員も今では六十人ほどになりました。会員は東京都内、神奈川、千葉木更津にと担ぎに行く、神輿馬鹿の集団です。

喜翔睦が区民まつりに参加して十七年の月日が過ぎ、振り返れば手造り神輿での参加で、台風の日、猛暑の日と、幾多の思いが胸にこみあげてきます。

本年は区民まつりが二十回記念を迎え、その記念すべき節目に、会員一同元気に担ぐことができ、大変喜んでいきます。



北領睦

(おみこし連合行進、みこし)

日本神輿協会北領睦です。今回で七回連続出場になります。神輿を担ぐことにより自分自身の人間性の豊かさをづくり、また地域との友情の輪を広げてきました。

毎年春分の日は大々木公園内で北方領土返還祈願神輿大会を開催し、今年で十回目を迎えています。七月には日中友好協会のイベント、会津田島祇園フェアに参加、十月は大東京祭り、金沢八景イベント、日光東照宮祭り、熊本県菊池市市民祭、香川県高松市民祭等に参加を予定しています。

神輿の上で指揮をとっているのは玉堤小学校三年生の相沢俊也君と弟の零君の二人です。



祖師谷神明社

(おみこし連合行進、みこし)



区民まつりには毎年参加しています。

神輿の担ぎ方には大別して二通りあるようで、祖師谷神明社の神輿の担ぎ方は昔ながらの方法で、決して酔っ払い神輿ではありません。昔から神輿を揉むと言われるように、我が神輿の担ぎ方を名付ければ、「揉み上げ型」と言えるでしょう。肩を合せるのに背の高い人は、低い人に合せるため体を斜めにして担ぐので、反対側に押し担ぐようになり、また反対側でも同じようにして拮抗するので、神輿が安定します。多少神輿が回転したり傾くのも一見の趣きがあるとも言えます。他の町の年輩の方々から、懐しいなと言われます。

桜祭典委員会

(おみこし連合行進、みこし)

桜祭典委員会は地元の桜町会、松ヶ丘町会の有志からなり、区民まつりに参加しています。

御神輿の担ぎ手も年とともに高齢化していますが、若者には負けておれないとばかり、祭り好きが頑張っています。町内の若い人たちが大勢参加してくれることを期待しています。

これからも末永く区民まつりに参加できるよう頑張りますので応援宜しくお願いいたします。

■八月三日 メインステージ・並木ステージ

ナプア・ハワイアンズ&ザ・ローズ

(HAWAIIAN HULA SMILE)

ナプア・ハワイアンズは世田谷区職員互助会のサークルで、結成から三十年経ち、現在のメンバーは四代目です。今年は新しいメンバーが二名も増えてさらに若返りました。

「ナ」はハワイ語で「小さい」、「プア」は「花」という意味です。

今年は区民まつり二十周年ということもあり、男性はアロハシャツ、女性はムームーを新調し、トロピカルムードを盛り上げます。衣装の美しさも是非ご覧ください。



東京成城ライオンズクラブ

(チャリティオークション)

例年の区民まつりに継続して参加させていただいています。毎回クラブ員が持ちよった物品をオークションして、売り上げ全額を世田谷区に寄付していますが、区民の中に多くの常連さんがいて、いつも期待して待っていてくださるのうれしいことです。

オークションの途中、必ず区長さんとミス世田谷の方が売り手になってくれて、その時は特に安く販売するので人気が高く、皆さまもそれをよく知っていて、特に盛り上ります。当クラブの中にも千両役者の売り手がいって、買手を手を笑わせ、いつの間にか高く売ってしまうという特技の持ち主もいます。



国際ソロプチミスト東京一校

(チャリティオークション)



実業界で活躍する女性、専門的職業を持つ女性で組織する、世界最大の職業分類を有する奉仕団体が国際ソロプチミストです。

毎年大場区長にオークションの応援をしていただき、またたく間に売れつき、一同感謝致しております。誠に勝手なお願いですが、今年もスケジュール調整をお願い申し上げます。

風鼓の会

(和太鼓演奏)

昭和六十年羽根木公園の梅まつりからスタートしました。地域と子育て

てを大切にしながら、この仲間で十年間、和太鼓を続けてきました。家庭と仕事を併せもちながら活動を続けることは並大抵ではありませんが、太鼓と向き合うだけで元気が出てくる自分たちってかわいいですね……。

区民まつりのステージは八回目でしょうか。「去年も見に来たんだよ」と先輩の方々から声かけられるようになりましたが、本当に嬉しいことです。

女性で体力も弱いので、強く太鼓を打つことができませんから、風のように人びとの心に私たちの音が伝わればいいなと思って叩いています。課題は練習時間の確保と体力の増強です。

今年(平成九年)の秋に十周年記念公演を企画しています(下北タウンホールで行ないました)。



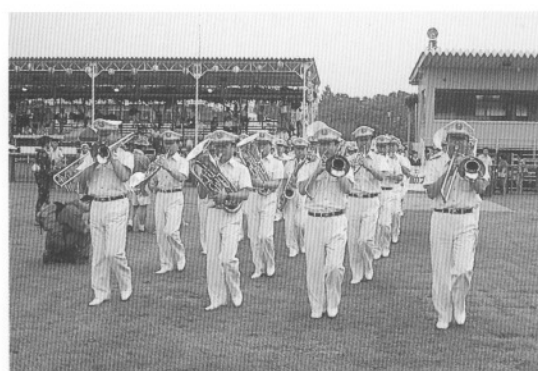
(写真提供：中村志津子さん)

★パレード・ステージ演奏に特別出演してくださった東京消防庁音楽隊の皆さん。素晴らしい演奏を聞かせていただき有難うございました。

東京消防庁音楽隊

(パレード・ステージ演奏)

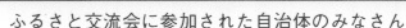
東京消防庁音楽隊は昭和二十四年発足以来、「都民と消防のふれあい」をモットーに消防のさまざまな式典をはじめ、東京都の関連行事、国家的・国際的な行事での演奏、さらには、児童生徒に対する音楽鑑賞教室など、皆様の消防に対する一層のご理解とご協力を頂くことを目標に活動を続けています。中でも春・秋のシーズンに日比谷公園で行っている金曜コンサートは定評があり、多くの人々から親しまれています。指揮者は田崎勝正隊長です。



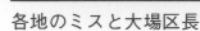
区民まつりの特色に多くの自治体参加がある。北は北海道から南の沖縄まで、お国自慢をたくさん紹介くださるので、まつりには欠かせない。この「区民まつり・ふるさと出張所」を楽しみに待つ区民が年々増えている。

区制六十周年記念の第十五回には交流シンポジウムを行い、各地が持つ課題、まちおこしの努力や知恵が熱心に語られ、一回ではおさまらず翌年も継続された。交流も回を重ねることに深まり、おまつりで出会った自治体間にも発展しているのは、おまつりを続ける励みであり、楽しみである。

二十回目のおまつりにご参加くださった自治体を紹介し、改めて感謝の気持ちをお伝えしたい。



二十回のおまつりにご参加くださった自治体に町のPRを寄せていただいたので、物産展の様子の写真と合わせてご紹介しよう。



緑ひろがる北のフロンティア都市・おびひろ
おびひろ
北海道帯広市

<http://www.city.obinhiro.hokkaido.jp>

帯広市は海と山に囲まれた「十勝平野」の中心に位置する、人口約十七万三千人の元気なまちです。広大な十勝平野と、四季の変化に富み、寒暖の差が大きい大陸性気候のお陰で、とつてもおいしい野菜と牛乳ができます。日照時間の長さや、空気・水のおいしさ、きさくな人々、そして絵はがきのような美しい景観がいたる所で見ることができるといったように、帯広市にはたくさんさんの自慢があるのです。

◆主要な観光名所

八千代牧場

グリユツク王国

愛国・幸福駅

岩内仙峡

紫竹ガーデン

真鍋庭園

リ
バ
テ
ィ
フ
ア
ー
ム

植村直巳記念館（おびひろ動物園）

道立帯広美術館

グリーンパーク四〇〇メートルベンチ

本州最東端の街・サーモンランドみやこ
みやこ
岩手県宮古市

人口約五万六千人の宮古市は、岩手県沿岸の中核都市で、三陸沖漁業の拠点となる港町です。また、リアス式海岸で有名な陸中海岸国立公園観光の玄関口で、名勝「浄土ヶ浜」を始めとした雄大な自然景観と、新鮮な魚介類を満喫することができます。



浄土ヶ浜

誇る秋鮭で、毎年一月始めには鮭祭りを開催するなど、鮭による街づくりを行っています。

◆主要な観光名所

- 浄土ヶ浜（白い岩肌と海の青の対比が魅力）
- 鮭ヶ崎（本州最東端の岬）
- ローソク岩（天然記念物）
- 潮吹穴（天然記念物）
- 日出島（天然記念物クロコシジロウミツバメの繁殖地）
- 姉ヶ崎（ウミネコの繁殖地）
- 月山（三百六十度のパノラマ展望が魅力）
- 津軽石川（鮭の河川水揚げ本州一を誇る川）
- 島めぐり観光船（ウミネコの餌付けが魅力）
- 姉吉キャンプ場（本州最東端のキャンプ場）

しあわせひろがる田園都市

岩手県西根町

西根町は東京から東北新幹線で盛岡まで約



岩手山

三時間、盛岡から北へ向かって約二七km、車で四十分のところにあります。南西には秀峰岩手山、北には多くの伝説を刻む七時雨山がそびえ、その間に肥沃な平坦地が開けています。西根町の基幹産業である農業は稲作のほか全国に誇る雨よけほうれん草など、岩手純情野菜の一大産地となっています。工業についても盛岡北部工業団地を中心に優良企業の立地が進み、若者の地元定着が図られています。

◆主要な観光名所

- 特別天然記念物 焼走り熔岩流
- 岩手山焼走り国際交流村（キャンピング、オートキャンプ場、天文台ほか）
- 岩手山（標高二〇三八m）
- 道の駅にしね（西根町生産物直売所）
- 七時雨山（標高一〇六〇m）
- 西根町歴史民族資料館

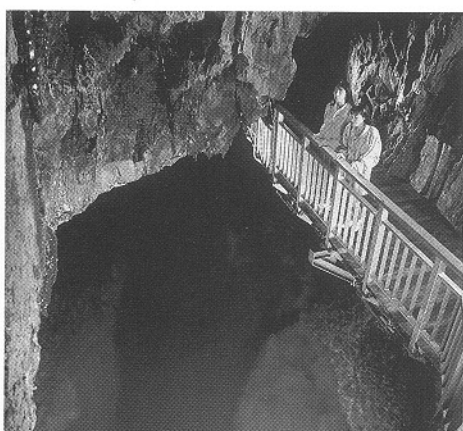
森と水のシンフォニー岩泉
岩手県岩泉町

<http://www.echma.ne.jp/~twalzum/>

岩泉町は、岩手県の北東部に位置し、本州で一番大きな町です。総面積の九四％が森林で、試算ではこの豊かな森林から毎年四百万人分の酸素を生み出していることから、「酸素一番」を宣言している町でもあります。現在、「森」と「水」にこだわった特産品の開発に取り組んでおり、イメージ商品として「龍泉洞の水」を販売しています。また、森を活用した「まつたけ研究所」を設置し、まつたけの産地化にも取り組んでいます。

◆主要な観光名所

- 日本三大鍾乳洞「龍泉洞」
- 安家洞
- 水渡探検洞
- 陸中海岸国立公園・熊の鼻
- 県立自然公園・早坂高原
- 御殿崎自然休養林
- 大川七滝
- 権取湿原



龍泉洞第二地底湖



岩泉町



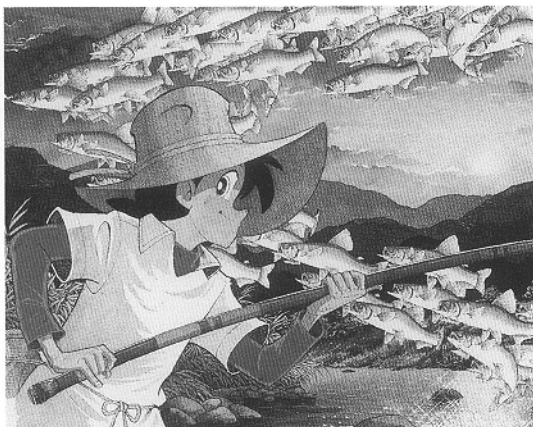
西根町



宮古市

いい人・いい里・いきいき増田
秋田県増田町

http://www.idena.yokote.akita.jp/masuda/



釣りキチ三平 落ち鮎のコロガシ釣り ©矢口高雄

増田町は秋田県の南東部に位置し、豊かな自然環境に恵まれた町です。

郷土が誇る漫画家、矢口高雄氏の代表作「釣りキチ三平」をイメージキャラクターに、恵まれた自然景観を活かし、四季を通して「遊ぶ・食べる・学ぶ」ことのできる「釣りキチ三平の里整備事業」を展開、自然が主人公であり、そこに集う人が自ら演出し創作し楽しむことをテーマにした町づくり、それが増田町です。

◆主要な観光名所

真人公園（全国さくら名所百選）
増田町まんが美術館
上畑温泉
天下森ふれあい農園（溪流魚釣り堀）
天下森スキー場
りんごの里物産館

雪とスイカと花笠のまち
山形県尾花沢市

山形県の北東部、東に奥羽の山々、西に最上の流れを望む豊かな自然に包まれた田園都市、尾花沢市があります。

広々とした大地、緑美しい自然、日本有数の雪景色、そしてこれらに育まれてきた素朴で人情味あふれる市民性、他に誇れる素晴らしい多くの宝を有しています。

尾花沢市の気候風土が「尾花沢スイカ」をして日本一の生産量を誇っています。

◆主要な観光名所

大正ロマン漂う「銀山温泉」
市民の憩いの場「徳良湖」
森林浴を満喫、県立自然公園「御所山」
芭蕉十泊のまち尾花沢「芭蕉清風歴史資料館」
ファミリースキー場「花笠高原スキー場」
漢方薬湯「森のホテル御所山」
尾花沢牛「宝栄牧場」
東北最大級「新鶴子ダム」
芭蕉七泊「養泉寺」
延沢能登守「龍護寺」

若あゆと古代ロマンの里 ふながた

山形県舟形町

http://www.ic-net.or.jp/home/kobusi

山形県の東北部に位置し、自然環境に大変恵まれ透きとおるような空気と清く澄んだ水目に優しい爽やかな緑に包まれた町です。

町を流れる清流小国川は川魚の宝庫で、特に鮎は明治天皇にも献上されたというほど味や香りは天下一品です。七月一日の鮎の解禁日以降、全国各地の太公望達で賑わいます。日本最大の土偶が出土したほか、世界初の

雪冷房システムの稼働や雪氷室での農作物貯蔵と、自然エネルギー活用で注目されています。

◆主要な観光名所

舟形若あゆ温泉あゆつこ村（温泉、露天風呂、コテージ、キャンプ場、テニスコート、ゲートボールコート、ウッディパーク、多目的運動場、イベント広場、県民ゴルフ場他）
猿羽根山公園（地蔵尊、相撲場、散策路、遊歩道、スキー場、歴史民俗資料館、農業体験実習館他）
松橋観光わらび園
小国川河川公園



舟形若あゆ温泉

緑と愛と丘のあるまち

山形県川西町

昭和三十年、一町五村が合併して誕生した川西町は「ダリヤの町」として有名です。



舟形町



尾花沢市



増田町



大子町



新治村



川西町



小野小町の館

やすらぎと活力のある田園都市・新治 茨城県新治村

六百五十種一万八千株にも及ぶダリヤ園は、各地から訪れる人々の観光スポットとして、また町民の憩いの場として、川西町のシンボリック的存在となっています。

また、水稲の反収日本一に輝いた豊饒な大地と、豊かな自然に育まれた川西町が誇る米沢牛は古に踊る絶品と評判です。

◆主要な観光名所
日本一のダリヤ園
川西町浴槽センターまどか
中国・朝鮮古代の陶磁器を集めた掬粋巧芸館
川西町埋蔵文化財資料展示館
直木賞作家井上ひさし氏寄贈蔵書還筆堂文庫

水と緑とロマンのまち・奥久慈やすらぎの里大子町 茨城県大子町

<http://www.net-lbarkr.net/daijo/>

大子町は、茨城県の最北西端に位置し、北は福島県、西は栃木県に接しています。袋田の滝や奥久慈温泉郷など自然資源に恵まれた山紫水明の地で、年間約百六十万人の入込み客を有する観光と農業の町です。

温泉は古来から袋田温泉、湯沢温泉、そして昭和三十七年に開発した大子温泉などで温泉郷を形成しています。町は、住む人訪れる人にやすらぎと憩いをもたらすまちづくりを進めています。

新治村は水郷筑波国定公園に指定される筑波山系の美しい自然と、その丘陵地帯に広がる古代からの豊かな歴史的資源に恵まれた村です。

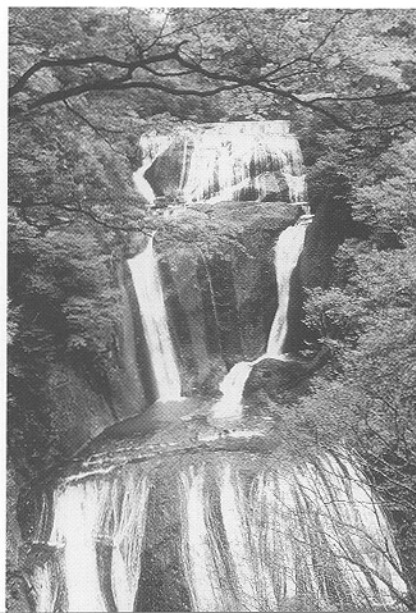
平成九年四月には、平安時代の歌人で絶世の美女とたたわれた小野小町終焉の地とした観光の拠点施設「小町の館」がオープンしました。余暇活動を自然の中で、心のやすらぎと食体験、農村文化に触れることのできる素朴な施設ですので、多くの方々においでいただけるようにお待ちしています。

◆主要な観光名所

小町ふれあい広場（小野小町の伝説を紹介した小町の館・県内一を誇る水車あり）
朝日峠展望公園（関東一のパノラマ公園）
小野小町の墓
武者塚古墳（七世紀後半の円墳）
清滝観音（坂東二十六番札所）
向上庵（しだれ桜と石庭）
前野家住宅（文化三年の建物）
法雲寺（城郭造りの頼願寺）
石造五輪塔（頭白上人功德塔）
ゆう・もあ村（忍者屋敷・ラドン温泉）

水と緑と万葉のまち・さの 栃木県佐野市

佐野市は、栃木県の南西部に位置し、人口約八万五千人、面積八四・三七㎢です。万葉の詩情あふれる美しく緑豊かな自然に恵まれた、歴史と文化の香り高いまちです。二十一世紀へ向け、「活力とやすらぎあふれる人間尊重・快適環境都市」を基本理念に、豊かな自然環境と都市開発との調和をはかりながらまちづくりを進めています。美しい自然と基



袋田の滝

◆主要な観光名所
袋田の滝
奥久慈温泉郷（大子温泉、袋田温泉、湯沢温泉等）
大子温泉保養センター「森林の温泉」
男体山
八溝山
久慈川
奥久慈茶の里公園
大子広域公園
奥久慈憩いの森
奥久慈大子七福神巡り



伊香保町



鳥山町



佐野市



かたくりの花

盤のまちなみ、人情味豊かな、ラーメンのまち「さの」へぜひ一度お出で下さい。

◆主要な観光名所

四季折々の花咲くかたくりの里（三義山）
藤原秀郷公ゆかりの唐沢山自然公園
市民の憩いの場、花の名所・城山公園
梅など四千本の花が咲く花の里・梅林公園
日本名水百選の清水が湧く出流原弁天池
関東の三大師、佐野厄除け大師
足尾鉬毒事件に取りくんだ田中正造翁旧宅
世界の名作コレクションが並ぶ東石美術館
爽やかな風薫るハーブガーデン六月の森
佐野のお土産が勢揃い、佐野観光物産会館

山あげ祭と文化のかおる町 栃木県鳥山町

八溝山系の山間に囲まれた緑豊かな美しい町で、町の中央を南北に清流那珂川が流れ、四季折々の楽しみ方が満喫できます。伝統を守り続ける手書き和紙を始め天然鮎、地酒、鳥田うどんなどが知られ、果実は梨、りんご、ぶどう、栗、みかんなどが楽しめます。

鳥山町では、古くから城下町として独自の

文化を育て、特に山あげ祭は、国の重要無形民俗文化財に指定されており、毎年七月第四土曜を含む金土日には歴史と伝統を誇る野外劇が行われます。

◆主要な観光名所

町の中央に山あげ会館があり、一年中山あげ祭の雰囲気にあふれるスポットで鳥山の素顔に迫ります。またJR鳥山線滝沢駅から徒歩三分のところに龍門の滝、そして龍門ふるさと民芸館があります。その他五月になると、峠一面が山ツツジで真っ赤に染まる花立峠、紅葉の美しい落石、城山自然歩道などがあり、昨年オープンした町営温泉やまびこの湯からすやまは、心も体もリフレッシュさせてくれます。他にも見所が一杯です。



山あげ祭

スケートと石段と温泉の街 群馬県伊香保町

伊香保町は群馬県のほぼ真ん中、榛名山の



伊香保町の遠景

中腹にあり、西暦六百年前後、榛名山最後の噴火となった二ツ岳の噴火により温泉が湧出したと伝えられています。「いかほ」の語源はアイヌ語のイカボツプ（たぎる湯）や厳峰（いかほ、いかつい峰）が変化したと考えられており、また、温泉のある、大変景色のよいところとの意味からとも言われています。世田谷（粕谷村）に晩年を過ごした明治の文豪徳富蘆花の「不如帰」の舞台で知られている伊香保は、急坂に寄り添って旅館・ホテルが建ち並ぶ、石段の湯の街です。

◆主要な観光名所

温泉街のメインストリート・伊香保温泉石段街。四百年の歴史を持ち、関所付近より伊香保神社まで約三百六十段、湯煙のたつ情緒あふれる石段街です。伊香保露天風呂は伊香保温泉の湯元にあり、付近には飲泉所や蘆花公園、源泉の見える観覧所があります。



川場村の遠景

水沢寺は、坂東三十三番札所の十六番目の札所として信仰を集めています。参道には腰の強い水沢うどんが有名です。
伊香保ハイランドスケートセンターは、冬はスケートをメインに、夏はテニスやゴーカート。周辺には県立伊香保森林公園があり森林浴等も楽しめます。初夏にはツツジの花が満開になり、四季折々の自然が楽しめます。

ふれあいのさと川場 群馬県川場村

川場村は自然の宝庫です。昭和五十六年に世田谷区と緑組協定を締結した最大の要因は、川場のその自然にあります。友好の森を始め、さまざまな交流が行われているなか、川場の

自然は各所に活かされています。

区民まつりでの川場物産展では、新鮮野菜や旬の味を区民の皆さんに賞味頂いているところ。今後は区民健康村として川場らしさを追求します。

◆主要な観光名所

田園プラザ（製造・体験・直売を楽しめます）
ホテルSL（蒸気機関車D51が迎えてくれます）
赤倉溪谷（溪流に紅葉が映えます）
川場牧場（緑の大地に放牧された牛たち）
寺社仏閣（吉祥寺・桂昌寺・清岸院・延命院）
石仏巡り（村内あちこちに独特の石仏が）
川場温泉郷（川場・武尊・塩河原・桜川の四つの温泉）
春は新緑・りんごの花摘み、夏はアウトドア、秋は紅葉にリンゴ狩り、スキーの後は温泉で……四季折々に川場を楽しめます。

黒潮に浮かぶ「花と緑と温泉の八丈島」

東京都八丈町

<http://www.islands-net.metro.tokyo.jp/nachijima>

八丈島は、東京の南方海上に位置するひょうたん型の島で、緯度は高知県室戸岬とほぼ同じです。昔は島も通わぬ八丈島と言われましたが、今は東京竹芝桟橋から毎日、羽田から一日五便、わずか四十五分でアクセスします。

青く澄みきった海はスキューバダイビング・釣り・サーフィンなどのマリンスポーツと花と緑の八丈島の文化と歴史を散策しながら思いきり自然とふれあい、心も体もリフレッシュしながら、八丈島を満喫して下さい。

◆主要な観光名所

登龍峠展望台（八丈富士・集落地を望む展望台で、新東京百景のひとつ）
ふるさと村（八丈島の伝統建築の民家）
都立八丈植物公園（広々とした公園、亜熱帯植物、



大坂トンネルからの展望

熱帯の花や木が楽しめる）
玉石垣（その昔、海岸から運んで築く）
ふれあい牧場（八丈富士六合目、牛の放牧、展望台より町並を一望）
南原千畳敷（八丈富士が噴火して流れ出た溶岩、右に八丈小島、また磯釣りの好適所）

健康の郷大和町

新潟県大和町

<http://www.tiara.or.jp/~yanabo/>

美しい自然に恵まれた大和町は、新潟県の南端、群馬県境に位置し、日本一美味しいと評判の「魚沼コシヒカリ」「八色スイカ」の産地として知られています。

大和町は従来農業を主体に発展してきましたが、上越新幹線・関越自動車道の開通を契機に、国際大学、北里保健衛生学園、国際情報高校を誘致し学園都市づくりに取り組むと



大和町



八丈町



川場村

ともに、町立総合病院、農村検診センター等を整備し健康の郷づくりを実践しています。

◆主要な観光名所

普光寺毘沙門堂（山門の双龍は谷文晁作）
龍谷寺（観音堂は珍しいインド・グプタ様式）
八海山神社（一枚岩の大鳥居は日本一）
水無溪谷（雄大な越後三山と水無川の清流）
大崎ダム湖公園（花がいっぱいの手作公園）
越後三山森林公園（水無溪谷の新スポット）
西山三十三番観音巡り（3kmの散策）
町立美術館（日本美術・海外美術をはじめ、スポーツに関する世界的コレクションを展示（平成十年十月オープン））



越後三山森林公園

人と自然の生命が輝くまちづくり

新潟県松代町

昔は陸の孤島と言われていましたが、現在は平成九年三月に町民の永年の夢を乗せ「ほ

くはく線」が開業し、首都圏まで二時間圏域となりました。地域振興を図るため、都市との交流を掲げ、自然景観に恵まれた芝峠温泉、雪資源を利用したスキー場等の施設整備を行い、越後まつだいの冬の陣のイベントを充実し、四季の変化に富み、美しい自然と人情身溢れる土地柄を、観光事業を核として町づくりを進めています。

◆主要な観光名所

松茸神社（県内最古の建築物で国指定重要文化財）
松代城（天守閣から町内が一望）
郷土資料館（遺跡や各種生活用具が展示）
スキー場（家族向けで雪質が最高）
芝峠温泉からの眺望は最高
松代城跡公園（キャンプ場や菖蒲園がある）
バターゴルフ場からの眺望も最高
ふるさと会館（まつだいの駅に隣接し、特産品コーナーや食事処や観光案内コーナー等もある。また道の駅としても利用される）

史跡と果実と観光のまち「えんさん」

山梨県塩山市

塩山市は、甲府盆地の北東部に位置し、周囲には「大菩薩峠」に代表される秩父多摩国立公園を始めとする雄大な山並みが連なり、耕地では日本有数の果樹生産地として、モモ、ブドウ、スモモ等が作られています。また、武田信玄で有名な恵林寺を始めとする数多くの史跡、文化財等の宝庫です。

平成十年七月には、世界的にも珍しい泉質のユニークな温泉である市営「大菩薩の湯」がオープンしますので、是非お出掛け下さい。

◆主要な観光名所

大菩薩峠
恵林寺の晩鐘

塩ノ山と湯けむり
東山フルツラインの夜景
三窪高原のお花畑
一ノ瀬高原と溪谷
柳沢峠の富士
塩山桃源郷
雲峰寺
甘草屋敷



大菩薩峠

アルプスとお城と創造のまち

長野県松本市

<http://www.matsumoto.ne.jp>

松本平の中心都市として発展してきた松本市は、古くは信濃国府がおかれ、一国の政治経済の中心地を形成。近世以降は、現在国宝として名高い松本城の城下町として賑わいました。以後、産業・文化・観光都市として伸び、最近では精密機械・ソフト産業なども充実してきています。花いっぱい運動の発祥、サイトウ・キネン・フェスティバルなどのグ



松本市



塩山市



松代町



飯田市



大町市



松本城

ローバルな情報発信と天恵の自然を合わせ、
住みよいまちづくりをめざしています。

◆主要な観光名所

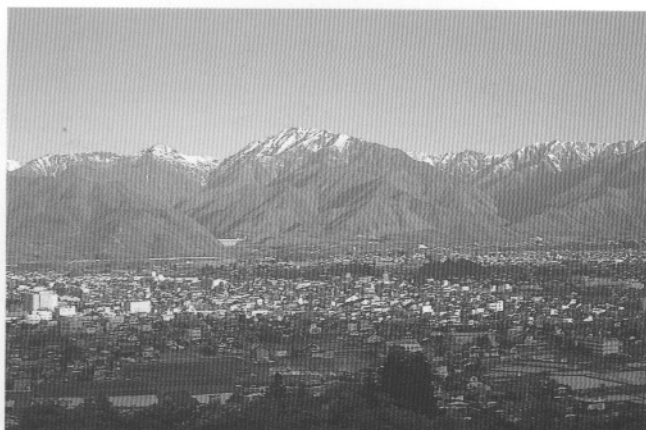
国宝松本城
美ヶ原高原
重要文化財旧開智学校
重要文化財馬場家住宅
浅間温泉
美ヶ原温泉
美鈴湖
日本浮世絵博物館
旧制高等学校記念館
アルプス公園

北の安曇野 北アルプス一番街

長野県大町市
おおまち

<http://www.park.or.jp/community/ALPS/>

山紫水明の地、大町市は新宿からJR特急
で三時間余り、北アルプスの麓にある山岳観

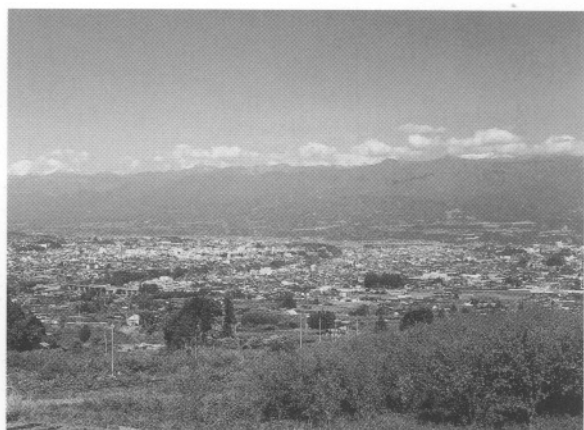


大町市の遠景

光地です。街の西方に鹿島槍ヶ岳を始めとする
秀峰が連なり、その山並を貫く「立山黒部
アルペンルート」の玄関口です。湖、温泉、
スキー場など天与の自然が訪れる人々を和ま
せます。良質の米と清流が造りだす清酒、た
わわに実るりんご、山菜さのこ野菜の漬物が
旅人をもてなします。知るほどに人々を魅了
する街、それが「おおまち」です。

◆主要な観光名所

黒部ダム・立山黒部アルペンルート
北アルプス後立山連峰・表裏銀座コース
スキー場（青木湖・鹿島槍・ヤナバ・大町・爺方岳）
仁科三湖（青木湖・中綱湖・木崎湖）
葛温泉・大町温泉郷・木崎湖温泉
大町山岳博物館を始めとする十二の博物館と美術館
及び資料館
塩の道・小笠山トレッキングコース
国宝仁科神明宮を始めとする史跡めぐり



飯田市の遠景

人も自然も輝くまち飯田ー環境文化都市ー
長野県飯田市

<http://www.city.iida.nagano.jp/>

信州伊那谷の雄大な自然の中に、箱庭のよ
うに広がる飯田のまち。伊那谷は日本の伝統
芸能の宝庫であり、長野冬季五輪の開会式を
飾った獅子舞や人形浄瑠璃などが、今も暮ら
しの中に息づいています。

飯田は農作物の南北限にあり、りんごをは
じめ四季折々の自然の恵みに包まれています。
古くは城下町として栄えた中心市街地には、
中学生たちによるりんご並木を見ることがで
きます。美しい飯田水引きにも心ひかれる、
人口十万人の山都です。

◆主要な観光名所

名勝天竜峡、天竜峡温泉
天竜川舟下り
元善光寺



彦根市



輪島市



朝日村



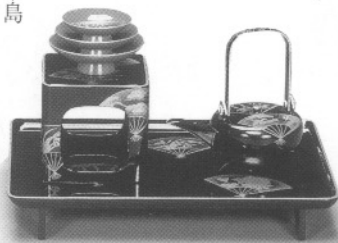
鉢盛山をバックに広がる耕地

松本平の西南端に位置し、総面積七〇・六三kmのうち八八％を山林が占める豊かな自然に囲まれた美しい村です。村のシンボル鉢盛山を背に広がる耕地ではレタス、白菜などの高原野菜の生産が盛んで、県内でも有数の産地となっています。地域の活性化と都市との交流を目的につくられたクラフト、そば打ち、炭焼きの各種体験施設やスキー場、キャンプ

すこやかな心・体・土づくり 長野県朝日村

りんご狩り
りんご並木（日本の道百選）
飯田市美術館
大平宿
猿倉の泉（日本の名水百選）
開善寺、旧小笠原書院
信州ふるさとの杜伊那谷道中

輪島市は、本州中央部の日本海に突出した能登半島の北端に位置し、県都金沢市から約一二〇kmの距離にあります。
風光明媚な海岸線は優れた自然景観を呈し能登半島国定公園に指定されています。
また、輪島市は日本の美に代表される堅牢優美な伝統工芸「輪島塗」を基幹産業としており、この輪島塗を基調として国内外の漆器や漆文化に関わる情報発信機能を兼ね備えた「漆の里」づくりを進めています。



伝統工芸「輪島塗」



漆文化と自然がほほえむ観光のまち 石川県輪島市

<http://www.wajima-city.jp/wajima-city/>

場、マレットゴルフ場などのアウトドアスポーツ施設もあり、大勢の人達でにぎわっています。
◆主要な観光名所
鉢盛山
あさひプライムスキー場
普門山古川寺
青雲山光輪寺、薬師堂
ふるさとの味体験館あさひそば打ち道場

◆主要な観光名所
輪島朝市（日本三大朝市の一つとも言われ、毎日新鮮な海の幸がところ狭しと並び、多くの観光客で賑わう）
曾々木海岸（奇岩景勝が数多く窓岩が有名）
白米千枚田（斜面には幾何学模様をなす大小二千数百枚の田が眺望できる）
キリコ会館（幻想的な能登のまつりを紹介）
輪島漆芸美術館（日本で唯一の漆器専門に展示する正倉院風の美術館）
御陣乗太鼓（毎晩、輪島市文化会館で実演）

琵琶湖と鈴鹿山系に囲まれ、豊かな自然に恵まれた本市は、井伊家三十五万石の城下町として栄え、現在も国宝彦根城を始めとする貴重な歴史遺産を数多く残しています。
また、「夢京橋キャッスルロード」では、平成城下町が整備され、切妻屋根と白壁、格子戸に統一された街なみは、訪れる人々を江戸時代へと誘います。
三階三層の美しい天守に見守られた街を歩くと、そこそこで歴史に出逢うまち「彦根」。

城と湖のまち 滋賀県彦根市

◆主要な観光名所
輪島朝市（日本三大朝市の一つとも言われ、毎日新鮮な海の幸がところ狭しと並び、多くの観光客で賑わう）
曾々木海岸（奇岩景勝が数多く窓岩が有名）
白米千枚田（斜面には幾何学模様をなす大小二千数百枚の田が眺望できる）
キリコ会館（幻想的な能登のまつりを紹介）
輪島漆芸美術館（日本で唯一の漆器専門に展示する正倉院風の美術館）
御陣乗太鼓（毎晩、輪島市文化会館で実演）

おいでませ 西の京やまぐちへ

山口県山口市

<http://www.urban.ne.jp/>

山口市は、本州の西の端山口県のはば中央に位置し、およそ六百年の昔、時の大名大内氏が山口に館を移し、「西の京」と謳われ大いに繁栄し、京の賀茂川にみたてたといわれる一の坂川の周辺など、今もなお静かなたたずまいを数多く残した町です。

祇園祭や山口七夕ちょうちん祭と山口を代表する祭なども大内氏の時代に始まり、日本三名塔の一つである国宝瑠璃光寺五重塔は、創建当時の美しさを今に伝えています。

◆主要な観光名所

常栄寺雪舟庭（大内氏二十九代政弘が画僧雪舟に築庭させた庭で、国の史蹟名勝に指定されており、この庭は雪舟の水墨画の世界を具現化したもの）
中原中也記念館（近代を代表する抒情詩人の中原中也のふるさと山口市。彼の生誕地である市内湯田温泉に平成六年記念館が開館。館内には、中也自筆の草稿や日記をはじめ愛用のオーパーや机などのほか、詩集など貴重な資料を展示）

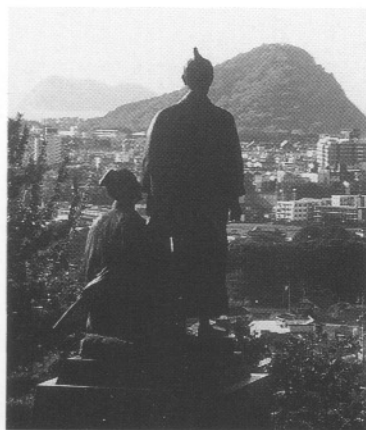


国宝瑠璃光寺五重塔

維新の里・萩

山口県萩市

<http://www.urban.ne.jp/home/hagi-city>



吉田松陰誕生地の銅像

維新百三十年の節目の年を迎えた萩は、幕末期に数多の志士を輩出し明治維新発祥の地として有名ですが、幕末期の佇みをいたる所に残した郷愁を誘う町並は、年間百五十万人にも及ぶ観光客の心のふるさととしての顔も持っています。新たな魅力づくりも盛んで、山陰地方初の私立四年制大学、県内初の地ビールや浮世絵専門美術館のほか、高速船就航を契機に見島では豊かな自然や水産資源を活かした海洋レジャー産業育成の動きがあります。

◆主要な観光名所

松陰神社及び松下村塾
指月公園（萩城跡）
明倫館（藩校）
見島
笠山椿群生林
吉田松陰誕生地（墓所及び銅像）
山口県立萩美術館・浦上記念館
野山獄跡及び野山獄跡（松陰入獄）
涙松跡（松陰萩に対する別離の逸話有り）
堀内伝統的建造物群

光と活力をめざした菊とそうめんの町

香川県池田町

瀬戸内海国立公園に浮かぶ、風光明媚な小豆島は「オリーブ」と郷土の作家・壺井栄の『二十四の瞳』で有名です。その小豆島の中央部に位置する池田町は「菊とそうめん」の町です。

「手延べそうめん」は日本三大ブランドの一つであり、「菊」はガラス温室で栽培する電照菊が全国的に有名です。

また体験型・滞在型レクリエーション施設の「小豆島ふるさと村」が整備されています。

◆主要な観光名所

小豆島ふるさと村
小豆島孔雀園（世界に誇る大孔雀園）
しあわせの像（ユニークな石のカエルの像）
湯舟の水（日本の名水百選）
地藏崎灯台（讃岐百景）
誓願寺のソテツ（国指定天然記念物、日本二）
池田の棧敷（国指定有形民俗文化財、日本二）
平和の群像（『二十四の瞳』のブロンズ像）
寒霞溪（日本三大溪谷美の一つ）
銚子溪お猿の国（野猿が群れ遊ぶ自然動物園）

潤いと活力にみちた産業・文化創造都市

愛媛県新居浜市

URL: <http://www.netwave.or.jp/~nihama/>

新居浜市は、愛媛県の東部に位置し、四国山脈を南に仰ぎ、北は瀬戸内海の燦灘に面した人口十三万の都市です。

元禄四年の別子銅山開坑により、工業のまちとして栄え、今では四国屈指の工業都市となっています。昭和十二年の市制施行から六十年余りになりますが、市民一人ひとりが新



池田町



萩市



山口市



平良市



熊本市



新居浜市



熊本城

しあわせ実感くまもと
熊本県熊本市

<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/>

◆主要な観光名所
マイントピア別子（端出場）（東平）
別子ライン（遠登志溪谷・清滝）
広瀬公園（広瀬歴史記念館・旧広瀬邸）
マリナーパーク新居浜（人工海浜、マリナー他）
愛媛県総合科学博物館
別子銅山記念館
滝の宮公園（トリムコース・小動物園他）
長野山市民の森（キャンプ場他）
黒島海浜公園（展望台・キャンプ場他）
池田公園（昌蒲園他）

居浜に住んで良かったと心から感じ、誇りに思うことができる豊かな都市機能を合わせもったまちです。

熊本市は九州の中央に位置し、広大な熊本平野に開けた人口六十五万人を擁する九州第三位、全国で十四番目の都市です。
市内は、夏目漱石が「森の都」と名付けたように豊かな緑と、生活用水の全てをまかなうほどに豊富な地下水に恵まれ、さらに熊本城に象徴される歴史性と近代都市としての多彩な文化性を有しています。

◆主要な観光名所

熊本城（日本三名城の一つに数えられる熊本城。名将、加藤清正が七年の歳月をかけて築いた熊本城の象徴ともいえるべき豪壮堅固なお城）
水前寺成趣園（約三百年前、細川忠利から三代をかけて造られた桃山式回遊庭園。園内に湧き出る清水を利用し、東海道五十三次を模して造られたといわれる）
フードバル熊本（おいしいを作る人と食べる人が楽しく触れあう食文化発信基地）

きらきら平良 まていだのまち
沖縄県平良市

宮古群島は、東京から二〇〇〇km、沖縄本島から南西に三二六kmの位置にあります。島全体が、おおむね平坦で、透き通る青い海と純白の砂浜、海岸線など美しい自然に恵まれた亜熱帯の島です。

平良市は、宮古群島の主島・宮古島の北西部と池間島、大神島からなり、面積は六四・五九km²・人口三万五千人のまちです。港湾・空港施設や商店街が集中するなど、宮古のあらゆる分野で表玄関として機能しており、政治・経済・文化の中心として栄えています。

また、スポーツアイランド構想の一環として、全日本トライアスロン宮古島大会やプロ野球オリックス球団のキャンプ地として島お

こしを進めています。最近では、健康をテーマにした健康ふれあいランドをめざしています。

◆主要な観光名所

砂山ビーチ（きめ細かい真っ白い砂の砂丘や自然の造形美がきらめくビーチ）
池間大橋（両サイドに広がる七色のエメラルドグリーン）
平良市熱帯植物園（熱帯・亜熱帯の植物が千六百種・四万本植えられ、あざやかな草花が年中咲き誇っている）
西平安崎（にしへんなさき）（岬には、自然エネルギーの実証研究施設・風力発電の風車が五基建ち並び、公園と合わせ雄大な景観を見せる）
八重干瀬（やえびし）（約二五kmの面積に大小百以上の巨大干瀬群が散在し、大潮の時には海上に浮上して陸のようになることから「幻の大陸」と呼ばれ、民俗学者・柳田国男の「海上の道」の主要舞台としても知られる）



砂山ビーチ



内田巖 (うちだ・いわお)

明治四二〜昭和二八年。洋画家。東京牛込生まれ。内田倉庵長男。東京美術学校で藤島武二に師事。昭和五年渡仏、八年に帰国。光風会を経て一年新制作派協会創立に参加。二年日本美術会結成、初代書記長をつとめる。(写真提供：内田秀満子さん)



牛島憲之 (うしじま・のりゆき)

明治三三〜平成九年。洋画家。熊本生まれ。東京美術学校卒。東光会・主戦美術協会・創元会を経て昭和二四年須田寿等七名と立軌会創立。四〇年東京芸術大学教授(一四三年)、名誉教授。五〇年勲三等瑞宝章、五六年日本芸術院会員、五七年文化功労者、五八年文化勲章受章。(写真提供：牛島葉子さん)

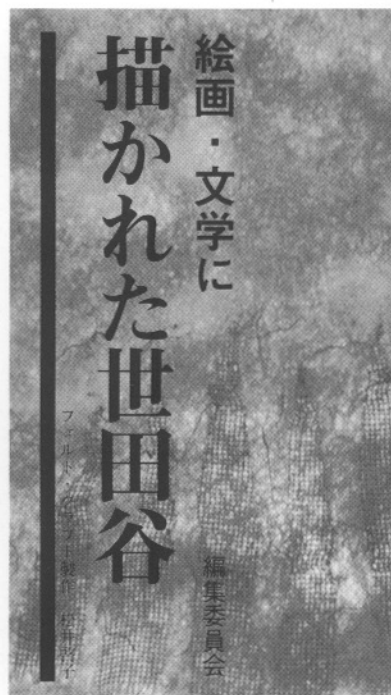


須田寿 (すだ・ひさし)

明治三九。洋画家。東京日本橋生まれ。東京美術学校卒。四九年創元会脱会、牛島憲之等と立軌会創立。六二年武蔵野美術大学教授(一五三年)。五九年芸術選奨文部大臣賞、勲四等瑞宝章受章。(写真提供：須田寿さん、撮影：秋山庄太郎さん)

世田谷美術館
世田谷区砧公園1-2
☎03-3415-6011

H・ルソー等素朴派や区ゆかりの画家の作品約三七〇点を収蔵。
開館/10時〜18時(土曜は20時、入館は閉館30分前まで)
休館/第2・4月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
料金/一般200円、65歳以上160円、大高生150円、中小生100円(企画展は別途設定)



絵画・文学に

描かれた世田谷

編集委員会

世田谷の風土

世田谷は関東ローム層という地質から水田耕作には不向きなので畑作を主な生業とし、江戸期から江戸府中に野菜を供給する近郊農村であった。雑木林もいたるところに広がり、畑作以外の産業は多摩川の漁業という程度。これが世田谷の景観だった。

明治以降、首都東京の発展で都市部の人口が郊外に流出、それに伴い鉄道が敷設され沿線の宅地化が進む。世田谷もそんな郊外の農村地帯だったが、首都との適度な距離があったため「田園都市」へと変貌をもちたのだ。

芸術家たちの世田谷移転

廉価な土地とよい生活環境を求めて移動した人々の中に、若き日の芸術家や文学者もいた。世田谷に移った初期の例は徳富蘆花。蘆花は明治四十年トルストイの勧めで、千歳村粕谷で田園生活を始める。粕谷を絶賛して「世界を一周をして見て、日本程好い処はありません。日本では粕谷程好い処はありません」と記している(二み、ずのたはこと)。

「白と黒の会」メンバーが描いた世田谷

絵画の分野で、田園都市・世田谷の発展と軌跡を同じくしたのが「白と黒の会」。小田急線との縁は深い。その小田急開通は昭和二年、田園都市の草創期である。東京行進曲流行の影響でもなかつたが、美術学校同級や同じ団体に属する縁で誘いあい沿線に居を定めた。そして交流拠点が経堂周辺。

中心は経堂在住の内田巖(昭和七年転居)と梅丘の本郷新(十年)、宮坂の須田寿(六年)。八年には弦巻に向井潤吉も移って来る(現向井潤吉アトリエ館)。十六年に代田に越して来た牛島憲之も須田に誘われて加わり、戦前までに主要な顔触れが揃う。

経堂周辺

内田 巖「経堂風景」
内田が描いた「経堂風景」は、昭和十五年の経堂あたりの様子。ご遺族の記憶では、線路の北側、宮坂二丁目の成勝寺の森らしい。周辺一帯は住宅地化され、この作品に描かれる田園風景はどこにも見当たらず様変わりが著しい。



内田巖「経堂風景」昭和十年、油彩、キャンバス、青野季吉旧蔵(写真提供：世田谷美術館)



牛島憲之「風景・弦巻」昭和二十年、紙、鉛筆・単彩、個人蔵(写真提供：世田谷美術館)

「白と黒の会」は昭和十六年に発足。美術家同士の交流が広がってきたので、親睦のため一堂に集まる機会をと、内田・本郷の発案らしい。デッサンの基本の白と黒から名称は「白と黒の会」に決まる。何となく集まって飲んで食べるだけで、その財源は得意の絵。白い紙に墨で描くとカットが金に変わった。会則もないとはいっても単なる親睦ではない。芸術家同志、ライバルとして切磋琢磨しあうことを楽しんでいたのである。

弦巻周辺

牛島憲之「風景・弦巻」
この作品は昭和二十年、戦後創作を再開した年の弦巻のスケッチ(鉛筆・単彩画)。赤土の畦道と野菜畑だろう、風が吹けば土埃が舞う当時を彷彿とさせ、戦後もこんな景色がしばらく続いていた。戦争での中断を経て、戦後世田



須田寿「世田谷八幡宮」昭和二十六年、世田谷八幡宮蔵(写真提供：世田谷美術館)

坂口安吾（さかぐち・あんご）

明治三九〇昭和三〇年。小説家。新潟市生まれ。本名柄五。昭和五年「風博士」「黒谷村」で文壇にデビューする。昭和二年「墮落論」「白痴」で一躍流行作家に。小説、エッセイの他歴史小説や推理小説等でも活躍。

北杜夫（きた・もりお）

昭和二〇。小説家。東京生まれ。本名斎藤宗吉。歌人・精神科医茂吉の次男。父の意向で医師の道に進むが、茂吉の歌やトーマス・マンに触発され文学へ。三五年「夜と霧の隅で」で芥川賞受賞。代表作「榎家の人びと」は明治昭和の斎藤家三代の物語。

石坂洋次郎（いしざかようじろう）

明治三三〇昭和六一年。小説家。青森県生まれ。昭和十一年教師体験を綴った「若い人」で三田文学賞受賞。二二年朝日新聞に連載の「青い山脈」で流行作家に、以降「百万人の作家」と呼ばれベストセラーを次々に出版。四一年菊池寛賞受賞。

世田谷文学館

世田谷南島山1-10-10
03-5374-9111

明治以降区内に住んだ文学者の著作や原稿、書簡、写真、遺品等を収蔵。開館10時〜18時（入館は17時30分まで）

休館/毎週月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始

料金/一般200円、大高生150円、中小生100円、65歳以上・障害者100円（特別展は別途設定）

※この頁の写真は世田谷文学館提供

宮坂・世田谷八幡神社

須田寿「世田谷八幡宮」

須田のこの作品は、美術好きの八幡宮司の好意で八幡宮を会場に会が再興された、昭和二十六年の作。深い木々に囲まれたお宮も拝殿や参道入口の大鳥居が新しくなったが、この絵に描かれる面影は今も残っている。八幡宮には戦後創作を再開したメンバーの色紙や寄せ書きが大切に保存されている。

文学作品に描かれた世田谷の情景

文学作品に目を転じてみる。画家同様多くの文学者も世田谷を描いた。前述の蘆花は武蔵野の自然を、若山牧水は多摩川の自然を。豊かな自然に恵まれた世田谷、それぞれ移り住んだ地域で「白と黒の会」のように仲間が集まり、互いに刺激を与え合い交流を深め、創作意欲を駆り立てていたのは文学者も同じだ。彼らが目にした世田谷、文学に表現された田園の情景を次に見てみよう。

彼らが切磋琢磨、脱皮・成長を模索した時代、世田谷も同じように田園都市への変貌をとげつつあったことが、作品に描かれた情景から読み取れないだろうか。

下北沢・代沢周辺

坂口安吾「風と光と二十の私と」

「私が代用教員をしたところは、世田ヶ谷の下北沢というところで、その頃は荏原郡と云



昭和23年、日本書林

い、まったくの武蔵野で、私が教員をやめてから、小田急ができて、ひらけたので、そのころは竹藪だらけであった。本校は世田ヶ谷の町役場の隣にあるが、私のはその分校で、教室が三つしかない。学校の前にアワシマサマというお灸だかの有名な寺があり、学校の横に学用品やパンやアメタマを売る店が一軒ある外は四方はただ広茫かきりもない田園で、もとよりその頃はバスもない。（中略）その頃は学校の近所には農家すらなく、まったくただひろびろとした武蔵野で、一方に丘がちらり、丘は竹藪と麦畑で、原始林もあった。この原始林をマモリヤマ公園などと称していたが、公園どころか、ただの原始林で、私はここへよく子供をつれて行って遊ばせた。」

小田急開通以前の下北沢・代沢が舞台。下北沢駅東口の商店街を右に下って、北沢川緑道にいたるあたりの景観。アワシマサマは森蔵寺といい、江戸時代からお灸で知られていたお寺。坂口安吾が下北沢分教場（現代沢小）で代用教員をしていた大正十四年、数えて二十の青年時代の回想である。

梅丘・豪徳寺周辺

北杜夫「榎家の人びと」



昭和39年、新潮社

「……当初菅野康三郎が危惧したごとく麦島ばかりであった世田谷松原の土地が、見る間に発展の機運を持ち、事実発展しだしたことである。三軒茶屋から玉川電車の新線が伸び、近所に山下という駅ができた。追いかけて小田原急行電鉄が開通し、梅ヶ丘、豪徳寺というもよりの駅ができた。新病院はこの二本の郊外電車の交又する近くに存在するのである。駅の附近にはたちまち人家が殖えだし……などと案じていた人々は、今さらながら基一郎の先見の明、その卓抜な直感力の冴えに驚嘆の念を覚えるのだった。」

「榎家の人びと」は精神科病院を経営した斎藤家三代の物語。引用は青山にあった病院が大正十二年暮れに消失し、昭和元年松原に移転、茂吉を院長に開業するところを描いた部分である。舞台の青山脳病科病院本院は戦災で焼け、今は都立梅ヶ丘病院に変わった。北杜夫には、区内の梅の名所として「梅まつり」が行われる区立羽根木公園を描いた「根津山」という小篇（母の影）所収もある。

駒沢オリンピック公園

石坂洋次郎「陽のあたる坂道」



昭和32年、講談社

「そこは、左手が赤土のひろい空地になっており、空地のまん中へんに、野球場の夜間照明用の鉄塔が、五、六基そり立っていた。」

「駒沢のグラウンドですか？」
「そうですよ。シーズンのは、野球も見にくるし、いまごろはよく散歩に来るんですよ……」（中略）

ふり向くと、空地の向うにひろがった街の見はらしの中に、国立病院の棟を並べた建物や、都立大学の高層建築などが目立っていた。」

石坂洋次郎は昭和十五年、石川達三とともに奥沢に越して来た。昭和三十三年、後に石原裕次郎主演で映画化された「陽のあたる坂道」はこの地で書かれた作品である。ここに描かれる野球場は、当時の東映フライヤーズのフランチヤイズであった駒沢球場。東京オリンピック会場になる以前の姿で、現在の駒沢公園である。国立病院は国立病院東京医療センターとして現存、都立大学は移転をして、今はこの地でない。

（文中敬称略）

子どもたちに伝える“心”

世田谷区民まつり企画委員長

三田 達三

歴史と回顧

昭和53年(1978)

8月5日(土)午後2時～9時

8月6日(日)午前10時～午後9時

天気/晴

来場者数/15万人

所管/総務課文化事業担当

△区の動き▽

第1回梅まつり

第1回世田谷美術展

第1回憲法記念行事

△社会の動き▽

伊豆大島近海地震

新東京国際空港開港

宮城県沖地震

日中平和友好条約調印

税制調査会、一般消費税試案答申



第1回のステージの様子

世田谷に“ふるさと”を感じてもらおう、“ふれあい”の場をもってもらいたい、という思いで始まった「区民まつり」も二十年の歳月を重ねました。イベントの素人が、どうしたらふるさとを感じ、ふれあいを体験してもらえるか、試行錯誤を繰り返した二十年でした。

「みつけよう心のふるさと ひろげよう心のふれあい」——今の区民まつりを的確に表現する言葉は他にありません。区内の出店や参加団体のイベントはもとより、日本各地の市・町・村が、固有の伝統芸能や特産物のお国自慢を私たちの前に披露くださいます。

懐かしいふるさとに直面された人たちが、それ以上に世田谷で生まれた子供たちが、地元や日本各地の文化とふれあえることが、忘れ



並木通りの家族

●区のおしらせから——

キャッチフレーズは「サマー世田谷78」。両日の催しは以下の十七。親子向きのイベントが多い。

郷土芸能、鼓笛隊、吹奏楽、八丈太鼓、民謡・民舞、盆おどり、竹馬コーナー、ミニSL汽車ポッポ、馬に親しむ広場、子ども映画会、子ども花火大会、縁台将棋囲碁・オセロ、子ども古典玩具コーナー、カメラ相談コーナー、全国まつり絵画コーナー、子どもマンガ本コーナー、ボランティアコーナー(商店街出店、植木市、官公署コーナーなども初回から出店)

八丈島の榎立踊り保存会による太鼓と踊りの披露は、自治体交流の嚆矢。子どもが馬とふれあう催しは、馬事公苑の協力で今でも続



こどもマンガ本コーナー

いている。このほか所管の異なるイベントも合流していた。「親子施設めぐりと区長との対話(ふるさと区民まつり参加バス見学会)」は区施設等見学の後、馬事公苑で区長と対話。(第三回)世田谷くらしの広場」は家具類無料頒布市、果物即売市、なべ・かま・刃物等の修理再生市。PRへの苦心が偲ばれる。

られない世田谷の記憶になるような気がします。

おまつりが始まった年に生まれた子どもたちが、今年成人式を迎えました。彼らが口を揃えて言う、住み続けたいまち・ふるさと世田谷。願わくばその新成人の子どもたちが、彼ら親以上に世田谷を、そして区民まつりを思い出しにもらえるとうれしい限りです。

区民まつりはまだ二十年の歴史しかありませんが、今後も成長し続けて伝統行事に育つまで、この経験を活かして発展を見届けろ、という使命を与えられたような気がしています。三十年、五十年、百年……末永く“心”が引き継がれ、世田谷の伝統文化として区民まつりが発展することを願わずにいられません。“区民まつりは永遠に不滅です”。

昭和54年(1979)

8月4日(土)午後3時～9時
8月5日(日)午前10時～午後9時
天気/晴
来場者/19万人
主催/世田谷区民まつり実行委員会
後援/世田谷区
所管/文化事業課

△区の動き▽

第1回世田谷区民コンサート
区議会・区長選挙実施(大場啓二区長二選)
国際児童年記念羽根木公園プレーパーク開設

△社会の動き▽

米中国交回復
初の共通一次試験実施
イラン革命
東京サミット開催
ソ連アフガニスタン武力介入

昭和55年(1980)

8月2日(土)午後1時～9時
8月3日(日)午前10時～午後9時
天気/両日雨
来場者/8万人
主催/世田谷区民まつり実行委員会
後援/世田谷区
所管/文化事業課

△区の動き▽

次大夫堀公園に清流復活
助シルバー人材センター高齢者事業団発足
都市美委員会発足
岡本公園民家園開設

△社会の動き▽

韓国光州事件発生
初の衆参ダブル選挙
モスクワ・オリンピック日本不参加
ポーランドに連体誕生
イラン・イラク戦争勃発



ステージから挨拶する大場区長



オープニングセレモニー

●区のおしらせから――

「みつげよう心のふるさと ひろげよう心のふれあい」の統一テーマが登場。
子ども動物教室や調理師が腕を振るった氷の彫刻コンクール、阿波おどり、ちびっこのど自慢、サマー寄席(三遊亭生之助・桂米丸)、はしご乗り(江戸消防記念会)、区内郷土芸能保存会によるおはやし、ふるさと新聞コーナーなどが新登場。ふるさと新聞コーナーは全国の新聞を希望者に頒布し、好評だった。この回以後日曜のメイン・イベントとなるおみこし大行進も初お目見え、おまつりらしい盛り上がりが出てきた。
また沖縄と八丈島の物産を即売する観光物産展も始まった。また親子バス見学会も前回に続いて併催されている。

●区のおしらせから――

三回目を迎え、子供たちの夏休みの行事予定に入れてもらえるようになったのか、問い合わせが増えた、と「接点」で区長は記している。

腕相撲大会やのど自慢大会に毒蝮三太夫と立川談ブが司会として初めて登場。他に子どもみこし、ふるさとに無料電話がかけられるふるさと電話、移動児童館などの催しがあり、人気のウルトラマンも駆けつけ、子どもたちに好評を博した。またおまつりの盛り上げ役に、前記司会の二人の他に落語家の立川談四楼、金魚家錦魚なども出演した。芸能人の出演のハシリである。観光物産展に友好都市カナダ・ウイニペグ市も初参加。

土曜には当時のラジオの人気番組「久米宏



パレードで手を振る大場区長



おみこしで指揮をとる子ども



子どもゲートボール

の土曜ワイドラジオTOKYO」の954号車も取材に訪れ、全国的なPRに役買った。

昭和56年(1981)

8月1日(土) 正午～午後9時
8月2日(日) 午前10時～午後9時
天気/晴

来場者/23万人
主催/世田谷区民まつり実行委員会
後援/世田谷区
所管/文化事業課

△区の動き▽

特例市構想答申(特別区制調査会)
世田谷市民大学開講
群馬県川場村と相互協力協定締結(区民健康村)

△社会の動き▽

ヨハネ・パウロ二世来日
神戸ポートアイランド博開催
国鉄経営再建促進特別措置法施行例公布
福井謙一、ノーベル化学賞受賞
米ソINF制限交渉開始

昭和57年(1982)

7月31日(土) 正午～午後9時
8月1日(日) 午前10時～午後9時
天気/台風

来場者/9万6千人
主催/世田谷区民まつり実行委員会
後援/世田谷区
所管/文化事業課

△区の動き▽

第1回区民文芸集発行
ミニSL運行開始(世田谷公園)
区制五十周年記念行事開催

△社会の動き▽

米ソ戦略兵器削減交渉開始
教科書検定による歴史記述に中国抗議
公職選挙法改正公布
上越新幹線開通

5回



大勢の観客で大盛況の野外コンサート

4回



メインステージでののど自慢大会

●区のおしらせから――

総合司会は前回出演の毒蝮三太夫の他に米富規存。

この回から、初日夕方のプログラムに野外コンサートの催しが始まり、はしだのりひこ&ヒロバタマス他の出演。また区の歌「緑と風と翼」(川口いせ子作詞、小林亜星作曲・応援歌「がんばれ元氣な世田谷っ子」(西巻政彦作詞、山本直純作曲)の発表会もあり、チェリッシュなどが出演、歌の発表と歌唱指導の後、抽選でレコードがプレゼントされた。またチビッ子相撲大会も始まった。マンガ本コーナーは、当時の子どもたちの人気を反映して、前回のドラえもん特集に続いて藤子不二雄特集だったが、この催しは今回で終了する。

●区のおしらせから――

五回は、台風の中、おまつりが馬事公苑の外に広がりを見せた回。

まず、豪華なクラシックカーが勢揃いし、下北沢から茶沢通り・世田谷通りをパレードした後に並木通りに展示され注目を集めた。続いておみこしが上町の桜小学校から公苑まで、世田谷通りを大行進し、区民まつりをPRする予定だったが、台風で中止になった。初日夕方の前回から始まった野外コンサート出演者は、当時人気の葛城ユキとソルティードッグ、浅野ゆう子の二組。

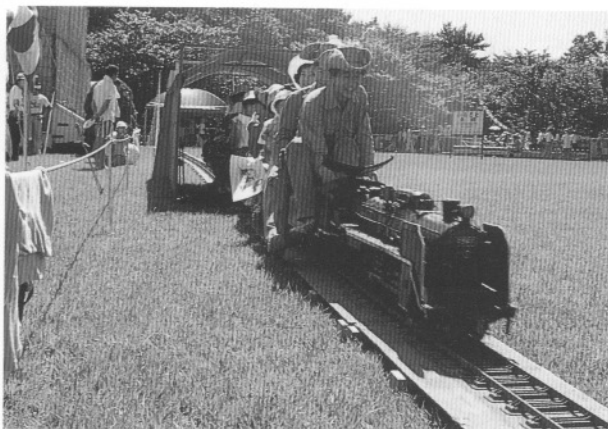
観光物産展には群馬県川場村と愛媛県小豆島の池田町が初登場。物産展はこのころは中央通りで、出店や草花・植木市などと軒を並べていた。



舞台上歌う浅野ゆう子



並木通りに入場するクラシックカー



本物そっくりの汽車に子どもたちを乗せて走るミニSL汽車ポッポ

昭和58年(1983)

8月6日(土) 正午～午後9時

8月7日(日) 午前10時～午後9時

天気/晴

来場者/21万人

主催/世田谷区民まつり実行委員会

後援/世田谷区

所管/文化課

△区の動き▽

みどりとみずの基本構想策定

次大夫堀公園一部開設、野川緑道完成

区長・区議会議員選挙

茶室「日月庵」開設(羽根木公園)

区保養所(来宮荘)開設

△社会の動き▽

日本初の実用通信衛星打ち上げ

日本海中部地震

比例代表制を導入した初の参議院選挙

ソ連大韓航空機墜落

三宅島大噴火

昭和59年(1984)

8月4日(土) 正午～午後9時

8月5日(日) 午前10時～午後9時

天気/晴

来場者/24万5千人

主催/世田谷区民まつり実行委員会

後援/世田谷区

所管/地域振興課

△区の動き▽

福祉ショップ常設店「りんりん」開設

都市美シンポジウム「区民でつくる魅力あるまち世田谷」開催

二子玉川区民サービスコーナー開設

△社会の動き▽

アフリカ各国で飢饉状態深刻に

ソ連、ロサンゼルス・オリンピックをボイコット

新一万円札、五千円札、千円札発行

電電公社民営化

6回



加瀬邦彦とザ・ワイルドワンズのコンサート

●区のおしらせから――

今まで土曜日の夕方に組まれていた野外コンサートが、この回から土・日の開催に。土曜の出演は加瀬邦彦とザ・ワイルドワンズ、コロケ、渡辺めぐみ。日曜がザ・なかぞの。クラシックカーパレードは世田谷公園をスタート、玉川通り・旧玉川通りを通って馬事公苑並木通りに。

当時テレビで人気のあった「マクロス」が超時空要塞マクロスショーに出演、子どもたちと楽しく遊んだ。他にバナナのたたき売りやガムの油売りの口上などの大道芸も催しに加わる。草花・植木市に江戸風鈴が加わり、涼しげな音色で清涼感を漂わせた。カラオケの流行に合わせてカラオケ大会も登場する。観光物産展は芝馬場に場所を移している。

7回



パレードのあと芝馬場に勢揃いして開会式

●区のおしらせから――

この年から企画委員会が発足。

土曜のオープニングイベントは、区民まつり参加団体や音楽隊によるパレード。今日の構成にだんだん近づいてきた。人気のクラシックカーパレードは玉川高島屋から玉川通

り・用賀中町通りのコース。クラシックカーによるパレードは今回が最後になる。

子ども向けイベントは「わんぱく広場」が設けられ、移動児童館、移動動物園など恒例の催しの他に子ども映画館が復活。

観光物産展には長野県松本市が新たに参加、



馬事公苑正門前でテープカット

少しずつ賑やかになってきた。今では並木ステージで人気の、チャリティーオークションもこの回から。他にデイスコタイムも初登場。また、会場の一角には「せたがや百景」の候補地の写真が展示され、区民も百景選びの投票に参加した。



盆おどりのやぐらの上から挨拶をするカナダからのお客様

昭和60年(1985)

8月2日(金)前夜祭午後4時30分～8時30分

8月3日(土)午前11時～午後9時

8月4日(日)午前10時～午後9時

天気/晴

来場者/29万人

主催/世田谷区民まつり実行委員会

後援/世田谷区

所管/地域振興課・社会教育課(前夜祭)

△区の動き▽

国際青年年(YY)フェスティバル開催

ウィーン市ドゥプリング区と姉妹都市提携

第1回三茶フェスティバル開催

世田谷文化会議発足

平和都市宣言

テレビ広報「風は世田谷」放映開始

△社会の動き▽

国際科学技術博覧会開催

日本電信電話株、日本たばこ産業株発足

日航ジャンボ機、群馬県御巣鷹山に墜落

昭和61年(1986)

8月1日(金)前夜祭午後3時～

8月2日(土)午前11時～午後9時

8月3日(日)午前10時～午後9時

天気/晴

来場者/40万7千人

主催/世田谷区民まつり実行委員会

後援/世田谷区

所管/地域振興課・文化課(前夜祭)

△区の動き▽

制度改革23区共同大会

世田谷美術館開設

区民健康村開設

文化情報誌「ゆとり路」発行

「平和の祈りの像」世田谷公園に建立

△社会の動き▽

スペースシャトル爆発事故

男女雇用機会均等法施行

東京サミット開催

東北自動車道全線開通

伊豆大島・三原山噴火

9回



やぐらを中心に広がる盆おどりの輪

8回



おみこし大行進で町のおみこしが芝馬場に大集合

●区のおしらせから

八回目を迎えると、おまつりもだいぶ定着してきたと見え、ロゴマークが制定され、そのポスターも作られた。

そして、もつと区民に愛されるようにと、前夜祭も始まった。区民会館ホールを会場に、映画、吹奏楽、民謡・民舞、吟詠剣詩舞、落語が催され、以後前夜祭は馬事公苑で金曜日に開催されるようになる。

おまつり開始をPRするカーパレードは、烏山区民センターから千歳通り・城山通りを経て、公苑のオープニングパレードに合流。新イベントとして、氷の彫刻コンクール審査員の富永一朗さんのマンガコーナー、フォークダンスが始まり、緑日コーナーという名称も初お目見え。

●区のおしらせから

二回目の前夜祭は馬事公苑芝馬場に会場を移し、東京コンソートフィルハーモニック管弦楽団の演奏、ママさんコーラス、アマチュアバンドコンテスト予選。

カーパレードは下北沢からのスタートで、五回目と同じコースで馬事公苑に。

この年には、愛媛県新居浜市から「新居浜太鼓台」三基が担ぎ手とともに参加、勇壮な渡御を披露して区民を驚かせたことは、いまでも語り種になっている。他にはミズドリルチーム・ショーやジャンボ迷路、熱気球が初登場。各地の自治体が出展する観光物産展もこの年からふるさと物産展と名称が変わり、新たに栃木県烏山町、奈良市がふれあいの輪に加わります充実してきた。



わんぱく広場で元気に遊ぶ子どもたち



バナナの叩き売り



鏡割り

おみこし大行進がこの回からおみこし連合行進に名称変更される。

昭和62年(1987)

7月31日(金)午後3時

8月1日(土)正午午後9時

8月2日(日)午前10時午後9時

天気/雨後曇

来場者/18万7千人

主催/世田谷区民まつり実行委員会

後援/世田谷区

所管/地域振興課・文化課(前夜祭)

△区の動き▽

世田谷区総合文化祭開催

グリーン世田谷名木百選選定

区長・区議会議員選挙

馬事公苑前「けやき広場」手づくり郷土賞授賞

区制五十五周年記念式典(名誉区民四名)

△社会の動き▽

国鉄分割・民営化

新行革審発足

利根川進、ノーベル医学生理学賞受賞

ニューヨーク株式市場で株価大暴落

昭和63年(1988)

8月5日(金)前夜祭午後2時午後9時

8月6日(土)午前10時午後9時

8月7日(日)午前10時午後9時

天気/晴

来場者/31万9千人

主催/世田谷区民まつり実行委員会

後援/世田谷区

所管/地域振興課・文化課(前夜祭)

△区の動き▽

兵庫島河川公園開設

教育センター・中央図書館開設

せたがやふれあい公社設立

次大夫堀公園民家園開園

△社会の動き▽

青函トンネル開通

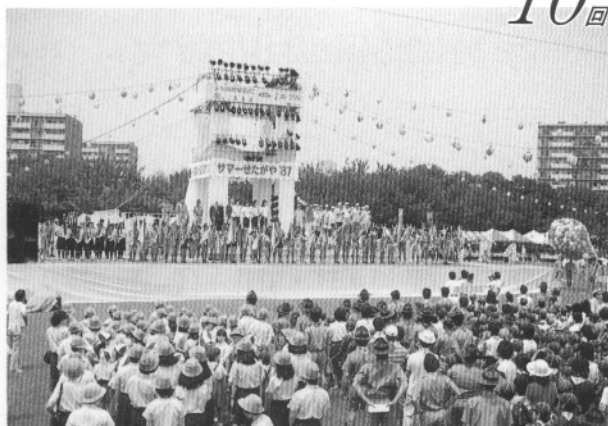
東京ドーム完成

マル優制度廃止

瀬戸大橋開通

ソウル・オリンピック開催

10回



代官屋敷からパレードののち、メインステージ前に大集合して開会式

●区のおしらせから――

この回から正門入口近くにミニステージが設けられ、バザー、オークション、富永一朗マンガコーナーなどが行われた。カーパレードは世田谷公園からスタート、ボロ市通りの代官屋敷でオーブニングパレードに合流。オーブニングセレモニーの後、パレード出場団体によるバンド演奏が行われた。なおカーパレードは今回が最後になる。

土曜日のトリ、レーザーと電子音楽のショー「音と光のファンタジー」で真夏の夜空が幻想的に彩られる。並木通りに姉妹都市PRコーナーもできる。他にレーシングカーの展示が来場者の注目を引いた。

このころ、出店の増えてきたふるさと物産展は中央通りと並木通りに分かれていた。

●区のおしらせから――

馬事公苑が「日本中央競馬会馬事公苑」から「JRA馬事公苑」に名称変更。

土曜の午前中の芝馬場では、東京ガスタームがサッカー少年を指導する「サッカーフェスティバル」が好評、以後十五回まで続く。土曜日の並木通りの氷の彫刻コンクールは今回から姿を消す。サンバのグループ登場ラテンの熱気溢れるカーニバルの再現はこの回から。日曜には以後常連となるハワイアンも初登場する。中央通りではリサイクルフェアが、ひょうたん池では区の花・さぎ草展と講習会も行われている。

栃木県烏山町からは、四百年の伝統を誇る仕掛け舞台の野外劇、重要無形民俗文化財「山あげ祭」が披露された。

11回



前夜祭でのステージ・コンサート



本場の熱気、ラテンとサンバ



世田谷と宮古島のミスの交歓



ボロ市通りを進むパレード

平成1年(1989)

8月4日(金)前夜祭午後3時～9時
8月5日(土)午前10時～午後9時
8月6日(日)午前10時～午後9時
天気/雨後台風
来場者/15万5千人

主催/世田谷区民まつり実行委員会
後援/世田谷区・世田谷区教育委員会・JR
A馬事公苑
所管/地域振興課・文化課(前夜祭)

〈区の動き〉

情報公開条例制度開始
総合福祉センターオープン
助せたがやトラスト協会発足
英語版広報紙発行

〈社会の動き〉

昭和天皇崩御、元号は平成へ
行政機関第二・四土曜の土曜閉庁制度開始
消費税スタート
中国、天安門事件
東独、ベルリンの壁撤廃発表

平成2年(1990)

8月3日(金)前夜祭午後2時～9時
8月4日(土)午前10時～午後9時
8月5日(日)午前10時～午後9時
天気/晴
来場者/31万人

主催/世田谷区民まつり実行委員会
後援/世田谷区・世田谷区教育委員会・JR
A馬事公苑
所管/地域振興課・文化課(前夜祭)

〈区の動き〉

特別区制度改革実現世田谷大会平和都市宣言五周年記念事業(平和の灯を世田谷公園に設置)

〈社会の動き〉

大阪国際花と緑の博覧会開幕
イラク軍クウェート侵攻
東西ドイツ統一条約調印
議会開設百年記念式典
日本人初の宇宙飛行



メインステージでのビート・オブ・マインド・コンサート



子どもたちも参加して、並木通りでのオープニング・セレモニー

●区のおしらせから

この年から後援団体に世田谷区教育委員会とJRA馬事公苑が加わる。

ふれ太鼓の響きが前夜祭の開始を伝え、夜空のファミリーコンサートにはモスクワ少年少女合唱団が世田谷の児童合唱団と共演。続いて茨城県伊奈町小張に伝わるからくり人形芝居が、仕掛花火を照明に演じられた。

土曜午前中の少年サッカーフェスティバルは、今年も大盛況。公苑正門にはおはやし舞台が設けられ、区内五団体による「伝説400年せたがやばやし」が両日にわたって演じられた。日曜日はステージと芝馬場で、山形県の有名な花笠音頭と踊りの輪が広がった。おまつりの熱気を象徴するおみこし連合行進も回を追うごとに華やかになっている。

●区のおしらせから

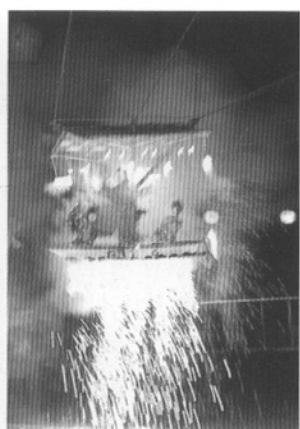
大好評の少年サッカーフェスティバルは日曜午前中に時間変更、今まで以上にサッカー少年が押しかけ、熱心に指導を受けた。土曜の午前中、開会式前のアマチュアバンドのコンテストに続いて、馬事公苑ならではの催し・人間オーケストラ・ダービーは、一周千百メートルのダート馬場のかけっこ。ほかにはエアロビクス・オン・ステージ、ビート・オブ・マインド、ザ・ファンタジーなど。日曜は十字に結んだ綱を引き合う四角綱引き大会、広石恵子コンサート、ソシアルダンス、ミュージック・ベル・ショーなど。そしてサンバカーニバルにも人気が集まった。ふるさと物産展の参加も二十を超え、会場も並木通りに配置された。



おまつりの雲間気を盛りあげる公苑正門のイルミネーション



少年サッカーフェスティバル



茨城県伊奈・小張松下流綱火

平成3年(1991)

8月2日(金) 前夜祭午後2時〜9時
8月3日(土) 午前10時〜午後9時
8月4日(日) 午前10時〜午後9時
天気/晴

来場者/33万5千人

主催/世田谷区民まつり実行委員会
後援/世田谷区・世田谷区教育委員会・JR
A馬事公苑
所管/地域振興青少年課・文化課(前夜祭)

△区の動き▽

地域行政制度スタート(五つの総合支所)
区長・区議会議員選挙
男女共同社会をめざすアピール
第1回小学生海外派遣

△社会の動き▽

ベルシヤ湾岸戦争勃発
ソ連邦消滅
バブル崩壊
皇太子・立太子の礼
新都庁新宿でオープン

平成4年(1992)

7月31日(金) 前夜祭午後2時〜9時
8月1日(土) 午前10時〜午後9時
8月2日(日) 午前10時〜午後9時
天気/晴一時雨

来場者/32万5千人

主催/世田谷区民まつり実行委員会
後援/世田谷区・世田谷区教育委員会・JR
A馬事公苑
所管/地域振興青少年課

△区の動き▽

区制六十周年
完全土曜開庁の実施
オーストラリア・バンバリー市と姉妹都市
提携
学校週五日制実施

△社会の動き▽

ヨーロッパ連合条約調印
日本医師会尊敬死容認
原因不明のエイズ発見
天皇・皇后が中国訪問



メインステージで青森・今別町の郷土芸能「荒馬」の実演



メインステージでのハワイアンショー

●区のおしらせから

今まで土曜のお昼に組まれていたオープニングパレードが、今回は十時三十分の開始に変更。オープニングセレモニーのあとは、メインステージでマーチングバンドトワリング・フェスティバル。土曜の最後はサンパ・カーニバルとデイスコタイム。並木通りのミニステージでは熊本イン世田谷(山鹿灯籠踊り他)や春風亭昇太らによる並木通りオンステージが、中央通りのミニステージではチャリティーバザー、富永一朗マンガコーナー、バザールなどが催された。

少年サッカーフェスティバルには特別コーチとしてマリニーニョ(当時日産自動車)が出場、子どもたちやサッカーファンに大好評だった。

●区のおしらせから

「サマー世田谷」から「フェスタ世田谷」に呼び名が変わる。この年は久しぶりに公苑の外におまつりが繰り広げられた。土曜の区民パレードは区内全参加団体に警視庁音楽隊・騎馬隊も加わり、オーケラランドから世田谷通りを盛大にパレード。日曜のおみこし連合行進も世田谷通りを練り歩き、おまつりの熱気を盛り上げた。おみこしの行進を迎える迎え太鼓が始まるのもこの回。交流自治体からは沖縄県平良市、長野県飯田市、埼玉県三郷市、熊本市、山形県舟方町、岩手県西根町、新潟県松代町などの伝統芸能が披露された。最終日のフィナーレが二時間枠になり、的場浩司と松村邦洋のショー。

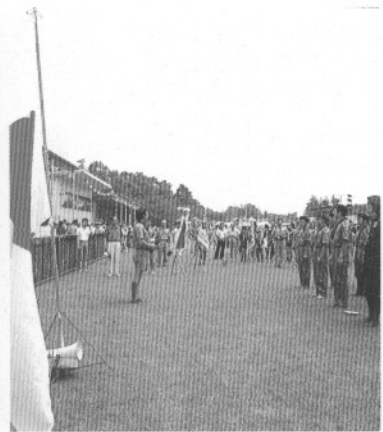
前夜祭に先立ち開催された、区制六十周年



世田谷通りから入場するおみこし連合行進



熊本・山鹿灯籠踊り



隊長の訓示を聞くボーイスカウトの少年たち

記念シンポジウム「もうひとつのふるさとまつり」地域の知恵と活力を語り合おう(区民会館集会所)には二十三自治体に参加、各地域の熱い思いが語られた。

平成5年(1993)

7月30日(金) 前夜祭午後4時〜9時
7月31日(土) 午前10時〜午後9時
8月1日(日) 午前10時〜午後9時
天気/晴

来場者/31万6千人
主催/世田谷区民まつり実行委員会
後援/世田谷区・世田谷区教育委員会・JR
A馬事公苑
所管/地域振興青少年課・文化課(前夜祭)

△区の動き▽

区立障害者施設四ヶ所にオープン
向井潤吉アトリエ館開館
まちづくり三茶フェスティバル開催
第1回「子ども議会」開催

△社会の動き▽

釧路沖地震
アメリカ大統領にクリントン就任
韓国大統領に金泳三就任
細川連立内閣誕生、自民党野党に
イスラエル・PLO暫定自治宣言調印

平成6年(1994)

8月5日(金) 前夜祭午後4時〜午後9時
8月6日(土) 午前10時〜午後9時
8月7日(日) 午前10時〜午後9時
天気/晴

来場者/28万1千人
主催/世田谷区民まつり実行委員会
後援/世田谷区・世田谷区教育委員会・JR
A馬事公苑
所管/地域振興青少年課・文化課(前夜祭)

△区の動き▽

阪神・淡路大震災発生(支援隊派遣)
世田谷区基本構想議会決議
第1回エイトライナー促進大会開催

△社会の動き▽

連立与党分裂、羽田内閣誕生
南アフリカ大統領にマンデラ議長就任
戸籍簿本に俗字使用認められる
羽田内閣総辞職、村山内閣誕生
広島アジア大会開催
北海道東方沖地震

17



パレードが芝馬場に集結して、恒例の開会宣言

16



メインステージでおみこし連合の行進を盛り上げる迎え太鼓

●区のおしらせから――

前年に続き二十一自治体の参加でシンポジウム「地域の知恵と活力を語り合おうPAR TII」を開催(区役所プライトホール)。

前夜祭では「世田谷うたの広場」の発表歌が、ジャズのビッグバンド・宮間利之とニューハードの演奏で歌われ、また島根県無形文化財の石見神楽の舞も行われた。土・日のふるさと自慢は青森県今別町(荒馬)、熊本市(くまもとin世田谷)、沖縄県平良市の伝統芸能が出演、物産展の参加は二十七自治体に。ふるさと太鼓「響演」も始まり、山崎小ほか区内三団体が出場。また久しぶりに氷の彫刻コンクールが並木通りに復活。フィナーレは加瀬邦彦とザ・ワイルドワンズショー。

この回から山口市の協力で、並木通り会場

●区のおしらせから――

三回目のシンポジウム「世田谷からみたふるさと」二十自治体の参加で開催(区役所プライトホール)。

前夜祭は勇壮な諏訪太鼓、タイムファイブ(ゲスト金子晴美)などの出演。

土曜メイン会場のふるさと太鼓「響演」は、区内三団体のほかに群馬県川場村の上州武尊太鼓が出演。パレード主催者挨拶、マーチングフェスティバルという開会の流れと、土曜のフィナーレ・盆おどりー阿波おどりーサンバの流れがこの回から確立される。また公苑事務所の前にもミニステージが設けられ、チャリティーバザーやオークションなどが催された。

日曜最後のコンサートは渡辺真知子サマー



舞台上歌う渡辺真知子



ミニステージのウルトラマン

ナイトコンサート。人気歌手の出演とあつて、会場には大勢の来場者で溢れた。



走路脇で店を広げるフリーマーケット

に山口ちゃん点灯され、以後まつりに華を添えることになる。

平成7年(1995)

8月4日(金) 前夜祭午後4時〜9時
8月5日(土) 午前10時〜午後9時
8月6日(日) 午前10時〜午後9時
天気/晴一時雨

来場者/27万8千人

主催/世田谷区民まつり実行委員会
後援/世田谷区・世田谷区教育委員会・JR
A馬事公苑

所管/地域振興青少年課・文化課(前夜祭)

△区の動き▽

区長・区議会議員選挙
世田谷文学館開設
せたがや平和資料館開設

△社会の動き▽

衆院選区割法成立、世田谷二つの選挙区に
兵庫県南部地震
地下鉄サリン事件でオウム真理教幹部逮捕
戦後五十年国会決議採択
ボスニア和平協定調印

平成8年(1996)

8月2日(金) 前夜祭午後5時〜9時
8月3日(土) 正后〜午後9時
8月4日(日) 午前11時〜午後9時
天気/晴一時雨

来場者/31万2千人

主催/世田谷区民まつり実行委員会
後援/世田谷区・世田谷区教育委員会・JR
A馬事公苑

所管/地域振興青少年課・文化課(前夜祭)

△区の動き▽

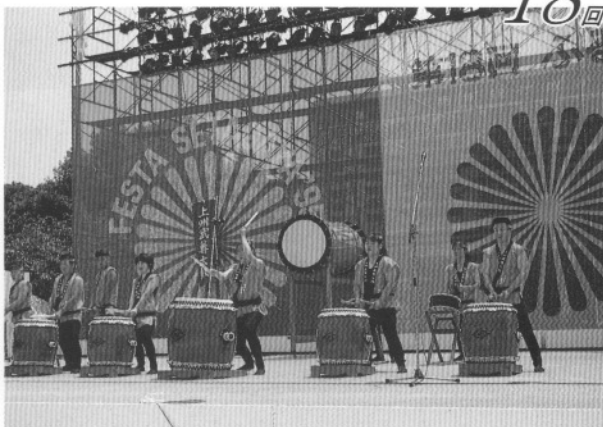
区民斎場「みどり会館」開設
世田谷区防災環境マップ作成
キャロットタワー(再開発ビル)竣工

△社会の動き▽

村山首相退陣、橋本内閣誕生
エイズ薬害で厚相謝罪
病原性大腸菌O-157感染広がる
広島原爆ドーム世界遺産に
在ベルー日本大使館左翼ゲリラに占拠



メインステージ前でくり上げられる盆おどり



ふるさと太鼓“響演”で熱演する上州武尊(ほたか)太鼓連

●区のおしらせから――

今年のメイン会場は、馬事公苑の事情で「砂馬場」に変更。

各地の美味しい物産品を味わいながら参加団体間の交流を深める目的で、「ふるさと交流会」がこの回から始まり、区役所プライトホールの会場に二十六自治体に参加。以後前夜祭の前に実施されるようになる。

土曜には玉川消防団・玉川消防署による消防イベントが行われる。ふるさと太鼓は山崎小学校と川場村の上州武尊太鼓の「響演」。日曜には、タウンページクイズやすいか割り大会・宝探しゲームもあった。

閉会セレモニの後のサマーナイトコンサートは、涼やかなハーモニのダ・カーポ出演の「青春の贈り物」で幕を閉じた。

●区のおしらせから――

会場の各エリアの名称が、馬事公苑の呼称変更に合わせて変更される。

第十九回の前夜祭は、アメリカを拠点に活躍するジャズ・トランペットの日野皓正コンサート。ふるさと物産展参加自治体は三十団体に、イベント参加も八自治体が増えた。岩手県宮古市観光クイズも始まり、正解者には宮古の特産品がプレゼントされた。他には大富くじ大会もあった。サマーナイトコンサートはブレッド&バターの出演。子どもたちよりお父さんお母さんになつかしいフォーク・グループの出演だった。

ふるさと交流会は、区役所のプライトホールが会場、各地の特産物を持ち寄り、交流が一層深まった。



第19回の閉会を宣する大場区長



前夜祭で演奏する日野皓正



中央通りに入場するおみこし連合

黒子の つぶやき

●はじめのころ

A 八月第一週の土日に馬事公苑で開催することしか決まっていなかった。おまつりなんて経験のない我々が区内関係機関や団体へ協力依頼に駆け回り、直前まででんでこ舞いした。

B 人が来るか分からないのに頭下げて出店をお願いした。仕入れて売れなかつたら補償しろって言われて困った。

A 第一回初日夜は警備で公苑に泊り込み、バーベキューをしながら蚊や蛇に悩まされて一夜を明かしたのも懐かしい。

B そう、芝馬場で公苑の職員の人たちも一緒に。皆二日酔いの顔をしていた。当時は本部用に四斗樽も置いてあり、お酒を配る担当だったから、配る前に味見なんてことできた。

●企画委員会の今昔

C 行政全般が住民主導型に転換するときに、おまつりも地域の若手の方にとお願いして企画委員会ができたんだ。

D 企画委員会ができるまでは、事務局が原案を作って、実行委員会の承認を受ける、という形でやっていた。

E 企画委員会は言いたいことの言いっ放し。あとは事務局がやっていた。路線バスしかなくて不便だから臨時バスを出せとか。

F あの当時は、企画委員会も今ほど活発じゃなかったね。

E 今は販売やイベントなど各部会で企

区民まつり最大の特徴は、始めから「手づくりのおまつり」を目指したこと。陰でおまつりを支える企画委員と事務局の「黒子」の苦勞をねぎらい思い出話しを集めてみた。

画を進め、企画委員会が承認して実行委員会に諮るようになっていた。

G だから部会の会議が増えた。四月から忙しくなり、去年は土日も出勤、家で夕食を食べるのが月に一週間もなかった。

●予算・協賛金のこと

B 第一回は予算はなしだ。計画も走りながらだから、大雑把に組んで超過したら補正でつて。今からみればおおらか。

C 私の時も前年並みに組んで、さあ今年は何をしようっていう感じ。計画の前に予算が決まる。当時は今ほどではないけど、厳しかったから協賛金を頂くようになった。

E 実行委員会は予算を持ってなかった。今を予期した訳じゃないけど、あの時は本当によくやった。

G 今は厳しい。協賛金があるからおまつりができる。輪島のキリコも最初飾りの一基だけ。県外初出演なのに一基じゃ何だか分からないから、協賛金から支出してもらい五基をお呼びできた。

E 新居浜の太鼓台も同じだ。三基呼べたから勇壮な雰囲気も伝えられた。

●おまつりの後始末とゴミ処理

C 太鼓台といえど、紙吹雪をまくでしよ。終わった直後に大雨が降り、地面や植木にベッタリついて後始末に泣いた。

H 紙吹雪は知らないけど、終わった翌日皆で磁石を引きずって歩いて後始末を

した。設営のときに画鋲や金具は使うなというけど、不思議と出てくる。

I 商店会の人と事務局の人が、ゴミを持って帰れと喧嘩したことがあったね。

G 昨年は部会で過去の悪い事例を全部出して徹底し、ゴミパトロール隊も巡回したからゴミ処理はうまくいった。

H 私のときにゴミ分別を徹底し、清掃業者が回収するようにしたけど、会場の最後の掃除は皆でやらざるを得ない。

B 一番腹立つのは側溝に油を流しちゃうこと。業者に頼めないもので、終わってから側溝に手を突っ込んで油取り除いて、四時間もかかったのはつらかった。



ゴミ処理がいつも悩みの種

●自治体交流・物産展のこと

H 交流会の最初は、確か公苑の蒸し暑い体育館でやった「仲よし交流会」だ。

E 交流会が始まって物産展に出てくたさる自治体が増えてきた。

C 太鼓台の翌々年、交流自治体の烏山が「山あげ祭り」を演じてくれて、この後自治体の伝統芸能の披露が始まった。

E 太鼓台と烏山がまつりにインパクトを与えてくれたな。

B 物産展も初めは役所の人間が出張のたびに参加をお願いしてくるから、会場に入り切らなくてお断りするのに苦労し

た。しょうがないから次はテントを小さくしたら、今度はお叱りを受けた。

D PRや交流が主目的だから続けてくださるけど、世田谷は観光も名産も予算もないから、お気持ちの幾ばくもお返しできず、いつも心苦しい。

G 二十回は三十自治体の参加で、二十一回は三十四。皆さん必ず参加しますって言ってくださるのがうれしい。

●わすれられないこと

C オープニングのスカイダイビングが評判で、次回もお願いしたら区で車二台購入の条件を出された。一台は自分で買ったがもう一台の買い手が見つからず、結局出場してもらえなかった。

J 台風の時が大変だったよね。まつりどころではなく、本部が臨時対策本部みたいになった。

K 郷土資料館からのパレードを担当、万全の準備で行進を待っていたら、横断幕がないっていう知らせ。作るのを忘れてた。関係者の皆さんごめんなさい。

B 芝馬場は使えず、O-157が猛威を振るうし、私はたぶん一番ついていなかった。

D 世田谷通りのパレードで、警視庁が「世田谷通りは区民まつりで渋滞」という交通情報を流してくれた。

H 山口ちゃんちの蠟燭が計算通りに消えず、山口の関係者がまつり終了後も完全に消えるまで見てくれていた。

G 最初のころ、雨で自治体の物産が売れ残り、役所の会議室や地下で売ったりして苦労したことがあった。

E 関係者の骨折事故以外に本当に事故のないまつりだ。このまま続いてほしい。

協賛を頂いた方々

今まで協賛を頂いた皆様を一覧にいたしました。ありがとうございます。
今後とも「ふるさと区民まつり」へのご支援をお願い申し上げます。
(原則として11回からの資料により、協賛を頂いた時点でのお名前を記載させて頂きました。失礼をお許しください)

(南)青木自動車整備工場
青木弘
(株)青山生花地方卸売市場
赤堤一丁目町会
安芸産業(株)
アキヤマビューロー(南)
秋山光男
秋山満
アサカホーム(株)
旭通信建設(株)
アサヒテックス(株)
アサヒビル(株)東京西支店
浅見運輸倉庫(株)
アジア平和婦人連合世田谷北支部
アジア平和婦人連合世田谷南支部
(株)アップタウン
(株)アドバンスクリヤマ
(株)アベコ
(株)アポロン
アメリカンボテトチップス(株)
アラライ印刷
有住亭子
(株)アルファシステム(ハウジン
グパーク経営)
淡島電気工業(株)
淡島幼稚園
飯田市(長野県)
石井秋男
(株)石勝エクステリア
泉寿司
和泉雅雄
板谷政美
一軒亭レストランけやき
伊藤建設(株)
伊藤つゝ
(株)イトーキ

伊藤塗装店
(株)井上香料製造所
(株)イメジスタジオ109
ウイジン(株)
植竹運送(南)
植松長男
宇田川豊次郎
(南)内山運送店
(株)ウテナ
(株)梅もと
浦野智恵子
上保正三郎
(南)上保商店
(株)H・S・T
エービーシー開発(株)
(南)えびす村さ来
NNTT
NNTT移動通信(株)
NNTT世田谷支店
NNTTデータ通信(株)
榎本弘
榎本徹
(株)M2
(株)エル・シー・ビー旅行センター
田光院幼稚園
遠藤孝夫
大賀運輸(株)
大蔵木材工業(株)
大高電設(株)
岡村光恵
小川造園(株)
小倉智子
(南)小倉運送店
小田急商事(株)
小田急電鉄(株)
(株)小野電業社

小野初雄
尾花沢市(山形県)
尾花沢市長(山形県)
(株)オリエンツファイナンス世田
谷営業所
甲斐茂
加賀通信工業(株)
柏谷イシ
柏谷正次
加積産業(株)
加藤英治
加藤登喜一
(株)カトー
香取芳雄
カネボウ化粧品東京第一西販(株)
加納屋運送(株)
(株)鎌田酒店
上用賀町会
上用賀テニスクラブ
亀屋
(株)鶴下興産
鳥山駅前通り商店街振興組合
鳥山駅前通り商店街振興組合青
年部
鳥山地域町会自治会連合会
鳥山町(栃木県)
濱川上及電社
(株)河口湖第一ホテル
川西町(山形県)
環境計測システム(株)
観山苑
管清工業(株)
関東電設(株)
関東建設(株)
北沢青色申告会
北沢地域町会自治会連合会
北沢地域町会自治会連合会
北沢二丁目協和会

北沢八幡神社
(北)北沢法人会
北沢料理飲食業組合
砧商店街連合会
砧・鳥山地域町会自治会連合会
砧地域町会・自治会連合会
砧町町会
(株)紀ノ国屋等々力店
給田西住宅管理組合
共済企画センター
京セラ(株)用賀事業所
経堂商店街振興組合
経堂農大通り商店街振興組合
旭日電気工業(株)
企業会
キリンビール(株)南東京支店
(株)金冠堂
(株)キングフード
銀座アスター三軒茶屋賓館
(株)クシタニ
櫛引町(山形県)
熊本市(熊本県)
グリーンエイトテニスクラブ
(株)グリーンサービス
桑島俊彦
(株)王百貨店
警視庁第二交通機動隊騎馬隊
建電工事(株)
小池いせ子
小池電設工業(株)
小池仲次
小池金物店
小泉珠子
小泉涌一
(南)光鶴園
豪徳寺一丁目町会
豪徳寺二丁目山下自治会
豪徳寺二丁目町会
鴻池組
河野一郎
香乃園
神津精機(株)
国際ソロプチスト東京一校
国際放映
小嶋里子
後藤シナ
古柏園

小林重徳
小林製薬工業(株)
駒沢電業(株)
ゴリラの会
(株)サークル
齋田孝
斉田義雄
斉藤隆
桜木武比古
さくら銀行桜新町支店
さくら銀行世田谷支店
(株)サクラクレパス東京支社
桜新町商店街
桜新町商店街振興組合
さくら通り共栄会商店街振興組
合
サッポロビール(株)東京新都心支店
佐藤章
里村総合設備(株)
佐野久江
佐野市長(栃木県)
サミット(株)
更井正忠
三栄造園(株)
三溪園
(株)三景園
三軒茶屋銀座商店街振興組合
三軒茶屋栄通り商店街
三浩電気(株)
三誠電気(株)
サントリ(株)東京西支店
JRA馬事公苑
塩野理二
六戸鉄男
志田登三
渋谷たばこ商業協同組合
(株)島田商店
シマダハウス(株)
清水建設(株)営業本部
下北沢本多劇場
(株)自由が丘生花市場
シユテルン世田谷
常徳幼稚園
城南鎌田産業(株)
城南信用金庫玉川支店
昭和信用金庫
白倉貴代子

信栄製紙(株)
新川勝二
新生飼料(株)
森蔵寺
信興商事(株)
(南)新生堂
新東急自動車(株)
新日本気象海洋(株)
神保充夫
信和印刷(株)
菅沼邦子
菅田倉之助
菅田浩敏
鈴木尊仁
鈴木幸雄
鈴屋電工(株)
住友スリーエム(株)
西郊住宅産業(株)
成城すずま
(南)成城石油
(株)セガワ
世田谷青色申告会
世田谷明るい社会づくり推進協
議会
世田谷園芸商組合
世田谷区幹部会
世田谷区勤労者サービス公社
世田谷区桜丘三丁目商店会
世田谷区社会福祉協議会
世田谷区社会福祉協議会
世田谷区商店街振興組合連合会
世田谷区商店街連合会
世田谷区私立幼稚園協会
世田谷区赤十字奉仕団玉川第五
分団
世田谷区町会連合会
世田谷区内農協協議会
世田谷区農業経営者クラブ
世田谷区文具事務用品組合
世田谷区民吹奏楽団
世田谷建設協会
世田谷建設協同組合
世田谷建築組合
世田谷建築設計協同組合
(世)世田谷工業振興協会

(株)世田谷サービス公社
(株)世田谷自動車学校
世田谷消防団第十一分団
世田谷新聞販売同業組合
世田谷信用金庫
世田谷信用金庫区役所前支店
世田谷造園協働力会
世田谷地域町会連合会
世田谷中央ロータリークラブ
世田谷電設工業会
世田谷土木協会・世田谷建設協同組合
(株)世田谷法人会
世田谷睦水会
世田谷リサイクル協同組合
芹澤多恵子
(株)セレスポ
全労済東京世田谷区共済会
祖師谷昇進会
祖師谷昇進会商店街振興組合
祖師谷商店街振興組合
第一勧業銀行世田谷支店
(株)ダイアカラー
第一ダイヤモンド工事(株)
大子町(茨城県)
代沢地区町会連合会
(株)太子堂楽器店
太子堂四丁目西山町会
大新電気工業(株)
大誠工業(株)
大創出版社
大創電気工業(株)
代田自治会
大東京信用組合三軒茶屋支店
大日本印刷(株)
太平建設(株)
太平興業(株)
(株)大明建設
大雄電設工業(株)
太陽(株)
タカシ不動産(株)
高橋橋本
(株)高橋橋本
竹内淳夫
タケダ電建工業(株)
武田治恵

竹村俊子
(株)たちばな
館野貞一
田中井電氣(有)
田中京子
(株)田中堂書店
田中堂書店
田邊悦子
タニタケシ・ヨシコ
玉川青色申告会
玉川商店街振興組合
玉川高島屋
玉川地域町会連合会
玉川冷凍産業
(株)チーズケーキファクトリー
千歳船橋商店街振興組合
千歳屋酒店
(株)微蔵館
千代田ネームプレート(株)
寄貸住宅研究室
塚田とも子
土屋酒造(株)
TSP太陽(株)
出島(株)
(株)手塚興業
田園クラブ
(株)電虎社
同栄信用金庫世田谷支店
東苑緑化(株)
(株)東急グループテレビジョン
東急建設(株)
(株)東急ゴルフ場
(株)東急ストア
(株)東急百貨店
東急不動産(株)
東京植木(株)
東京ガス(株)世田谷支社
東京站ライオンズクラブ
東京急行電鉄(株)
東京香辛(株)
東京コカ・コーラボトリング(株)
大田営業所
東京コカ・コーラボトリング(株)
世田谷営業所
東京駒沢ライオンズクラブ
東京三軒茶屋ライオンズクラブ
東京写真材料商業協同組合

東京写真材料商業協同組合世田谷地区
東京商工会議所役員一同
東京商工会議所世田谷支部
東京城西ライオンズクラブ
東京食品(株)
東京植物卸売市場(株)
東京成城ライオンズクラブ
(株)東京青年会議所世田谷区委員
会
東京世田谷ライオンズクラブ
東京世田谷ロータリークラブ
東京世田谷南ロータリークラブ
東京玉川ライオンズクラブ
東京田園調布ライオンズクラブ
東京電力(株)世田谷支社
東京都板硝子商工協同組合世田谷第二支部
東京都葛飾福祉工場
東京都牛乳普及協会
東京土建一般労働組合世田谷支部
東京都資源回収事業協同組合世田谷支部
(株)東京都自動車整備振興会
(株)東京都自動車整備振興会世田谷支部
東京都写真材料商組合
東京都設備設計事務所協会
(株)東京都地建物取引業協会世田谷区支部
東京都美容環境衛生同業組合
東京都米穀小売商業組合世田谷支部
東京日冷興業(株)
(株)東京鳳山堂
東京三菱銀行世田谷支店
(株)東京メガネ
(株)東京メデイカルリサーチセンター
東京蘭業(株)
(株)東西
東神開発(株)
東京都電設(株)
都営喜多見二丁目団地自治会
東京宮崎電工(株)
東京興業(株)
東洋ドライール(株)
東洋ドライール(株)

都親電気工業(株)
富澤正義
富永一朗
富成清女
豊田金松
トラウオール(株)
(株)なかざと
(株)中忠商事
中村工業(株)
ナカヨ通信機(株)
並木明
(株)ナムコ
南西航空(株)
西根町(岩手県)
(株)日栄機工
(株)日成
(株)日成工事本部資材センター
日東工業(株)
日本硝子工事(株)
日本経済新聞世田谷販売組合
日本経済新聞育英奨学会
日本工業大学附属東京工業高等学校
日本興産(株)
日本航空(株)
(株)日本交通公社首都圏西営業本部
(株)日本交通公社東京渋谷支店
日本社会人団体馬術連盟
日本たばこ産業(株)東京支店
日本トランスオーシャン航空(株)
日本ワイルドコン(株)
(株)ニッポ販売企画
(株)ヌーボー
(株)沼崎商会
(株)沼田写真印刷
野沢電機工業(株)
箱根観光船(株)
橋詰電気工業(株)
橋本弘
橋本物産(株)アメリカンスタジアム
(株)橋本測量設計
畑中正則
畑中一彦
羽鳥鉄義
花の宿松や
浜田音四郎・久子
林岩男

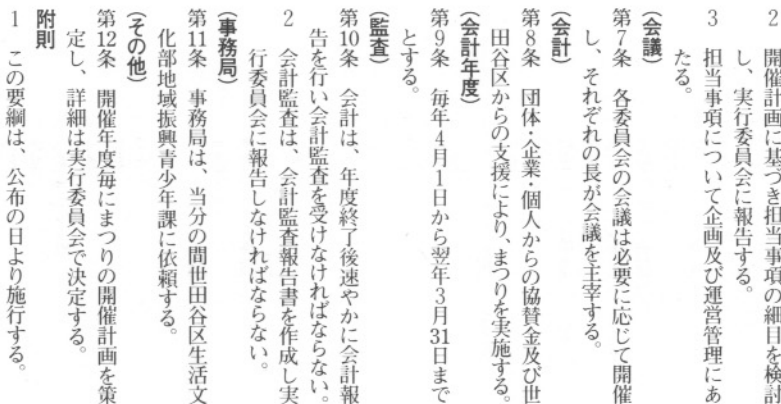
原英次
原数子
原川電気設備(株)
(株)原宿シカゴ
春名電気工事(株)
東玉川町会
東調布信用金庫深沢支店
(株)美田住宅相談所
美谷島商事(株)
(株)平鶴水産
平野敏行
平野ミチ
平井市(沖縄県)
書問幸治
(株)書問精機製作所
広川保険事務所
深沢三友会
(株)ふかもと
福田公夫
富士観会館
(株)藤木商店
富士銀行世田谷支店
富士パンケット(株)
(株)フタバ靴店
舟形町(山形県)
船津虎
(株)ブラザ
ペプシコインク日本支社
(株)北栄自動車工業所
北海道拓殖銀行世田谷支店
(株)ホンダクリオセンター
前田秀雄
牧野良三
松井修
松沢信用金庫
松沢町(新潟県)
松林治
松原謙二
(株)松原組
松本徹章工業(株)
(株)丸菱遠藤商店
(株)丸山工務店
マルマテクニカ(株)
(株)水巻電気
三田キミ
三田隆真

三田達三
三井ホーム(株)下北沢営業所
三越迎賓館シルバーハウス
三菱鉛筆東京販売(株)城南営業所
三吉廣明
(株)みなづき
(株)宮崎電機商会
宮沢武男
無有鷲
武藤工業(株)
牟田三
村上昭代
村瀬和子
森田鉦二
森田博英
(株)八重洲電業社
柳下潔
矢島嗣久
(株)ヤナギ
柳田文雄
(株)ヤナセ東京支店世田谷営業所
山一運輸(株)
山下商店街振興組合
ヤマト種苗緑化(株)
(株)大和屋
彌生企業(株)
(株)ユアーズ・コーポレーション
(株)ユニテック
用賀運送(株)
用賀商店会
横山建設(株)
(株)吉岡電気商会東京営業所
吉川光一
吉住小貴三郎
米沢電気工事(株)東京支店
理恵産業(株)
理想科学工業(株)世田谷支店
立正佼成会世田谷教会
黎明電設(株)
(株)レストラン森永
ロイヤル(株)
(株)ワイ・エス・マネージ

● 実行委員会委員

長谷川付美子（生活者ネット）
トウモロコシ世田谷区議会議員

(7) 富士田本占三郎会



資料・写真提供、取材協力の皆様

(敬称略)

世田谷区広報課

JRA馬事公苑庶務課

● 浅見利夫 (三茶連)

石塚 優 (三茶連)

大塚弘章 (下北沢ひふみ連)

岡庭勝盛 (稲荷森稲荷神社横根睦会)

勝俣康子 (佼成学園女子高校バトン部)

加藤朋子 (尾花沢悠美会)

久保田英文 (下北沢ひふみ連)

斎藤道紀 (喜多見太鼓愛好会)

沢田節子 (山崎太鼓)

世田谷区立山崎小学校

(財)世田谷ふれあい公社

三戸部清 (砧太鼓同好会)

長沼映子

中村志津子 (風鼓の会)

中村 暁 (世田谷区役所さき草連)

新潟県松代町役場

野地昭良 (大蔵てんぐ太鼓)

和田高雄 (経堂むらさき連)

● 石坂信一

牛島葉子

内田秀満子

北 杜夫

坂口綱男

須田 寿

蔵重命之 (世田谷八幡宮)

堀内路子

道原海子

世田谷美術館

世田谷文学館

編集後記

「ふるさと区民まつり」二十周年記念誌の編集委員会を組織して八ヶ月、ようやく上梓に至りました。

今まで関わってこられた全員が思い出をたくさんお持ちとは思いましたが、その二十年すべてを留めることが不可能なため、第二十回の記録中心の編集方針となりました。写真は、広報課の膨大なフィルムから使用することができましたが、商店街・暮らしの情報・福祉団体などは、出展全団体を掲載できず、大変申し訳ないと思っています。それでも、交流自治体からPRも寄せていただき、区内の主なイベント参加団体のプロフィール紹介も掲載して、二十回時の記録として相応しいものになったと思います。

毎年会場をご提供くださる馬事公苑の皆様始め、編集に際してのご協力・ご尽力をいただきました皆様、また資料渉猟や疑問を解決してくださった元事務局・現事務局の皆様にも改めて感謝申し上げます。

これを契機に「心のふれあい」がさらにひろがることを願い、次回皆様の笑顔との再会を心からお待ち申し上げます。

平成十年五月

二十周年記念誌編集委員会

編集委員会委員

三田達三

齋田 孝

館野貞一

芹澤良明

橋本 弘

田中京子

上口真弥

事務局編集委員

浜田昭吉

加藤智恵子

阪東 隆

山上栄子

発行日

発行者

編 者

事務局

平成十年五月十五日

世田谷区民まつり実行委員会

実行委員長 秋山光男

世田谷区民まつり実行委員会編集委員会

編集委員長 三田達三

世田谷区生活文化部地域振興青少年課

世田谷区世田谷四―二十一―二十七

☎〇三(五四三)一一一一(代表)

編集制作

株式会社微蔵館

世田谷区宮坂一―二十八―一四

ポスター撮影 中井春夫

組版・印刷・製本 (株)和見・(株)システム和見